外国切手を愉しむための作品集



亀戸大根の会

はじめに

当会は、東北地方から山陰地方に跨がる熱心な外国切手収集家の集りとして、月例会と年２回の懇親会開催を中心とした活動を行っております。

当会のルーツを辿れば、1990年代前半のパソコン通信Nifty-Serve内のパティオとして開設された会議室（マイナー・ゼネラルの会）にまで遡ることができますが、会はその時々の状況により姿や名称を変え、現在の「亀戸大根の会」に至っております。

今回、「全日本切手まつり2026」の開催に合せて会員の中から４名が、外国切手収集の普及を目的に出品を行いました。

近年の競争展では、新規出品者の数が以前と比べると少ないように見えますが、こうした傾向は切手展の将来を考えると、決して良いことではありません。

本作品集をきっかけに外国切手に興味を持たれ、その収集の結果として、切手展への出品に繋がることがあれば、会として幸いに存じます。

亀戸大根の会

目　　次

米国自動販売機・貼付機目打 1907-1927　使用済と実逓便
奥 山 昭 彦・・・・5

“U.S. 4th Bureau Issue <1.5c Warren G. Harding>”
大越紳一郎・・・・59

スウェーデン・グスタフⅥ世シリーズ
～使用済で楽しむ外国切手～　　水 村 伸 行・・・・115

ルーマニア・麦の耳通常切手シリーズ
～使用済切手で楽しむ外国切手～　　寺 本 尚 史・・・・173

米国自動販売機・貼付機目打 1907-1927
使用済と実逓便

奥山　昭彦

この作品は20世紀の米国切手の中でも特異な存在である、自動販売機及び自動貼付機用目打をまとめた作品です。本来は民間会社ごとにメインナンバーを、未使用のペアもしくはストリップで展示し、初期使用例や特殊料金の使用例などで展開するのがオーソドックスな展示方法です。今回は「使用済をキーワードに外国切手の作品を作ろう」を合言葉のもと、標題の作品となりました。

展示目的はイントロダクトリー・ページに記載し、2リーフ目だけはアウトラインとなる各社の目打タイプを紹介する意味で、ここだけ未使用ペアで展示しました。

なお各社の説明は極力割愛し、ポイントのみ記述しています。

3リーフ

自動販売機メーカーのBrinkerhoff社の使用例は極めて希少で、ミズーリ州の切手商だったC. H. Mekeelによるフィラテリック・カバーがほとんどでした。そのため使用済もMekeel差出のカバーから剥がされたものばかりで、作品の意図からすれば、展示対象から除外しても良かったかもしれません。

4リーフ

U.S. Automatic Vending社（以下U.S.A.V.社）も自動販売機メーカーですが、こちらはBrinkerhoff社と異なり、主要都市の公共施設に自動販売機が設置されて発売されました。そのため1908年シリーズ（以下W/F）の複線透かし1セントの葉書使用例はありふれています。1902年シリーズやW/F複線透かしの3セント以上は、Mekeelや郵趣家便由来の使用済がほとんどだと思われます。

5〜6リーフ

上記の設置状況から、特定の大都市での葉書使用例は比較的存在しますが、封書使用例は1セント2セントともに少ないものです。

7リーフ

1909年にはリンカーン生誕100年、アラスカ・ユーコン博覧会と、ハドソン・フルトン博覧会を記念した記念切手が発行されました。郵政は、これらの記念切手の無目打シートも民間会社の要望で提供されたため、U.S.A.V.社も郵趣家の求めに応じ、3種類の記念切手に自社製目打を施して提供しました。

二通のカバーは郵趣家便で、料金は重量便になりますが、いずれも過納のペア貼りです。これらの実逓便は郵趣家便ながら希少なもので、特にアラスカ・ユーコン博覧会のカバーは、1980〜90年代に米国切手収集で有名だった山田幹夫氏旧蔵品で、JAPEX'86に出品された作品に含まれていたこのカバーは、当時の我々を驚愕させた逸品で、ペア貼りカバーはGetlanコレクションにも含まれていない名品です。

8リーフ

ありふれた姿ですが、U.S.A.V.社の横型コイルであるタイプⅡは、ほとんど使用されなかったため、スコット米国専門カタログでは、葉書でも500ドルの評価です。使用済単片も当然少ないもので、自然な使用済で好感が持てます。

9リーフ

この主題の専門家であったBelasco氏が「貼付機用目打の歴史は、ジョセフ・J・シャーマックが発明した封筒密封・切手貼付機用に開発した目打の歴史である。」と断言しているとおり、貼付機用目打と言えばハイフン型の目打と言える程、一時代を席巻した目打です。

展示では、本格的に使われはじめた1902年シリーズの1セントと2セントを、台切手のタイプ違い、ガイドライン、地方型プリキャンセルの使用済で構成しました。

10～12リーフ

1902年シリーズの商業郵便のページです。最も普及したシカゴ局での帯封と第三種便の使用例と、この主題で大コレクションを築いたGetlan氏の旧蔵品で、Mailometer社差立てペア貼り書状、2セントの台切手のタイプ違いの使用例を展示しました。

13～14リーフ

W/F複線透かしの使用済単片と商業郵便のページで、特に4セントの使用済は難物で、実際に商業郵便の重量便に使用されたものと思われます。カバーは重厚なイラストや多色刷りの例を選びました。

15リーフ

貼付機目打の目玉の一つである「Control Perfin」のリーフです。スコット米国専門カタログには「Perforated Control Mark」と記載されていますが、USSSの郵趣百科事典には「Control Perfin」と記載されていて、リーフに記載した解説文も、郵趣百科事典から引用しました。

16リーフ

シャーマックでも1909年発行の3種類の記念切手に目打加工しました。リンカーン生誕100年記念は、切手のサイズも普通切手と同じで、W/F同様に商業郵便に使用されました。その他の2種は郵趣家向けに販売されたものです。

17～20リーフ

W/F単線透かしの使用済単片と商業郵便と「Control Perfin」のリーフです。この頃からプリキャンセルも本格的に使用されるようになりました。Covington局のプリキャンセルの使用例は希少です。
18ページの1セントの使用例は、いずれも取り扱いが変わった例で、葉書は局留め使用例。封書は小包専用投函口に投函された郵便物への消印です。

21リーフ

W/F改正図案単線透かしの使用済とプリキャンセル、「Control Perfin」のリーフです。この頃になると「Control Perfin」は衰退期のようで、実逓便は少なくなります。

22～24リーフ

W/F改正図案単線透かしの商業郵便のリーフです。この頃が貼付機目打の最盛期です。使用例はそれぞれ初期使用と、ペア貼りか複数貼りを展示して、プリキャンセルは三種便と四種便の例を展示しました。

25リーフ

W/F改正図案透かし無しの使用済とプリキャンセルのリーフです。米国は第一次世界大戦に参戦して戦時税を導入したため、封書料金を2セントから3セントに値上げしました。また戦争の影響で印刷インクの原料が粗悪になり、切手の原版の耐久性に影響を及ぼしたため、新しい3セントの版（タイプⅡ）では原版の彫りの一部を深くして製版されたと、Johlの著書に記載されています。これは、次のオフセット印刷での暫定切手の出現の伏線になっていて、通史で俯瞰することで、当時の印刷事情が理解しやすくなる例だと言えます。

26～28リーフ

W/F改正図案透かし無しの使用例で、なかなか興味深い品揃えになっていると思います。

26リーフは今も米国に残っている黒鉛の大手メーカーの、絵入り商業郵便の額面違いの使用例で、3セントが戦時税、1セントが第三種便、2セントが市内便で、いずれも適正使用例です。27リーフも戦時税の2セント貼り葉書と、この主題としては珍しい外信使用例（これは米軍による検閲だと思いますが、知識不足のため有識者のご教示をお願いしたいところ）です。28リーフも書留便で珍しい使用例になります。10セント切手が穿孔なので、穿孔パターンも図示しました。

29リーフ

オフセット印刷の使用済とプリキャンセルのページです。2セントでは台切手が5種類も出現していますが、オフセット印刷は耐久性に乏しく、大戦の影響による物資の欠乏を物語っており、暫定切手ならではの事情と言えるでしょう。

30〜36リーフ

オフセット印刷の使用例のリーフです。1セントでは封書と葉書とプリキャンセルの使用例を、2セントではタイプ違いの実逓便を全て展示しました。

37リーフ

1922年シリーズの使用済とプリキャンセルです。この中では1.5セントの使用済が特に難しく、プリキャンセルではない使用例はGetlanのコレクションにも、わずかに1通しかありませんでした。

38〜40リーフ

1922年シリーズの使用例のリーフです。この頃になると、貼付機用目打を使用している都市は、ほぼシカゴのみとなります。1セントと1.5セントはプリキャンセルの使用例で、1セントではプリキャンセルのタイプ違いと第三種便と第四種便の使用例、1.5セントは1925年4月15日の料金改正で、第三種便が1セントから1.5セントに値上げされたため出現したものです。当時郵政は、低額切手の印刷を平面印刷から輪転印刷に切り替えを予定しており、平面印刷の1.5セントは、需要に合わせて少数ずつ印刷していたため、シェードバラエティが多く、展示では使用例でシェードの違いを示しました。

2セントも、ほぼシカゴで使用されましたが、1920年頃から貼付機目打を使用し始めたミルウォーキーの顧客による使用例がわずかに残されています。デトロイト局の使用例は、ちょっと信じられない使用例です。デトロイトは貼付機目打機発祥の地ながら、1910年代後半には使用例が見られなくなっています。展示したカバーは1924年使用の機械標語印でタイもしっかりしており、差出は20世紀の米国を代表する企業であるスタンダード石油によるもので、本主題とっては理想的な使用例だと思っています。

41リーフ

Mailometer型はMailometer社が独自に開発した貼付機目打です。同社のセントルイス工場で開発されたタイプⅠ型とタイプⅣ型目打は、主にセントルイス局で使用されました。展示では同社の自動貼付機の写真広告入り封筒（貼付されている切手はSchermackタイプⅢ型目打でシカゴオフィス差出）商業郵便を紹介し、W/F単線透かしのタイプⅠ型目打とタイプⅣ型目打の使用済とプリキャンセルを示したページです。実逓カバーも少ないことから、使用済を揃えるのも簡単ではありません。抜けているタイプⅡ型とタイプⅢ型目打は、同社が郵政に売り込むために試験的に製作され

たものです。結果的には不採用となり、実際には使用されておらず、収集家向けに発売された未使用が残されています。

42～44リーフ

42リーフはMailometer社のタイプⅠ型目打とタイプⅣ型目打の実逓使用例です。同一企業での1911年使用です。上のカバーは1月使用でタイプⅠ型目打、下のカバーは6月の使用ですが、タイプⅣ型目打に切り替わっていることを示しています。

43リーフはW/F改正図案のタイプⅣ型目打の単線透かしと透かし無しの使用済とプリキャンセルのページで、透かし無しの実逓便は希少で、それゆえ使用済も大変です。

44リーフはタイプⅣ型目打の実逓便で、単線すかし1セント葉書と2セント封書使用例で、ともに同一企業での使用例を展示しました。42リーフでもそうですが、いずれも大量郵送による特徴的な例として展示しています。特に1セントは商業郵便の葉書使用例で、状態も良く、逸品だと思っています。

45リーフ

John V. Farwell社はシカゴの大手卸業者で、もともとSchermackⅢ型目打貼付機の顧客でした。しかしSchermackⅢ型目打の切手は一巻250枚巻ごとに50セントをチャージ（2セント切手で10%に相当）されていたため、Farwell社では独自の貼付機目打の開発を、1911年に開始しました。展示では1910年のSchermackⅢ型目打（W/F複線透かし）封書使用例と、1911年10月に使用された試行目打（W/F単線透かし）の例を紹介しました。

46～47リーフ

Farwell社で本格的に使用されたGroup 4の使用済と実逓使用例を展示しました。なおFarwell社の使用例で残されているもののほとんどは、ウィスコンシン州アップルトンのPettibone　Peabody社宛のカバーです。

47リーフは、1セントのプリキャンセルと実逓使用例、W/F透かし無しの使用済を展示しました。Farwell社のプリキャンセルはGroup　4の1セントのみに確認されていますが、プリキャンセルを用意するほど同社には、大量郵便の需要があったことを裏付けています。

48リーフ

自動販売機・貼付機目打は、輪転印刷による印刷局製のコイルが普及したことと、切手の印刷自体も平面印刷から大量印刷に適した輪転印刷へ移行し、従来通りの無目打シートの供給も途絶え、更にはメータースタンプの普及も要因となって終焉を迎えました。

展示では、SchermackⅢ型目打の最後期であるシカゴ局の1927年4月使用例と、同じくシカゴ局のMailometer社製モデルD型と呼ばれるメータースタンプの1927年4月使用例を展示することで、自動販売機・貼付機目打時代の終焉を示しました。

おわりに

長年収集している「自動販売機・貼付機目打」で、経済の隆盛期を迎えた20世紀初頭の米国において、郵便の自動化が通信インフラに果たした状況を示そうと試みましたが、使用済が大量に残されている切手もあり、簡単そうに思われた使用済も、揃えようとすると結構大変で、使用済単片を丁寧に収集することの大切さを、あらためて実感させられました。

米国自動販売機・貼付機目打 1907－1927
使用済と実逓便

【展示の目的】

米国では 1907 年から 1927 年にかけて、複数の民間会社が独自の目打を加工したコイル切手が出現した。これは郵政が民間会社のために無目打シートを供給し、民間会社が自社製の自動販売機や貼付機への使用を目的に加工したもので、郵便の自動化という側面から、米国経済の通信インフラに大きな貢献を果たした。

自動販売機・貼付機目打は、スコット米国専門版では約 250 種類がリストされているが、中には郵趣家を目的に製作され、実際には郵便に使用されなかったものも含まれている。

作品では、実際に郵便に使用された使用済と商業郵便による実逓便で構成することで、20 世紀初頭の米国経済において、自動販売機・貼付機目打が通信インフラに果たした役割を示すよう心がけた。

【構　成】

イントロダクトリーページ　(1 ページ)
自動販売機・貼付機目打の紹介　(2 ページ)
[自動販売機用目打]
Brinkerhoff Stamp Vending Machine Co.　(3 ページ)
United States Automatic Vending Co.　(4～8 ページ)
[自動貼付機用目打]
Schermack Mailing Machine Co.　(9～40 ページ)
Mailometer Co.　(41～44 ページ)
John V. Farwell Co.　(45～47 ページ)
自動販売機・貼付機用目打の終焉　(48 ページ)

【注目してほしいマテリアル】

USAV Alaska-Yukon、Hudson-Fulton 記念切手 実逓使用例　(7 ページ)
Schermack 1908 年シリーズ 1916-17 Issue 1c-3c 多色刷り商業郵便　(26 ページ)
Mailometer 社差し立ての自社製自動貼付機写真入り商業郵便　(41 ページ)

【参考文献】

Belasco, Steven R. *Guide to United States Vending and Affixing Machine Perforations, 1907–27.* USSS, 2009.

Howard, George P. *The Stamp Machines and Coiled Stamps.* H. L. Lindquist Publications, 1943.

Encyclopedia of United States Stamps and Stamp Collecting, 2nd ed. USSS, 2016.

Scott Specialized Catalogue of United States Stamps & Covers 2026. Scott Publishing Co., 2025.

Vending and Affixing Machine Perforations

自動販売機用目打

Brinkerrhoff



Type I

Brinkerrhoff



Type II

U.S.A.V.



Type I

U.S. Automatic Vending



Type II

自動貼付機用目打

Schermack



Type III

Mailometer



Type I

Mailometer



Type IV

John V. Farwell



Group 4

2

Brinkerhoff Stamp Vending Machine Company

On Issue of 1906-08　　Perforations Type I & Type II　　D. L. Watermark

使用済



Die I



Type I
Die I carmine



Type II
Die I carmine



Type IIa
Die II lake



Type II



Die II

On Issue of 1908-09　　Perforations Type II　　D. L. Watermark

使用済



Type IIa



Type II
Pasteup Strip of Four



Type IIb

3

United States Automatic Vending Machine Company

On Issue of 1906-08　　Separations Type I　　D. L. Watermark

使用済





Die I carmine



Die I scarlet



Die II lake

On Issue of 1908-09　　Separations Type I　　D. L. Watermark

使用済











4

United States Automatic Vending Machine Company

On Issue of 1908-09　　Separations Type I　　D. L. Watermark

国内1c葉書料金使用例



Boltimore, Md. (Oct. 14, 1910) to Boltimore, Md.

カナダ宛条約封書2c料金使用例



Portland, Ore. (Feb. 14, 1910) to Winnipeg, Canada

5

United States Automatic Vending Machine Company

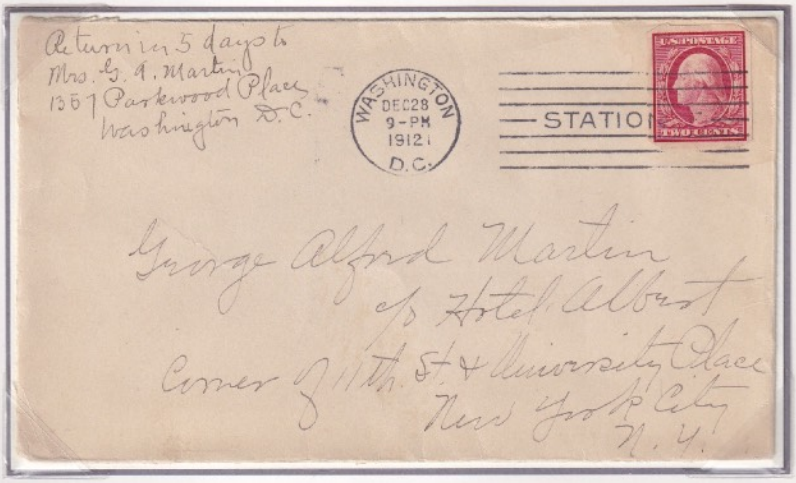
On Issue of 1908-09　　Separations Type I　　D. L. Watermark

国内2c封書料金使用例



Brooklyn, New York, N.Y. (Jan. 23, 1911) to Brooklyn, New York, N.Y.

国内2c封書料金使用例



Washington, D.C. (Dec. 28, 1912) to New York City, N.Y.

6

United States Automatic Vending Machine Company

On Alaska - Yukon Issue of 1909　　Separations Type II　　D. L. Watermark

国内4c二倍重量封書料金使用例



Grand Central Sta. New York, N.Y. (Nov. 11, 1910) to St. Louis, Mo.　　Ex 山田

On Hudson - Fulton Issue of 1909　　Separations Type II　　D. L. Watermark

国内4c二倍重量封書料金使用例



Newberyport, Mass. Apr. 24, 1911 to Attleboro, Mass.

7

United States Automatic Vending Machine Company

On Issue of 1910　　Separations Type II　　S. L. Watermark

使用済



国内1c葉書料金使用例



Providence, R.I. (Oct. 10, 1912) to Glastonbury, Conn.

U.S. Automatic Vending社は1914年末から1915年初には自社製目打の生産を中止し
自動販売機用目打は終焉を迎えた

8

Schermack Mailing Machine Company

On Issue of 1906-08　　Perforations Type III　　D. L. Watermark

使用済



Die I carmine





Die II lake



Guide Line Pair



Die II lake

Guide Line Strip of Four

地方型プリキャンセル



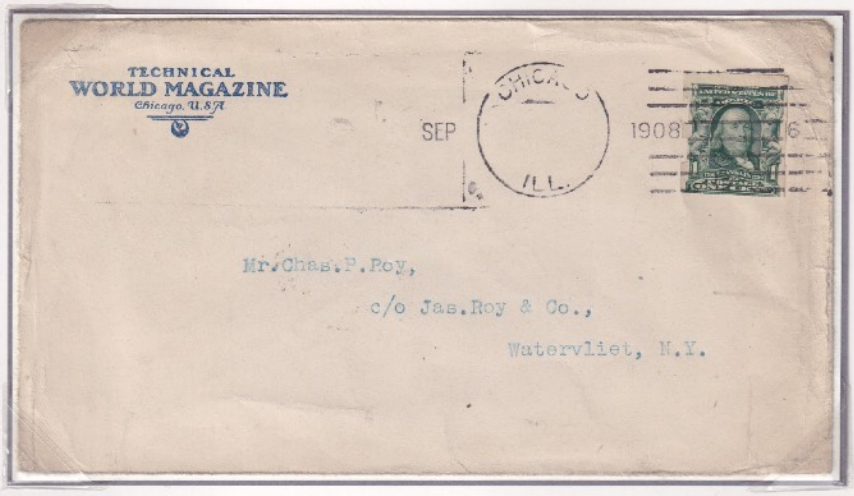
Chicago, Ill.
(PSS L-4E)

9

Schermack Mailing Machine Company

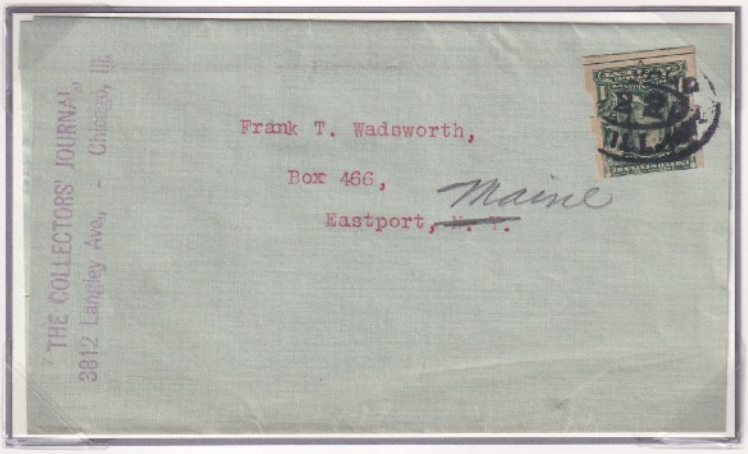
On Issue of 1906-08　　Perforations Type III　　D. L. Watermark

国内1c第三種印刷物使用例



Chicago, Ill. (Sep. --, 1908) to Watervliet, N.Y.

国内1c第三種印刷物帯封使用例



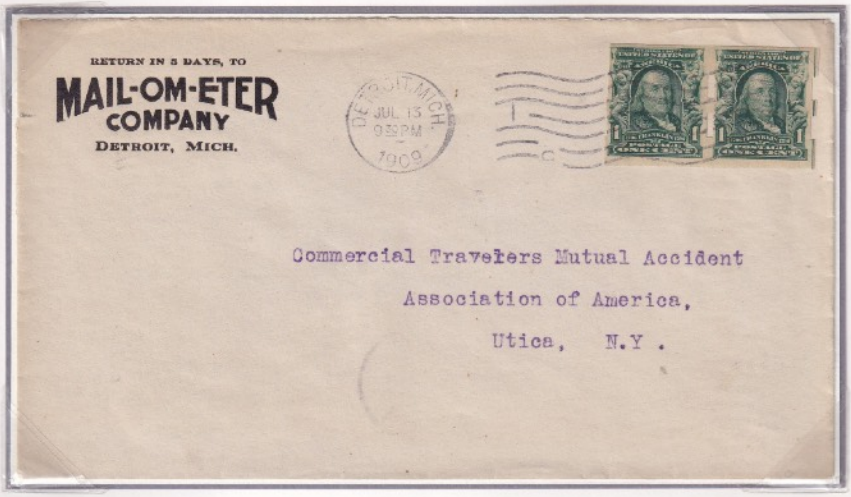
Chicago, Ill. to Eastport, Me.

10

Schermack Mailing Machine Company

On Issue of 1906-08　　Perforations Type III　　D. L. Watermark

Mailometer社差し立て国内2c封書料金使用例



Chicago, Ill. (Jul. 1, 1909) to Watervliet, N.Y.

国内1c葉書料金使用例



MountClemens, (Mich. Aug. 6, 1909) to St. Clair, Mich.

11

Schermack Mailing Machine Company

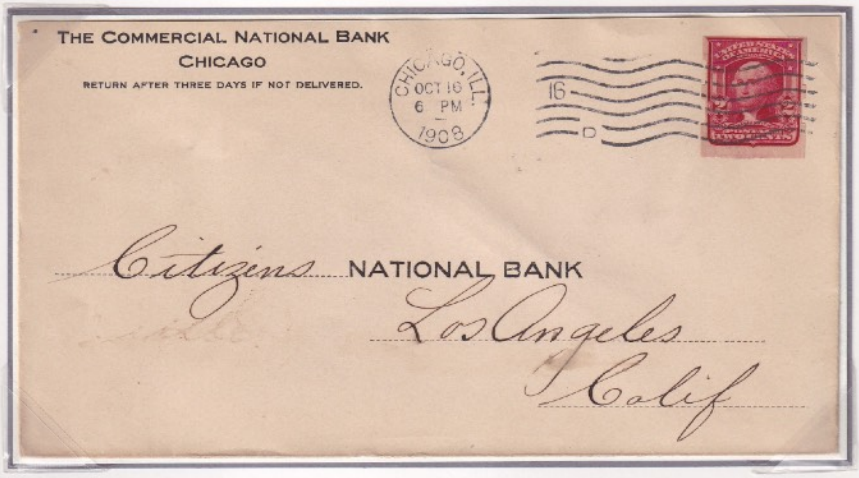
On Issue of 1906-08　　Perforations Type III　　D. L. Watermark

国内2c封書料金使用例



Chicago, Ill. (Sep. 25, 1908) to Attleboro, Mich.　　Die I carmine

国内2c封書料金使用例



Chicago, Ill. (Oct. 16, 1908) to Los Angles, Calif.　　Die II lake

12

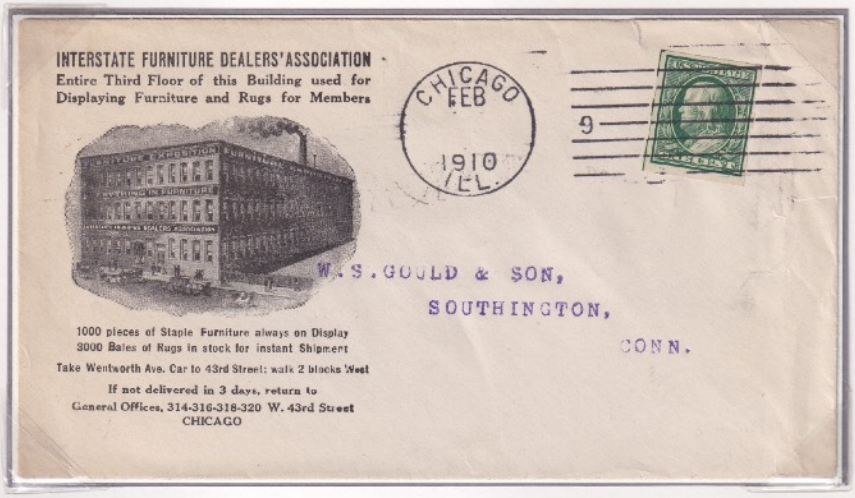
Schermack Mailing Machine Company

On Issue of 1908-09　　Perforations Type III　　D. L. Watermark

使用済



国内1c第三種印刷物使用例



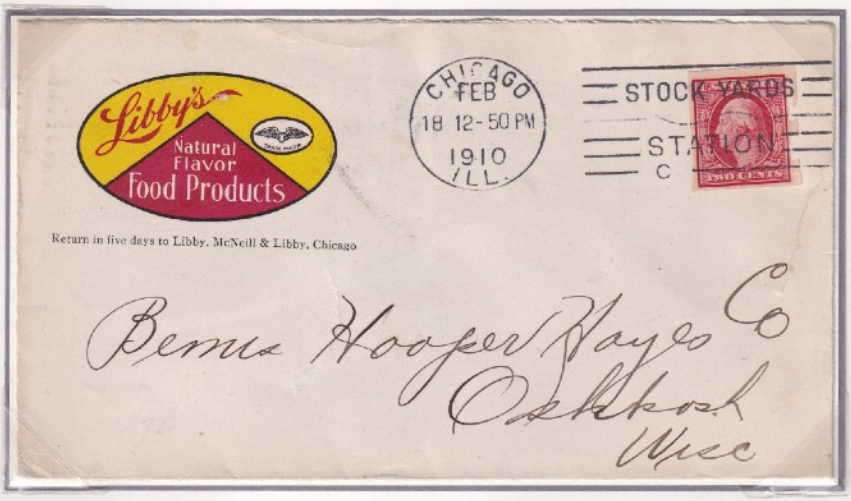
Chicago, Ill (Feb. --, 1910) to Southington, Conn.

13

Schermack Mailing Machine Company

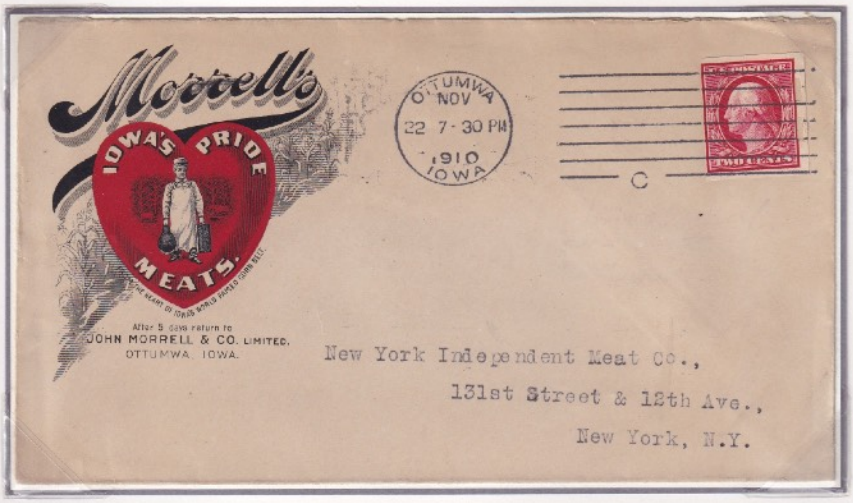
On Issue of 1908-09　　Perforations Type III　　D. L. Watermark

国内2c封書料金使用例



Chicago, Ill. (Feb. 18, 1910) to Oshkosh, Wis.

国内2c封書料金使用例



Ottumwa, Iowa (Nov. 22, 1910) to New York, N.Y.

14

Schermack Mailing Machine Company

On Issue of 1908-09　　Perforations Type III　　D. L. Watermark

Control Perfins

「コントロール・パーフィン」とは、シャーマック社のコイル切手に、貼付機内で切手が供給・裁断、封筒に貼られる過程で打ち込まれる小さな穴のことです。9穴または12穴の開いた正方形のパターンから、1つまたは複数の穴を取り除くことで、さまざまなパターンが作成されました。注記は取り除かれた穴の位置番号を記す。シャーマックのコントロールパターンも他の穿孔切手と同様に、私用防止の手段として使用されました。

Julian Hawthorne Co.
Chicago, Ill.



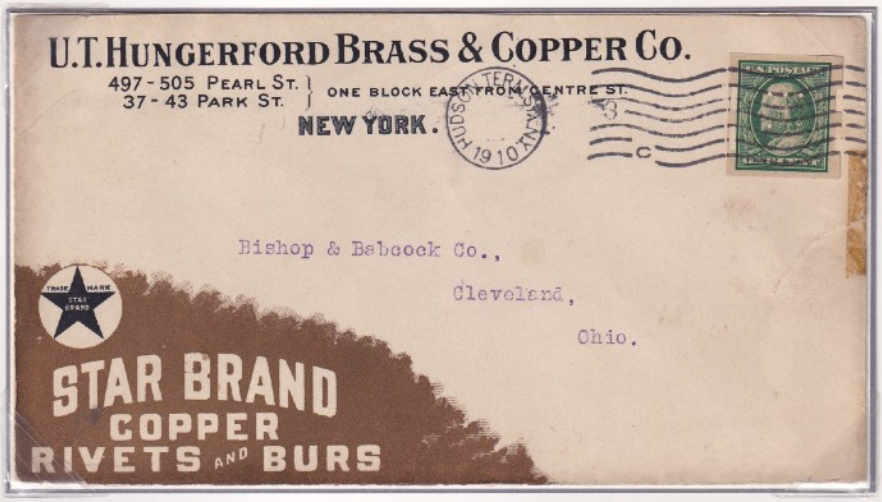
(13579)

Chermars Motor Co.
Detroit, Mich.



(56)

国内1c第三種印刷物帯封使用例



U.T. Hungerford Brass & Copper Co.　　(45689)

Hudson Term. Sta. New York, N.Y. (1910) to Cleveland, Ohio

15

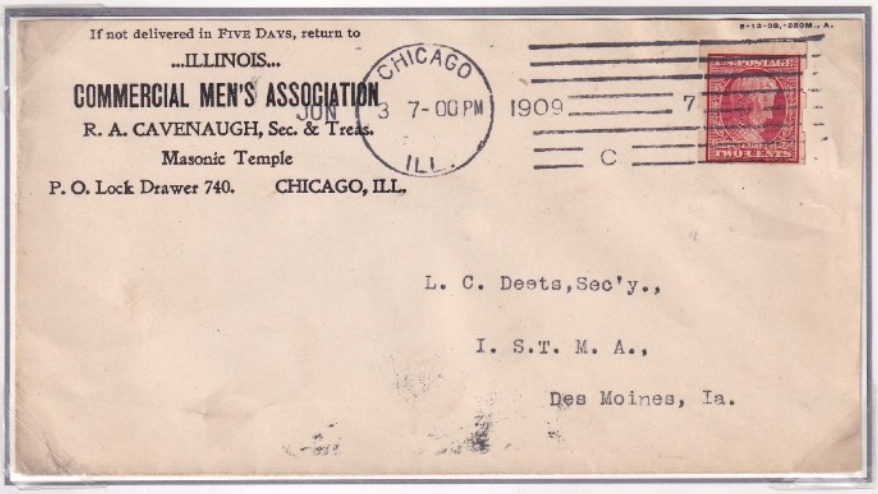
Schermack Mailing Machine Company

On Lincoln Issue of 1909　　Perforations Type III　　D. L. Watermark

使用済



国内2c封書料金使用例



Chicago, Ill. (Jun. 3, 1909) to Des Moines, Iowa

On Alaska Yukon Issue of 1909　　Perforations Type III　　D. L. Watermark

使用済



16

Schermack Mailing Machine Company

On Issue of 1910　　Perforations Type III　　S. L. Watermark

使用済



地方型プリキャンセル

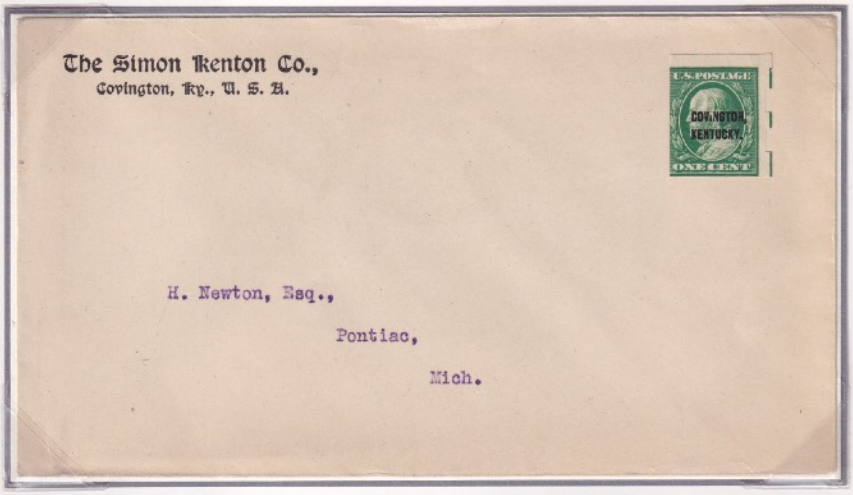


Chicago, Ill.
(PSS L-4E)

Fort Wayne, Ind.
(PSS L-2E)

Ashland, Ohio
(PSS L-4E)

国内1c第三種印刷物使用例



Covington, Ky. to Pontiac, Mich. (PSS L2TS Var.-2 小字タイプ)

17

Schermack Mailing Machine Company

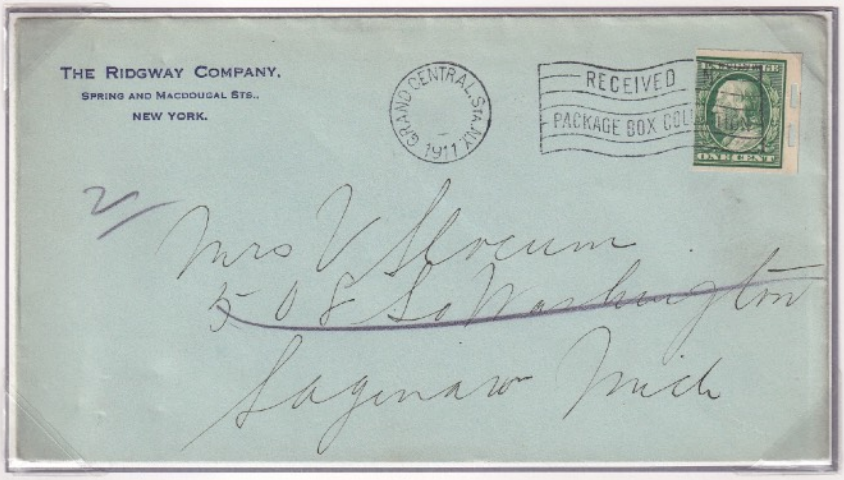
On Issue of 1910　　Perforations Type III　　S. L. Watermark

局留葉書使用例(1c国内葉書 局留料金無料)



Hudson Term. Sta. New York, N.Y. (1911) to Kalamazoo, Mich. (Dec. 30, 1911)

国内1c第三種便使用例



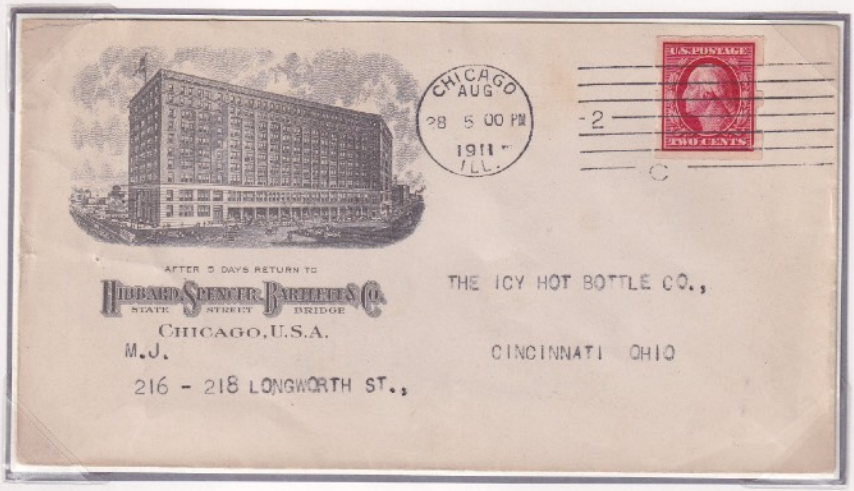
Grand Central Sta. New York, N.Y. (1911) Received Package Box Collection to Saginaw, Mich.

18

Schermack Mailing Machine Company

On Issue of 1910　　Perforations Type III　　S. L. Watermark

国内2c封書料金使用例



Chicago, Ill. (Feb. 18, 1911) to Cincinnati, Ohio

国内2c封書料金使用例



South Framingham, Mass. (May 27, 1912) to Milford, Mass.

19

Schermack Mailing Machine Company

On Issue of 1910　　Perforations Type III　　S. L. Watermark

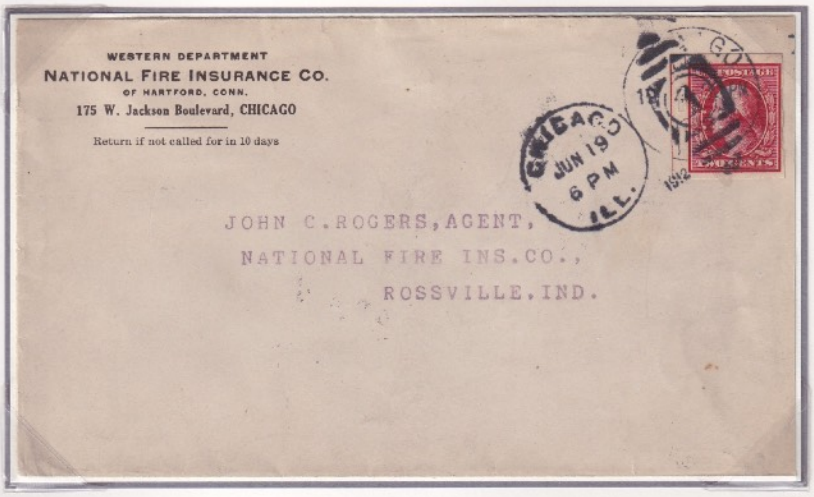
コントロール・パーフィン

Spencer Trask & Co.
New York, N.Y.



(None)

国内2c封書料金使用例



National Fire Insurance Co.　　(69)
Chicago, Ill. (Jun. 12, 1912) to Rossville, Ind.

20

Schermack Mailing Machine Company

On Issue of 1912　　Perforations Type III　　S. L. Watermark

使用済



地方型プリキャンセル



Chicago, Ill.
(PSS L-4E)

Boston, Mass.
(PSS L-2E)

New York, N.Y.
(PSS L-16HS)

コントロール・パーフィン

Detroit & Cleveland Navigation Co.
Detroit, Mich



(149)

Kabo Corset Co.
Chicago, Ill.



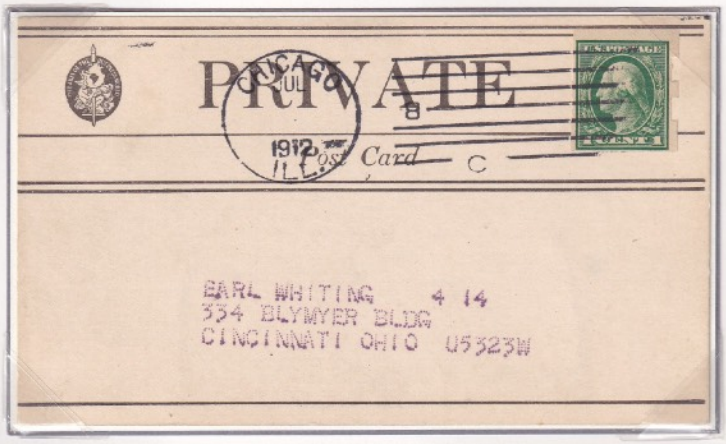
(48)

21

Schermack Mailing Machine Company

On Issue of 1912　　Perforations Type III　　S. L. Watermark

国内1c葉書料金使用例



Chicago, Ill. (Jul. --, 1912) to Cincinnati, Ohio

国内2c封書料金使用例



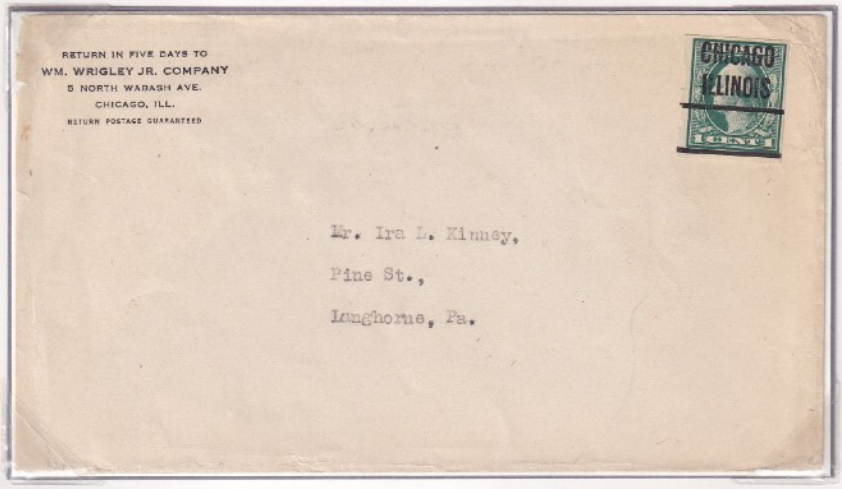
Chicago, Ill. (Apr. 13, 1913) to Hinton, Va.

22

Schermack Mailing Machine Company

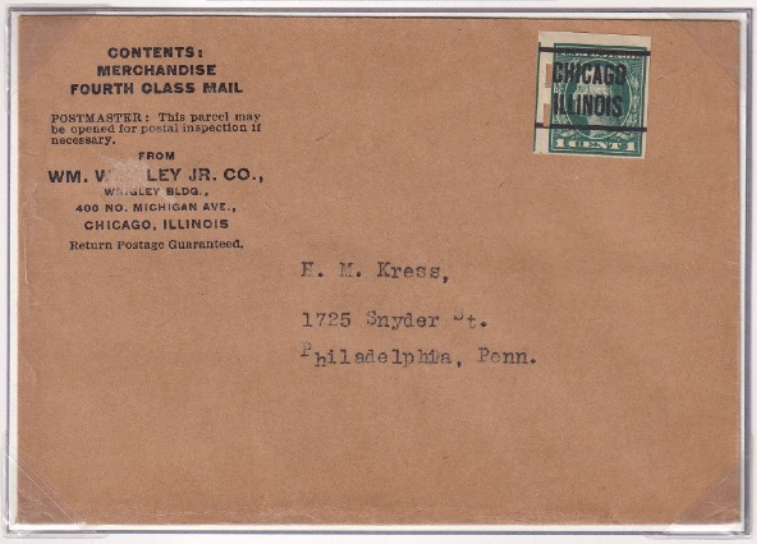
On Issue of 1912　　Perforations Type III　　S. L. Watermark

地方型プリキャンセル国内1c第三種便使用例



Chicago, Ill to Langhorne, Pa.　　(PSS L4E)

地方型プリキャンセル国内1c第四種便使用例



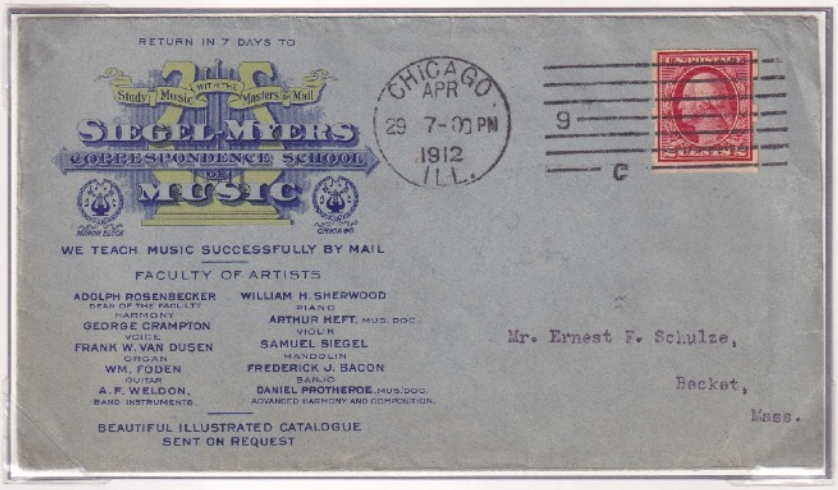
Chicago, Ill. to Philadelphia, Pa.　　(PSS L4E)

23

Schermack Mailing Machine Company

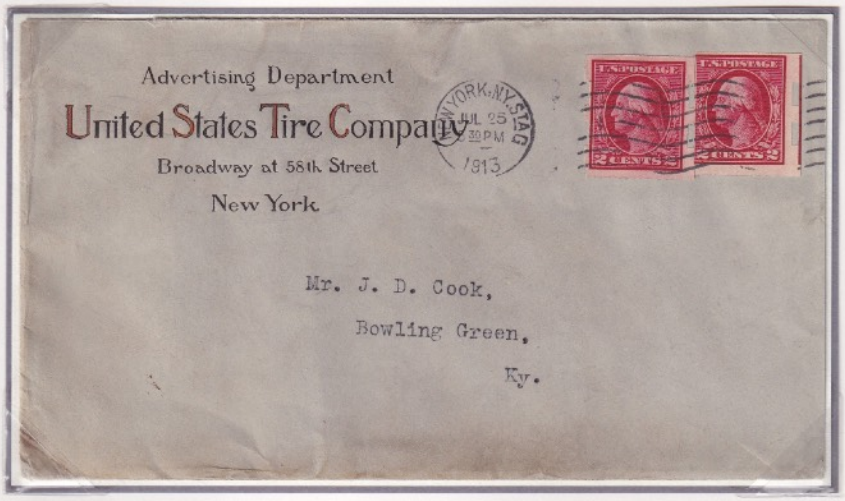
On Issue of 1912　　Perforations Type III　　S. L. Watermark

国内2c封書料金使用例



Chicago, Ill. (Apr. 29, 1912) to Becket, Mass.

国内4c封書2倍重量便使用例



Sta. G, New York, N.Y. (Jul. 25, 1913) to Bowling Green, Ky.

24

Schermack Mailing Machine Company

On Issue of 1916-17　　Perforations Type III　　Unwatermark

使用済









Die I　　Die I　　Die II　　Die II

地方型プリキャンセル



Chicago, Ill.
(PSS L-4E)



Peterson, N.J.
(PSS 209)



Brooklyn, N.Y.
(PSS 219)



Chicago, Ill.
(PSS L-4E)

25

Schermack Mailing Machine Company

On Issue of 1916-17　　Perforations Type III　　Unwatermark

同一利用者異種便使用例



Die I

上段:国内戦時課税3c封書使用例　Jersey City, N.J. (Dec. 5, 1917) to Richmond, Va.

中断:国内1c第三種便使用例　Jersey City, N.J. (1918) to Westfield, Mass.

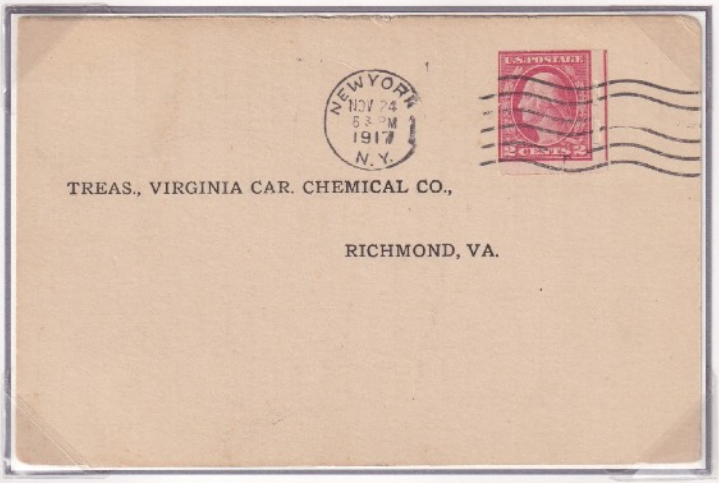
下段:国内2c受付局区内封書使用例　Jersey City, N.J. (Feb.15, 1919) toJersey City, N.J.

26

Schermack Mailing Machine Company

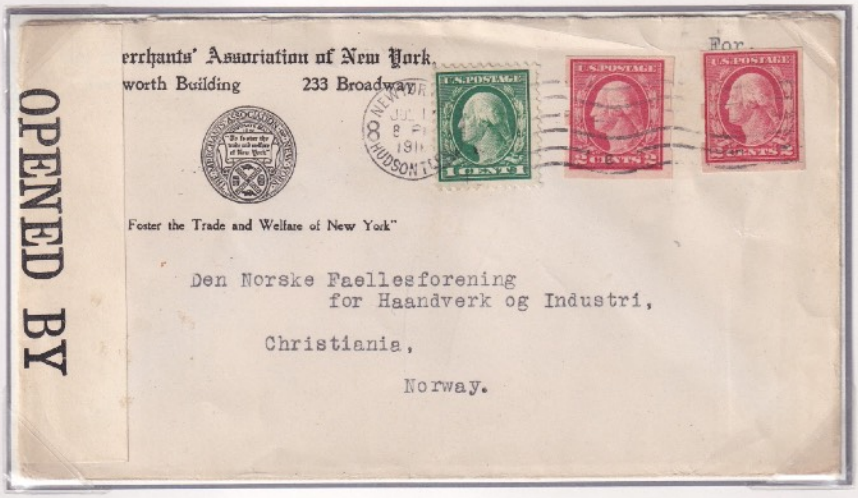
On Issue of 1916-17　　Perforations Type III　　Unwatermark

国内2c戦時課税葉書使用例



New York, N.Y. (Nov. 24, 1917) to Richmond, Va.

ノルウェー宛外信5c封書使用例



Hudson Term. Sta. New York, N.Y. (Jul. 1, 1918) to Christiania, Norway

27

Schermack Mailing Machine Company

On Issue of 1916-17　　Perforations Type III　　Unwatermark

国内戦時課税書留封書使用例



City Hall Sta. New York, N.Y. (Oct. 1, 1918) to East Wallingford, Vt.　　Die II

3c戦時課税国内封書料金 + 10c書留料金 受領書返送料無料

10セント切手
The DeLaval Separator Co.の穿孔



28

Schermack Mailing Machine Company

On Offset Issue of 1918-20　　Perforations Type III　　Unwatermark

使用済





Die IV　Die V　Die Va　Die VI　Die VII



地方型プリキャンセル



Chicago, Ill.
(PSS L-4E)

New York, N.Y.
(PSS L-16HS)



Die Va
New York, N.Y.
(PSS L-5E)

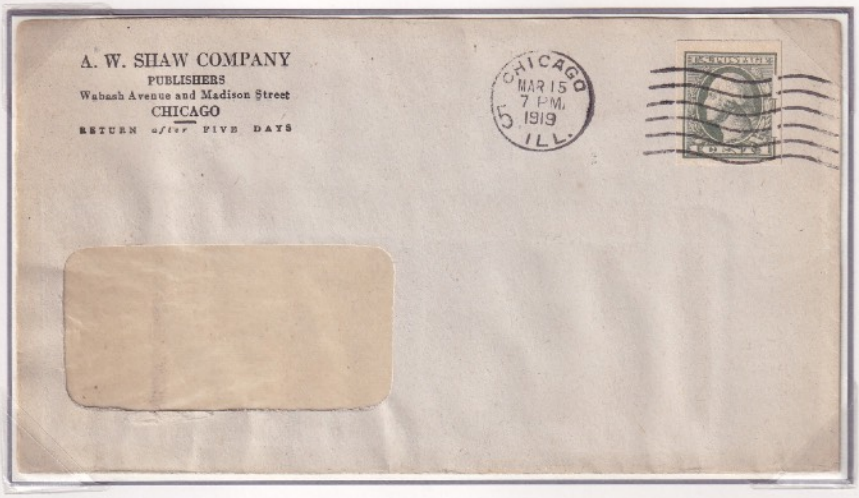
Die VI
New York, N.Y.
(PSS L-5E)

29

Schermack Mailing Machine Company

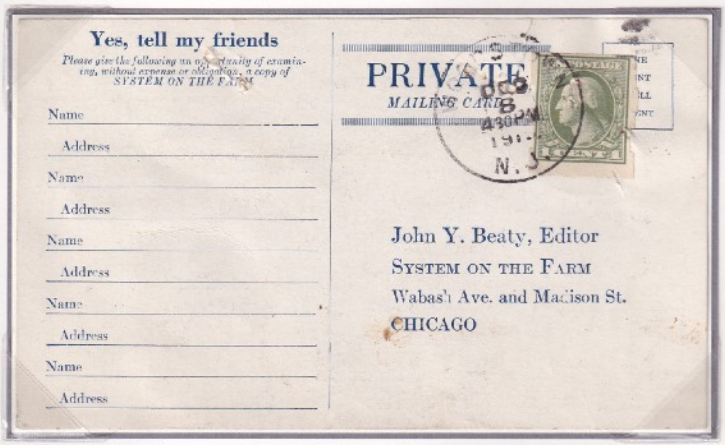
On Offset Issue of 1918-20　　Perforations Type III　　Unwatermark

国内1c第三種便使用例



Chicago, Ill. (Mar. 15, 1919)

国内1c葉書料金使用例



Woodstown, N.J. (Dec. 8, 1919) to Chicago, Ill.

30

Schermack Mailing Machine Company

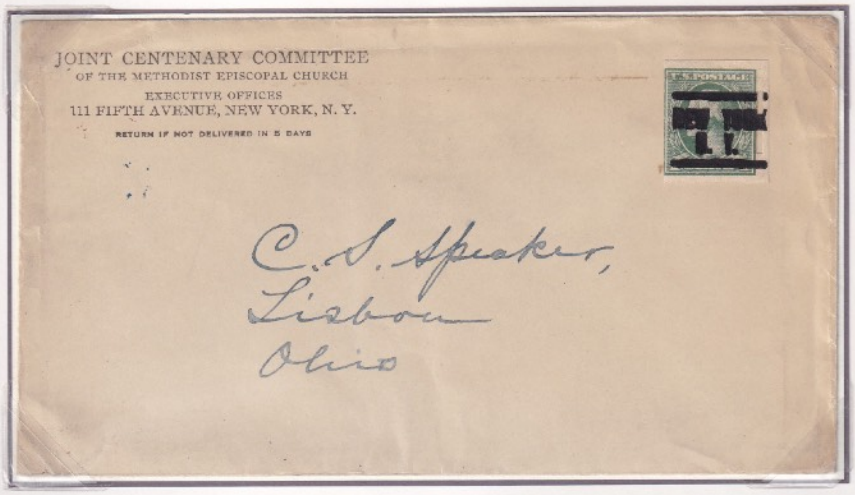
On Offset Issue of 1918-20　　Perforations Type III　　Unwatermark

地方型プリキャンセル1c第三種便使用例



Chicago, Ill.　　dark green　(PSS L-4E)

地方型プリキャンセル1c第三種便使用例



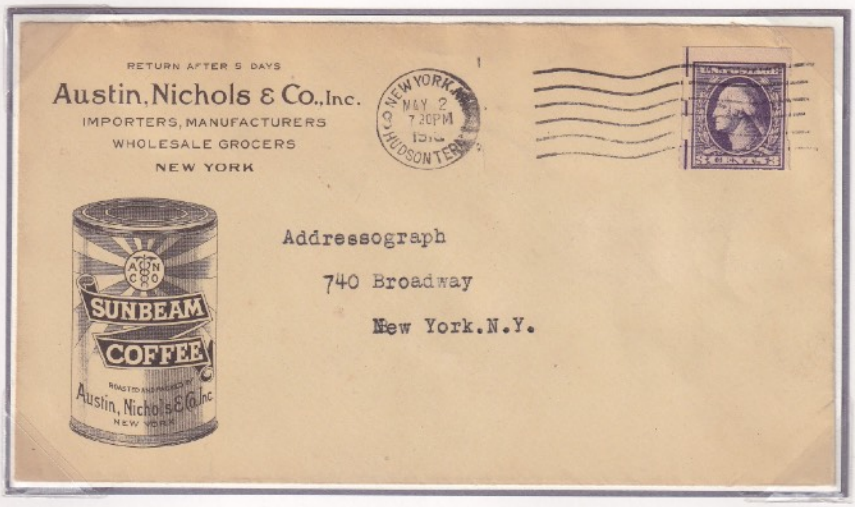
New York, N.Y. to Lisbon, Ohio　　gray green　(PSS 204)

31

Schermack Mailing Machine Company

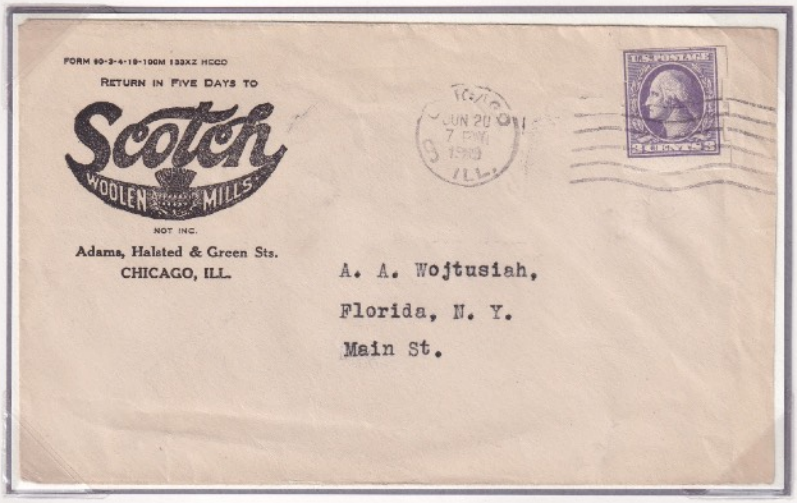
On Offset Issue of 1918-20　　Perforations Type III　　Unwatermark

国内戦時課税3c封書使用例



Hudson Term. Sta. New York, N.Y. (May 2, 1919) to New York, N.Y.

国内戦時課税3c封書使用例



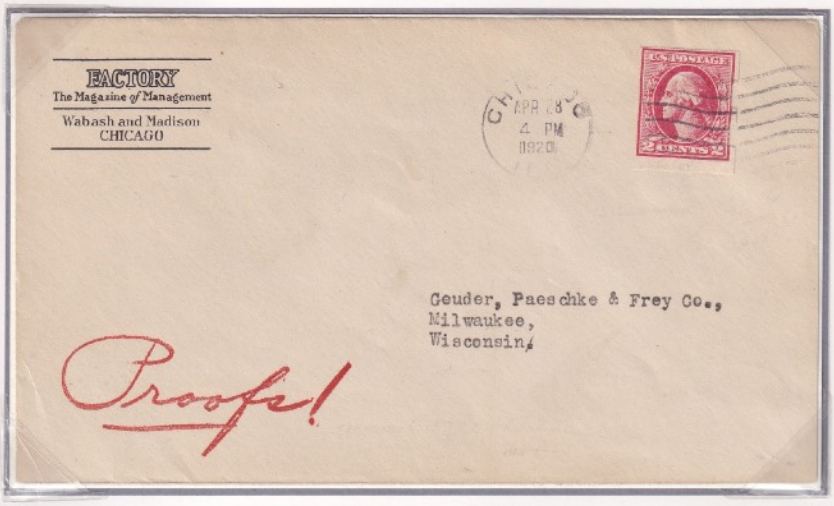
Chicago, Ill. (Jun. 20, 1919) to Florida, N.Y.

32

Schermack Mailing Machine Company

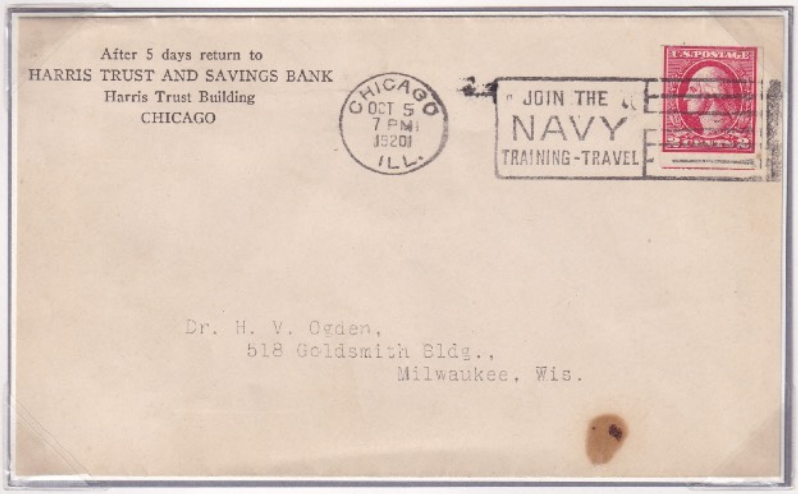
On Offset Issue of 1918-20　　Perforations Type III　　Unwatermark

国内2c封書料金使用例



Chicago, Ill. (Apr. 28, 1920) to Milwaukee, Wis.　　Die IV

国内2c封書料金使用例



Chicago, Ill. (Oct. 5, 1920) to Milwaukee, Wis.　　Die V

33

Schermack Mailing Machine Company

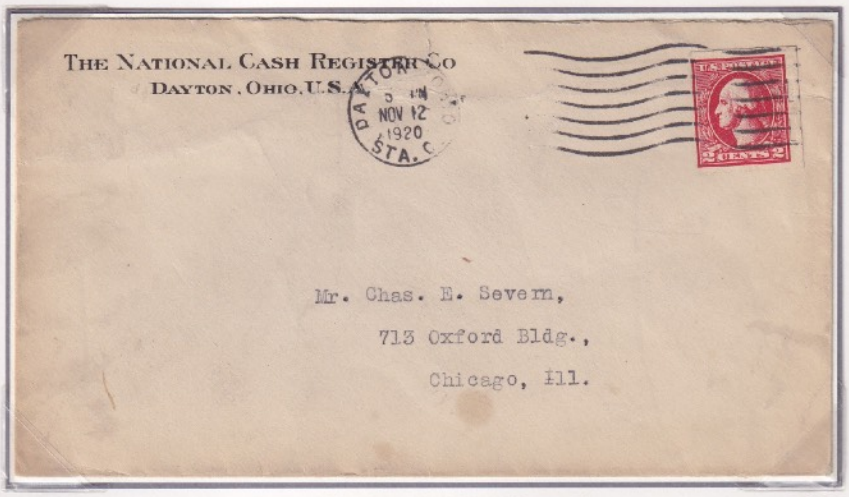
On Offset Issue of 1918-20　　Perforations Type III　　Unwatermark

英国宛2c封書条約料金使用例



Hudson Term. Sta. New York, N.Y. (Aug. 16, 1920) to Birmingham, England　　Die Va

国内2c封書料金使用例



Dayton, Ohio (Nov. 12, 1920) to Chicago, Ill.　　Die VI

34

Schermack Mailing Machine Company

On Offset Issue of 1918-20

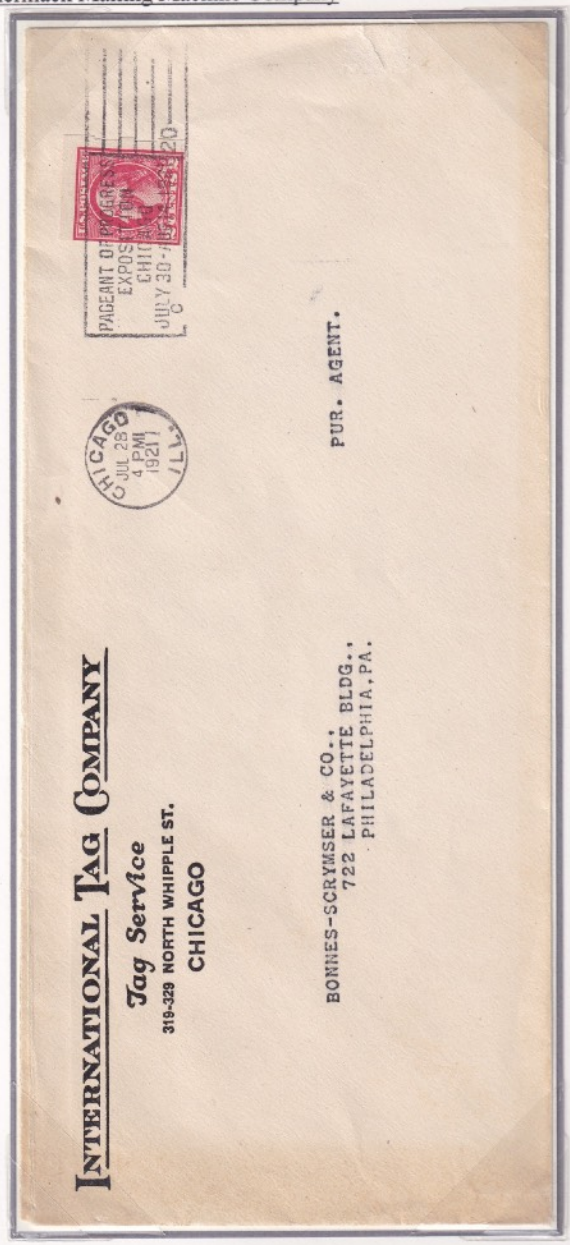
Perforations Type III

Unwatermark

Die VII

国内2c封書料金使用例

Chicago, Ill. (July 28, 1921)
to Philadelphia, Pa.



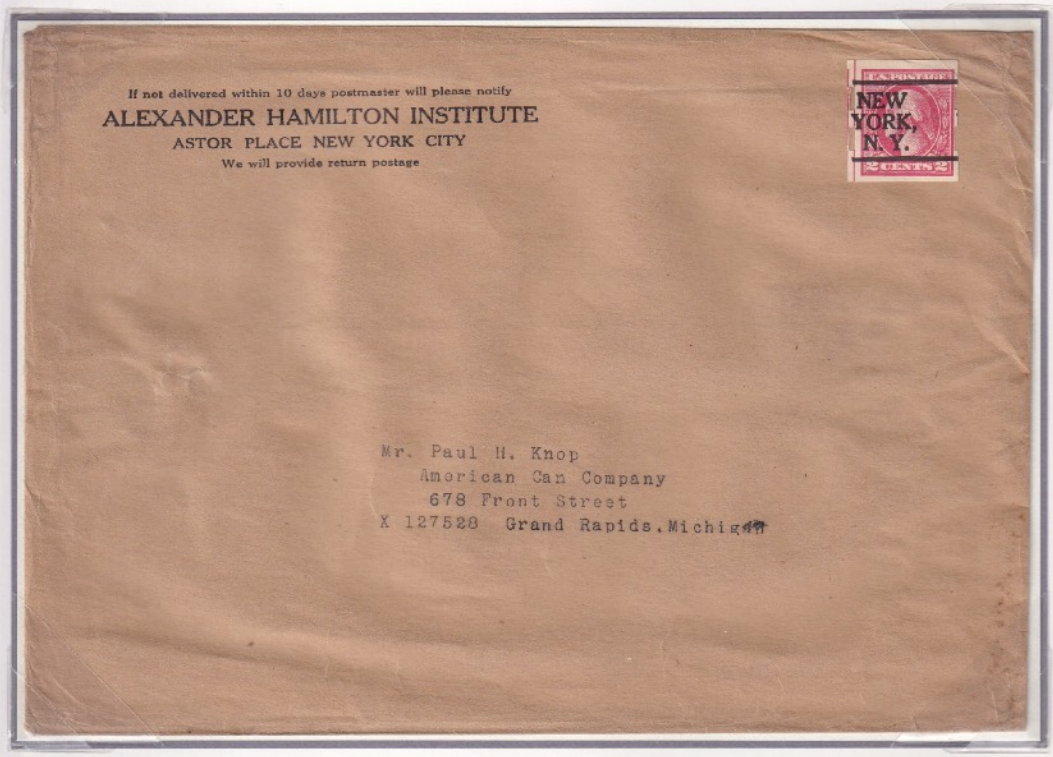
(e)

35

Schermack Mailing Machine Company

On Offset Issue of 1918-20　　Perforations Type III　　Unwatermark

地方型プリキャンセル国内2c第三種二倍重量便使用例



New York, N.Y. to Grand Rapids, Mich. (PSS L-5E)　　Die Va

36

Schermack Mailing Machine Company

On Issue of 1923-25　　Perforations Type III　　Unwatermark

使用済



地方型プリキャンセル



Chicago, Ill.
(PSS L-4E)

Chicago, Ill.
(PSS 224)

Chicago, Ill.
(PSS 224)

Guide Line Pairs



Chicago, Ill.
(PSS 224)

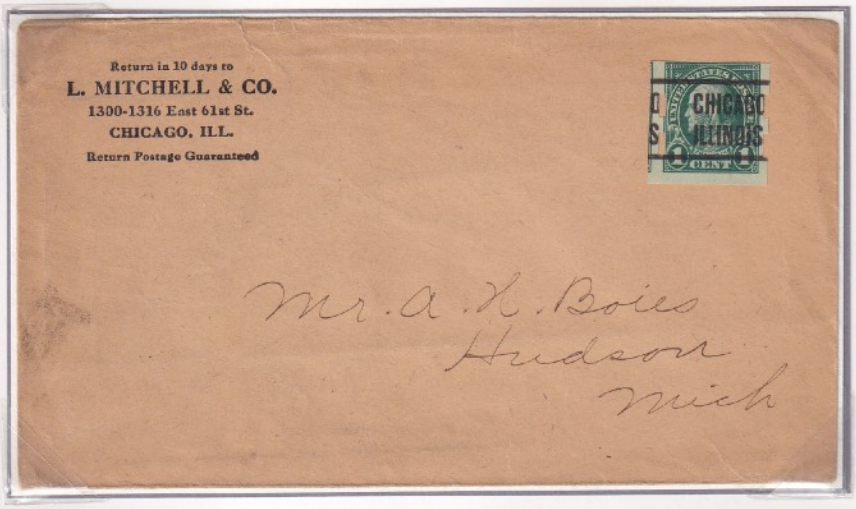
Chicago, Ill.
(PSS 224)

37

Schermack Mailing Machine Company

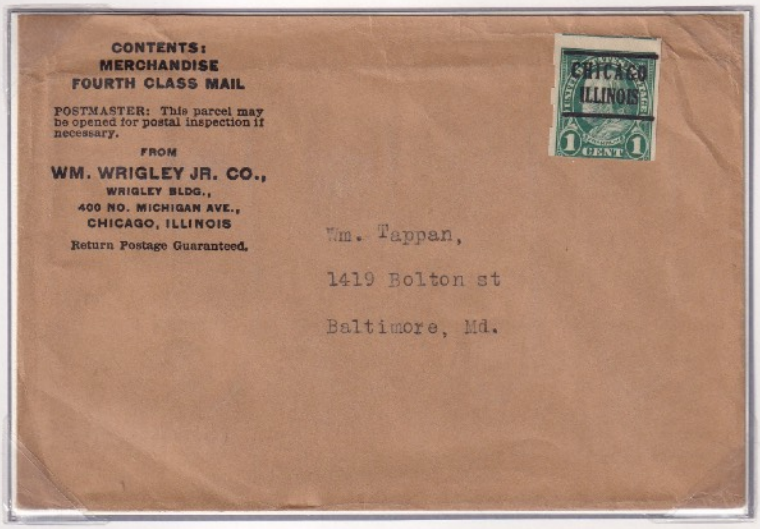
On Issue of 1923-25　　Perforations Type III　　Unwatermark

地方型プリキャンセル国内1c第三種便使用例



Chicago, Ill to Hudson, Mich.　　(PSS L4E)

地方型プリキャンセル国内1c第四種便使用例



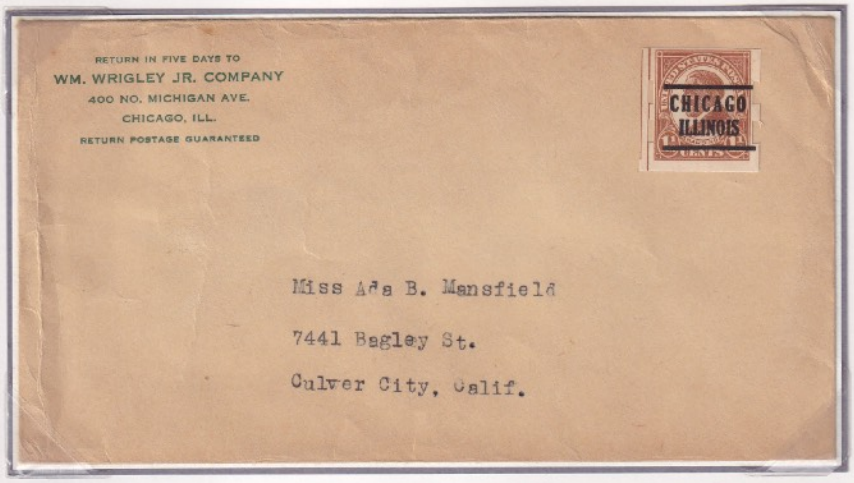
Chicago, Ill. to Baltimore, Md.　　(PSS 224)

38

Schermack Mailing Machine Company

On Issue of 1923-25　　Perforations Type III　　Unwatermark

地方型プリキャンセル国内1½c第三種便使用例



Chicago, Ill to Culver City, Carif.　　yellow brown　(PSS 224)

地方型プリキャンセル国内1½c第三種便使用例



Chicago, Ill.　　brown　(PSS 224)

39

Schermack Mailing Machine Company

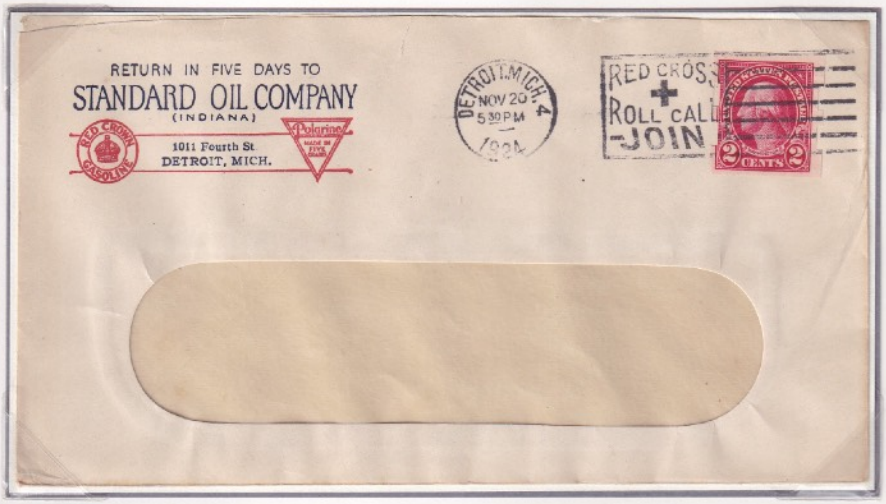
On Issue of 1923-25　　Perforations Type III　　Unwatermark

国内2c封書料金使用例



Milwaukee, Wis. (May 3, 1923)

国内2c封書料金使用例



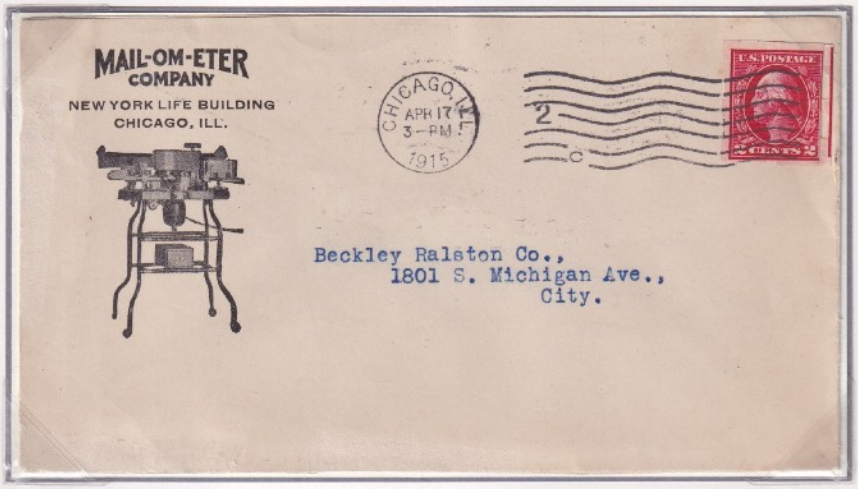
Detroit, Mich. (Nov.20, 1924)

40

Mailometer Company

Mailometer社の自社自動貼付機写真広告入カバー

国内2c封書料金使用例



Chicago, Ill. (Apr. 17, 1915) to Chicago, Ill.

On Issue of 1910　Perforations Type I　S. L. Watermark

使用済　地方型プリキャンセル



Saint Louis, Mo.　Saint Louis, Mo. (PSS L-3E)

On Issue of 1910　Perforations Type IV　S. L. Watermark

使用済　地方型プリキャンセル



Saint Louis, Mo. (PSS L-3E)　Saint Louis, Mo. (PSS L-3E)

41

Mailometer Company

On Issue of 1910　　Perforations Type I　　S. L. Watermark

国内2c封書料金使用例



Saint Louis, Mo. (Jan. 24, 1911) to Fresno, Calif.　Mailometer型目打は主にSaint Louis局で使用された

On Issue of 1910　　Perforations Type IV　　S. L. Watermark

国内2c封書料金使用例



Saint Louis, Mo. (Jun. 9, 1911) to Sherman, Tex.

42

Mailometer Company

On Issue of 1912　　Perforations Type IV　　S. L. Watermark

使用済



地方型プリキャンセル



Saint Louis, Mo.
(PSS L-3E)

Saint Louis, Mo.
(PSS L-3E)

Saint Louis, Mo.
(PSS L-4E)

On Issue of 1916-17　　Perforations Type IV　　Unwatermark

使用済

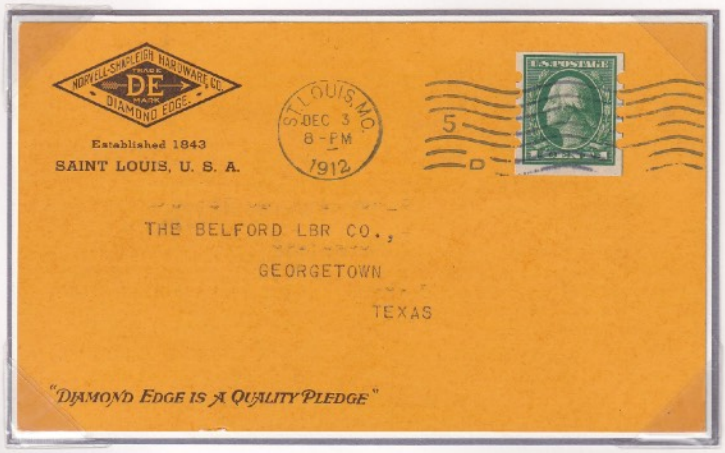


43

Mailometer Company

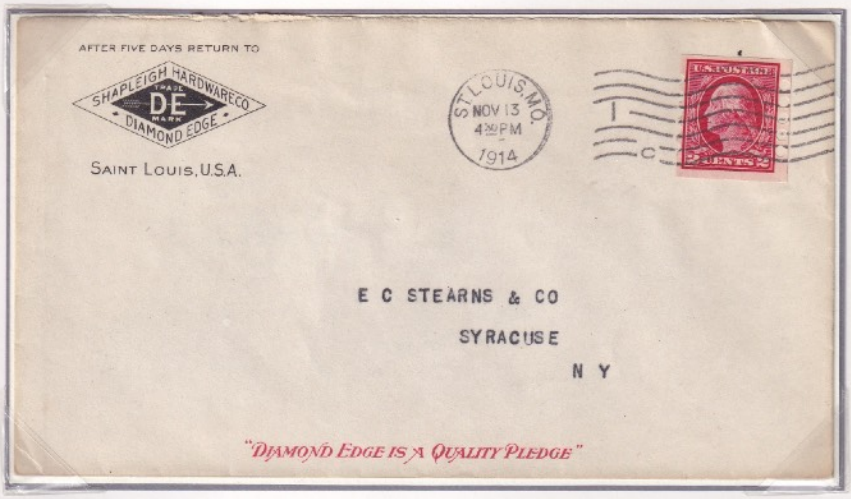
On Issue of 1912　　Perforations Type IV　　S. L. Watermark

国内1c葉書料金使用例



Saint Louis, Mo. (Dec. 3, 1912) to Georgetown, Tex.

国内2c封書料金使用例



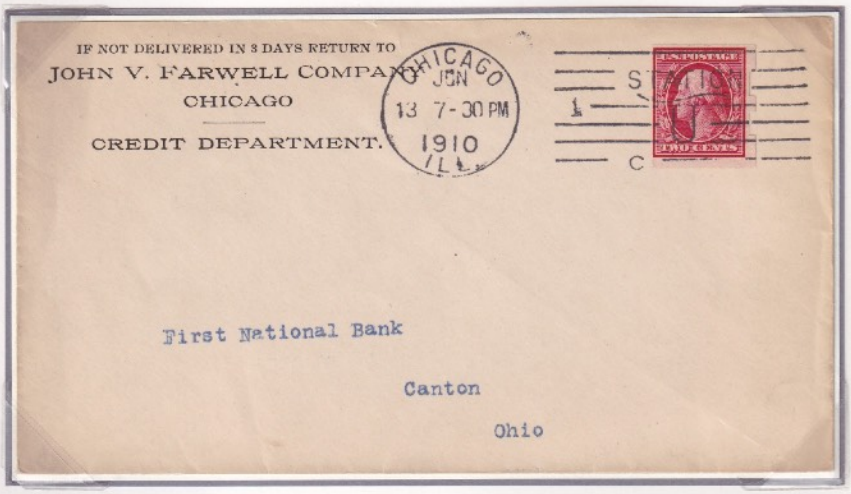
Saint Louis, Mo. (Nov. 13, 1914) to Syracuse, N.Y.

44

John V. Farwell Company

John V. Farwell社によるSchermackⅢ型目打使用例

国内2c封書料金使用例



Chicago, Ill. Sta. U (Jun. 13, 1910) to Canton, Ohio

John V. Farwell社による自社製目打の開発

Schermack Ⅲ型目打の切手は1巻250枚毎に50セントの
手数料が課せられていたため Farwell社では自社製の
目打の開発を1911年から開始した

Experimental Perforation



Type 4B3 (e)

Chicago局管内で1911年10月に使用された

45

John V. Farwell Company

On Issue of 1910　Perforations Group 4　S. L. Watermark

使用済



Type 4B4

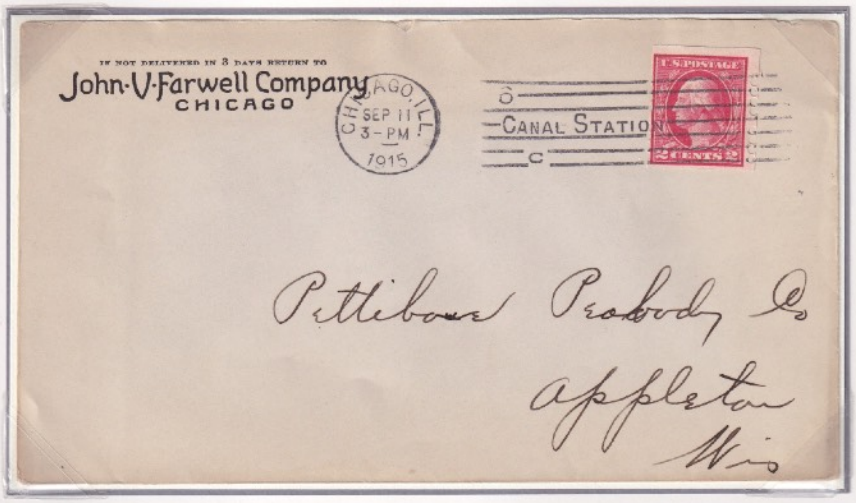
On Issue of 1912　Perforations Group 4　S. L. Watermark

使用済



Type 4A4　Type 4B4　Type 4A4　Type 4B4

国内2c封書料金使用例



Canal Sya. Chicago, Ill. (Sep. 11, 1915) to Appleton, Wis　Type 4A4

46

John V. Farwell Company

On Issue of 1912　　Perforations Group 4　　S. L. Watermark

地方型プリキャンセル

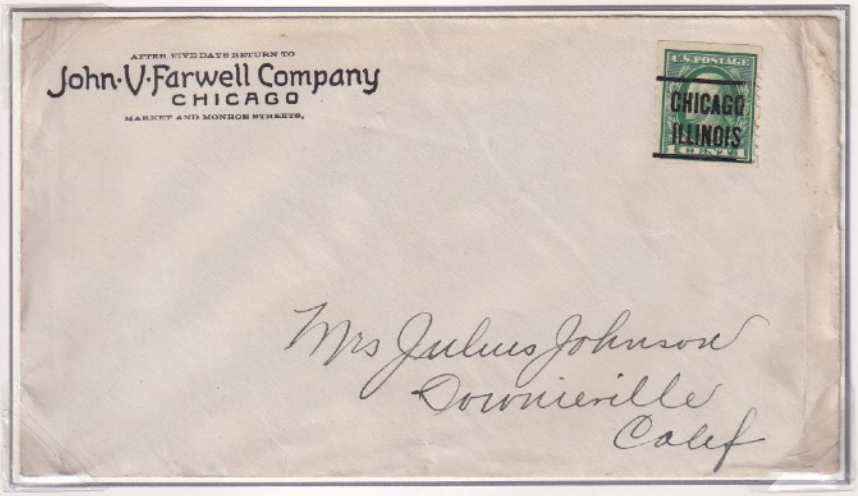


Type 4A4
Chicago, Ill.
(PSS L-4E)



Type 4B4
Chicago, Ill.
(PSS L-4E)

地方型プリキャンセル国内1c第三種便使用例



(PSS L4E)　　Chicago, Ill to Hudson, Mich.　　Type 4A4

On Issue of 1916-17　　Perforations Group 4　　Unwatermark

使用済



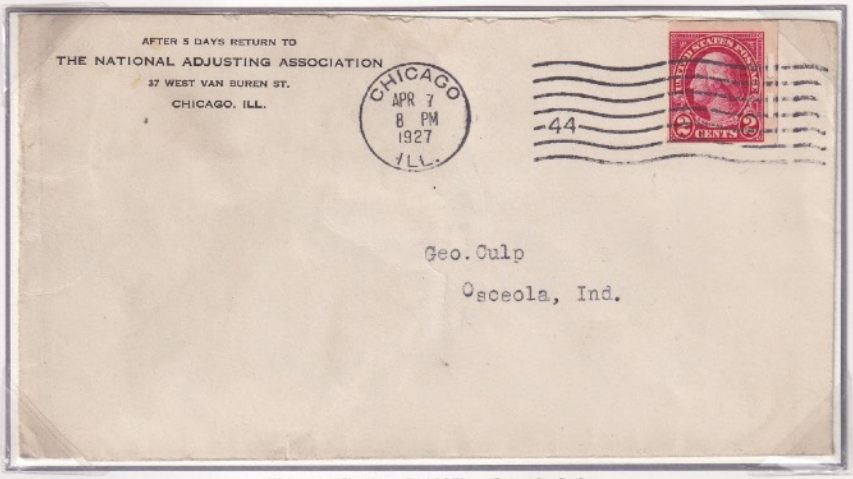
Type 4A4

47

自動販売機・貼付機目打の終焉

自動貼付機目打の終焉

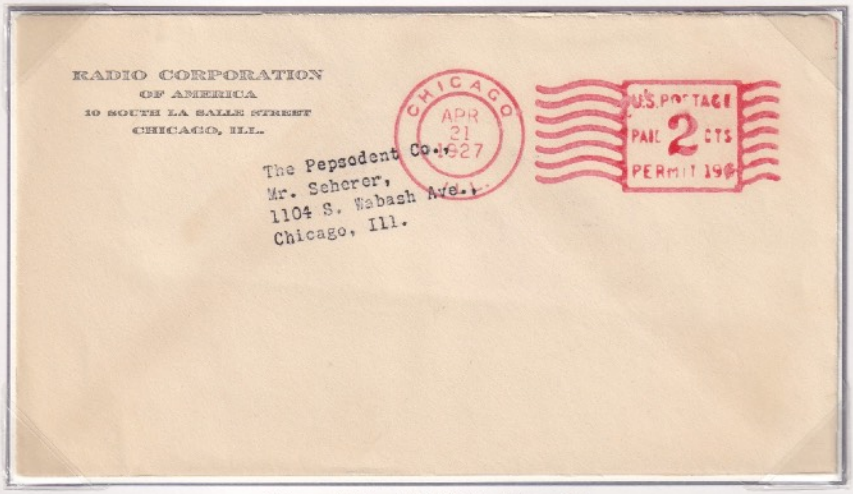
Schermack Ⅲ型目打最後期のシカゴ局2c国内封書料金使用例



Chicago, Ill. (Apr. 7, 1927) to Osceola, Ind.

自動貼付機からメータースタンプへの移行

Mailometer社Model D型メータースタンプによるシカゴ局2c国内封書料金使用例



Chicago, Ill. (Apr. 21, 1927) to Chicago, Ill.

48

U.S. 4th Bureau Issue
<1.5c Warren G. Harding>

大越　紳一郎

この作品は、米国の”4th Bureau Issue”の1.5cハーディングに絞って構成した３フレームの作品です。所謂「伝統郵趣」の手法で取り纏めましたが、非競争展という制約のない場であることを踏まえ、参観者の方に対する説明とこれから収集を始めようとする方に対するアドバイスなどをリーフ上に示すことにしました。念のため、通常のライトアップと区別し易いよう、説明文は邦文で周囲に枠を付けてあります。

”4th Bureau Issue”（1922年シリーズ）は、輪転印刷での切手製造を試行した1908年シリーズの後に発行され、凹版平面印刷から凹版輪転印刷への切手製造方法変更が行われました。結果として、（ドル額面以外の）各額面で複数種のバラエティーが生じ、収集家としては嬉しくも難しいシリーズとなっています。

シート切手の場合、平面印刷（目打11）で製造が開始され、その後輪転印刷（目打10）、次に同輪転印刷（目打11×10.5）という感じで、製造が進みました。

ところが、1.5cに関しては、料金改定（第3種郵便ほか）に伴い発行されたこと、しかも従来なかった1c未満の端数付きであったことから、短期間で大量に製造する必要がありました。そのため、利用可能な製造能力を一時的に集中して、この切手（および同時発行の0.5c）の製造に向けたようです。結果として、平面印刷目打11（＃553）、輪転印刷目打10（＃582）、同横コイル（＃598）の3種類が同時に発行されました。これはほかの額面に見られない特徴的なことです。

図案に関しては、短時間で製造するため、1923年に発行されたハーディング哀悼の２ｃ切手（黒色）を流用し、額面を変更して発行されました。（横顔図案）1930年に図案が改正され、斜め前からの肖像に変更され、シート切手とコイル切手が発行されています。

それでは、以下、カタログ番号（スコットカタログ米国専門版）毎にリーフを見ながら解説しましょう。

＃553（2～6リーフ）

平面印刷目打11のシート切手で、実用版は20×20の400面で、中央に縦横垂直にガイドラインが見られます。このガイドラインでカットされ、窓口シートとしては100面で、版番号が2ヶ所についており、ガイドライン部分はカッターで裁断されるため、目打が無い「ストレートエッジ」になります。

製造面ではシェード変化の幅が大きく、2ページで示したように、明るい茶から暗い茶までいろいろなものが見られます。印刷時期や版番号とシェードに相関がみられるかと思ったのですが、現時点では明確な法則は見いだせていません。

コレクションの構成要素としては、版番号付を含むポジションピースが重要でしょう。以前は人気のなかった、製版技術者のイニシャルについては、最近人気が高くなり、かなり割高な価格で取引されるようになりました。2ページ目は未使用、３ページ目はプリキャンセル、4ページ目は使用済単片で版番号付を示し、版番号とシェードの広がりを示したつもりです。使用面では、最初に発行された３種同居の初日カバーや料金初日の使用例など、フィラテリックな品も併せて示しました。

＃576（7～12リーフ）

平面印刷無目打のシート切手です。Schermack Ⅲ型自動貼付器目打を施し、貼付器で使用することを目的として、無目打かつ400面印刷シートのままで販売されました。同社向けに引き渡されたもの以外

は、郵趣窓口から発売されましたので、（自動貼付器目打以外の）使用済等はすべてフィラテリックなものと考えてよいでしょう。

自動貼付器目打は、9ページの最下段に未使用ペアの形で示してあります。使用例は、プリキャンセル加刷のものを12ページに示しましたが、希少と言っても良いでしょう。（プリキャンセルではない自動貼付器目打を貼って、普通に消印で抹消された使用例は、さらに希少です。今後の課題でしょう。）

この切手の場合、目打入りでは裁断の目安に使われたガイドラインがそのまま残っていますので、それを含むポジションピースをコレクションに加えることが望ましいでしょう。シェードについても、目打11同様に変化があります。

＃582（13〜16リーフ）

凹版輪転印刷目打10シート切手。実用版は20×20の400面構成で、これを半円筒形に丸め、同様のもう一つの版とつなぎ合わせ、円筒形の実用版として使用されました。400面の実用版は、縦横で中央に耳紙部分があり、窓口シートはこれを4分割した100面です。

この輪転印刷機には、凸版で加刷するためのユニットが付属しており、目打10で製造された切手の多くは製造と同時に凸版加刷ユニットを使用して、局型プリキャンセルが加刷されました。この額面でも局型プリキャンセル加刷の比率は結構あると思われます。なお、局型プリキャンセルは、プリキャンセルの一種ですから、使用面の材料になりますが、一方で切手の印刷の一部にもなるため、製造面の材料としての性格も有します。専門コレクションともなれば、局型プリキャンセルの全局揃いとか、壮大な目標を目指すことも不可能ではないでしょう。そこまでやらないにしても、プリキャンセルとしてのタイプ程度は揃える努力が必要かもしれません。13リーフには未使用と局型プリキャンセルの版番号ブロックを示し、次の14リーフには地方型プリキャンセル加刷の版番号ブロックを示しました。プリキャンセルのタイプやシェードの変化を楽しんでください。15リーフには、ガッターペアと用紙の継ぎ目部分（ダブルペーパー）を示しました。ガッターペア（ブロック）は、一定数がマーケットに存在するようです。16リーフ上のカバーは第3種便で、宛先を特定せず、一定のエリア内の全ての住所に配達するという、特別な発送方法による使用例で、興味深いものです。

＃598（17〜20リーフ）

輪転印刷目打10の横コイル切手です。コイル切手は、自動販売機にも使われましたが、多くはオフィスで使用されました。コイル切手を使える自動貼付器もこの時代には存在した筈です。額面としては、第3種等にあたりますので、個人宅での使用はあまり考えられず、オフィス中心の使用だったと思われます。17ページはリード紙部分をセットで並べました。昔はそれほど苦労せずに入手出来ましたが、最近はあまり見かけなくなりました。その下、実用版の継ぎ目に現れるジョイントラインペアを含む長いストリップを示し、その下には消印可読の使用済ストリップを置きました。競争展では「“Filler”だ」と言われそうですが、今回の展示では気兼ねなく使うことが出来ます。（個人的にはこの手のアイテムが大好きです。）18ページは、プリキャンセルを示しました。局型はリード紙から。その下にタイプのグループ違い（大字加刷と小字加刷）を示しました。

最下段の地方型は、コイル切手特有の”City Type Coil”と言われるものの例です。使用例は19〜20リーフに示しました

が、一般的な使用例の紹介にとどまりました。

＃605（21～22リーフ）

輪転印刷目打10の縦コイル切手です。この前の1908年シリーズでは、縦コイルのほうが主流だった時期もありますが、この切手に関しては、使用量は限定的であったと思われます。使用済を集めると、その多くが1930年代後半から1940年代の使用例で、おそらく切手商等が意図的に使用済を作ったのではないかと考えています。従って、嫌みのないコマーシャルカバーを見つけるのは至難の業で、出品者のコレクションでも唯一に近いものが、22リーフ上に示した薄汚れたカバーで、外信印刷物ということもあり、気に入っています。21リーフには、未使用ラインペアとリード紙付、そして地方型プリキャンセルの例を示しました。縦コイルの場合、局型プリキャンセルは存在しませんので、注意してください。

＃631（23～28リーフ）

輪転印刷無目打シート切手です。この切手は、面白い切手で、元々は「間違って」製造された切手でした。これはバラエティーにも繋がる話ですので、簡単に説明しましょう。平面印刷無目打切手のところで説明しましたが、無目打状態で納品されたのは、「SchermackⅢ型の自動貼付器用目打を施すため」でした。最終的には、繋げられコイル状にして貼付器にセットされました。

この輪転印刷切手でも同様に自動貼付器目打を入れて使用することが考えられたのですが、これには問題がありました。縦横に走る「ガッター」の存在です。目打を入れ、コイル状にするためには、切手の間隔が同一でなければなりません。平面印刷切手であれば、周囲の耳紙部分が邪魔になりそうですが、一方を裁断し、もう一方は貼り合わせてつなげる際の「のりしろ」として使われたので、結果として問題は生じませんでした。一方、輪転印刷の方は切手が印刷してある中にガッターがあるため、邪魔なまま残ってしまう訳です。Schermack社では、それを理由として、輪転印刷無目打切手の引き取りを拒否し、全量郵政省に戻されてしまったようです。

この返品された切手は、（有価証券でもありますので）そのままにして置く訳にもいかず、郵趣窓口を通して販売されることになりました。これまでに無かったガッターブロック等が入手できることになり、人気が出たのでしょう、追加で製造されるようになり、その後も販売が続いたようです。

ここで収集家として興味深いのは、最初の（返品された）ロットは、コイル状に仕上げることを前提として、邪魔なガムブレーカーを施さない、フラットな状態で製造されましたが、後日、追加で製造された切手は、コイル状にする必要もなかったので、輪転印刷のシート切手に使用されたガムブレーカー付きで製造されており、両者で「違い」があるということです。

返品分もそれなりの量（5,565シート／単片枚数で2百万枚以上）が製造されましたが、（少なくとも当初は）後日追加製造されたものとの違いが認識されておらず、マーケットに残っている量は、かなり少ない模様です。（個人的には、今回展示で示したブロック2点と、ペア1点しか見つけていません。）

カタログ価もヒンジ付きの版番号ブロックで375ドルと、かなりの高評価ですので、目玉として狙いたいアイテムでしょう。但し、分類している切手商は、当然それなりの価格になりますので、掘り出したいところですが・・・。

最初のリーフ（23リーフ）は、版番号ブロック2点、中央にガッターブロックと並べ、最下段は使用済のガッターブロックです。次のリーフでガッターブロックの4ポジションを示しましたので、使用済のガッターブロックはダブってしまう訳ですが、使用済ということで勘弁して貰いましょう。25リーフは同様に使用済のガッターブロックですが競争展であれば「フィラー」と言われて減点でしょうね。プリキャンセルは少ないと思いますが、どう考えてもフィラテリックなアイテムですので・・・。

26リーフには下段に目玉の「ガムブレーカー無し」を並べました。上段は機械印満月消を3点、その下は、モダーン・ファンシー・キャンセレーションの例で、紫の幾何学模様と、荒馬です。機械印満月はお気に入りです。使用例は2リーフ作りましたが、4点のうち1点はFDCで、そのほかもフィラテリックな香りがするものばかりで、仕方が無いとは言え辛いところです。

＃633（29～32リーフ）

輪転印刷目打11×10.5シート切手です。この仕様が、それ以降のしばらくの間の米国普通切手の使用になりました。大統領も同じ（ただしドル額面を除く）です。目打10では目打が粗すぎたのでしょう。落ち着きどころがこの切手の目打です。最初のリーフ（29リーフ）は、版番号ブロックの未使用を版番号違いでならべました。このうち上段の2点は切手1枚あたりにガムブレーカーによる「ウネ」が横方向に4本あるもの、残りが切手1枚当たり「ウネ」が横方向に1本あるものです。前者の方が早い時期に使われたことが判っており、無目打は、全て4本、目打10も多分4本でしょう。この切手では、逆に1本の方が多くなっています。となると、数を集めて全体的な姿を知りたい、という思いになりますが、なかなか大変です。この切手の場合、後に新図案の切手が発行されたため、低額面ではありますが、版番号ブロックは割高です。29リーフだけで、数百ドル掛かりますので、これを増やしていくのはなかなかの難事業でしょう。30リーフは局型プリキャンセルの大字加刷タイプ、31リーフは小字加刷タイプの版番号ブロックでそれぞれ1リーフずつ構成し、32リーフは地方型プリキャンセルにしましたが、上段は局型のバラエティーで、MILWAUKEE がMIKWAUKEEになったエラー切手です。中央がエラー切手になります。

この切手には、使用例のリーフがありません。フレーム構成上諦めたのですが、今思うと輪転印刷無目打の使用例2リーフを外し、こちらに割り当てたほうが良かったかもしれません。

＃659（33～35リーフ）

輪転印刷目打11×10.5シート切手 ”Kans.”加刷です。この切手は、ある社会背景から発行されました。この当時、米国では郵便局を狙った窃盗・強盗が多く、社会問題になっていました。切手に発売州名を加刷することで、盗難品である切手の現金化を難しくすれば、窃盗・強盗の抑制策になるのではないか、ということで、試験的にキャンザス、ネブラスカの2州で実施されました。対象は1cから10cまでの11額面でしたが、結果として正式採用はされなかったようです。州名加刷切手自体は使用制限なく（＝全米どこでも使用可能）、しばらくの間発売されましたので、州名と全く無関係の使用済も多く見られます。（むしろ、発行州内での使用例は非郵趣使用として重視されます。収集家の興味は今のところカバーに向けられていますが、そのうち「消印可読」の使用済で、州

内使用のものが人気を集めるかもしれません。）

最初のリーフ（33リーフ）は、上2段で版番号ブロックを4点（うち使用済1点）並べ、3段目は地方型プリキャンセルの例を示しました。州名加刷の切手に関しては、郵政当局はプリキャンセルの加刷を禁じていたのですが、大量に使用されるクリスマスの時期に、なし崩し的に使用されたようです。特に珍しいものではありませんが、州内使用にあたるものが多く見られますので、注意が必要でしょう。最下段は加刷位置ズレの未使用単片です。これに関しては、次のネブラスカ加刷で説明します。次の34リーフは使用例で、ペア貼の1種国内書状です。次の35リーフは使用済フルシートです。右側が切れていますが、実物は完全なフルシートの状態です。これは、意図的な使用済ではなく、料金受取人払いの郵便の料金纏め払の際、本来であれば不足料切手を使用すべきところ、売れ残りの切手（＝不良在庫）を使用したものではないか、と考えています。この時期から大統領シリーズ辺りまでの時期、このようなシートの使用済が少なからず見られますし、同種の消印の田型使用済が山のようにあったりしますので、的外れな推測ではないと思っています。

＃670（36～40リーフ）

輪転印刷目打11×10.5シート切手 ”Nebr.”加刷です。1リーフ目（36リーフ）は上段に未使用の版番号田型を並べ、その下に地方型プリキャンセルの例を示しました。（郵政当局は州名加刷切手へのプリキャンセルを禁じていましたので、局型は存在しません。）

2リーフ目には広幅加刷（エラー）を示しました。州名加刷は、印刷機に備えられたプリキャンセル用の凸版加刷ユニットを使用して加刷されましたが、加刷文字は切手の下部、同じ場所に加刷されるよう、加刷版上の州名のポジションは一定の間隔で並んでいました。但し、輪転印刷の場合、400面の実用版は、100面の窓ロシートが田型に並んでいたため、シート間には耳紙に相当するガッターが設けられていました。加刷版もそれを考慮した位置に調整されていましたので、輪転印刷の凹版の実用版と加刷版がシンクロしていれば問題は生じません。ところが何らかの理由でずれが生じると、切手上にガッターを考慮した幅の広い部分が掛かってしまうことがあり、これを広幅加刷（Wide Spacing）と呼んでいるのです。エラーと言って良い存在で、目立つことから人気も高く、コレクションにはかえたいところですね。このリーフの下部には使用済田型3点（いずれも州内使用だと思います）を並べてみました。最後の使用済シートはキャンザス加刷と同様の品で、サイズの関係で切れていますが、完全シートです。使用例は39～40リーフに示したが、初日カバー以外は非郵趣家便を揃えることが出来ました。

＃684（41～44リーフ）

輪転印刷目打11×10.5「新図案」シート切手です。この切手は、図案変更により発行されました。特徴的なのは、実用版上の版番号の位置で、当初は印面と版番号の間隔が1/16インチだったところ、途中から幅が広がり、1/8インチになったことで、並べるとはっきり判ることもあり、これを揃えることが基本になるでしょう。41リーフは狭幅の未使用版番号田型とプリキャンセル（局型&地方型）を示しました。次の42リーフは、上部に広幅の未使用版番号ブロックを並べ、その下に定常変種（9枚ブロックの中央）を2点、同じものの未使用とプリキャンセル加刷を並べました。定常変種としては、転写の不足により画線の一部が消えているもの（Weak

Transfer）です。ご覧のとおり、両方とも定常変種以外の部分に欠点があり、どのような形で展示するのが良いか、迷ったのですが、ブロックを「千切る」決心がつかず、そのまま展示しました。使用例のリーフは2リーフですが、なかなか充実していると思います。

＃686（45〜48リーフ）

輪転印刷目打10「新図案」コイル切手です。この切手も、結構シェードの幅があります。45リーフ上部はリード紙を示し、その次にシェード違いをラインペアで示しました。下部は地方型プリキャンセルと機械印満月で、個人的には好みですが、お手本にはならないですね。次の46リーフは、局型プリキャンセルに関するアイテムを並べてみました。リード紙とラインストリップ、ラインペアなどを並べて、1リーフ埋めることが出来たのは上出来かな、と思っています。使用例は2リーフですが、48リーフ上部のカバー、消印が普通と違うのが判りますか？これは、Mailer's Permit Post Markと呼ばれる消印で、郵政当局ではなく、一般ユーザーが許可を得て作った郵便印です。これは使用される条件があり、プリキャンセル加刷の切手を使用して書状等差出日付を明らかにしなければならない郵便物を差立てるとき、この日付印を使用することにより、プリキャンセル加刷切手の使用が許可されるという制度を背景としています。このカバーは少し日付が遅いのですが、文句は言えないでしょう。下のカバーは日本で言えば書籍小包にあたるものです。（第4種ライブラリー・レート）大きなカバーですが、何とかリーフに収めました。

U.S. 4th Bureau Issue
< 1.5c Warren G. Harding >

概観

U.S. 4th Bureau Issue(1922年シリーズ)は、米国証券印刷局（Bureau of Engraving & Printing / BEP)が印刷する普通切手としては4番目のシリーズとして、1922年から発行が始まり、次の5th Bureau Issue(大統領シリーズ）の発行が1938年に始まると徐々に入れ替わった。
発行期間中は技術革新による印刷方式（平面印刷→輪転印刷実用化）、目打（目打11→目打10→目打11×10.5）等の変化が生じ、結果としてメインナンバーの数も多い。

1.5 c 切手は、1925年の第三種郵便の値上（1 c →1.5 c ）により米国で初めての小数点以下の端数を含む額面の切手として発行された。他の低額面切手では、最初に平面印刷・目打11が発行され、次に輪転印刷・目打10が発行されたが、この切手の場合、目打11・目打10・横コイルの3種が同時に発売された。短期間で新料金用の切手を大量に用意する必要があったことが背景と考えられる。
また、途中で図案が変更され、肖像が横向きから斜め前方からのものに変更された。

作品の概要

対象額面である1.5 c 切手につき、概ねスコットカタログ番号順になるように時系列的に展示する。カタログ番号を付すことにより、参観者に判り易くすることを心掛けた。細かいバラエティーを追いかけるのではなく主要なバラエティーを中心として構成し、使用面も多様性を追究した。

参考文献

- Scott Specialized Catalogue of U.S. / Amos Media
- The United States Fourth Bureau Issue / Gary Griffith & Jay B. Stotts
- 2020 Durland Standard Plate Number Catalog / USSS
- U.S. Domestic Postal Rates, Revised / Beecher & Wawrukiewicz
- U.S. International Postal Rates, 1872-1996 / Wawrukiewicz & Beecher

この出品に関しては、本切手展が無競争展であることに鑑み、参観者が対象切手につき理解しやすく、また「集めてみようか」と思っていただけるように、競争展出品作品の場合避けるべきとされている希少性についての表現（主観的な表現、あるいはカタログ評価そのものなど）も含めた「集め方」の参考情報につき、邦文で記載した。
また、このように枠で囲うことにより、通常のライトアップと区別可能にした。
少しでも多くの方に興味を持って頂ければ幸いである。

1

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Flat Plate Printing — Sheet Stamp (#553) — Perf. 11

Pl. 16847 / yellow brown



Pl. 16870 / dark brown



Pl. 16842 / yellow brown



Pl. 16873 / dark brown



Partially Under Inking at Right



Pl. 16841 / dark brown

2

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Flat Plate Printing — Sheet Stamp (#553) — Perf. 11

Precanceled

Pl. 16845



NORTH TONAWANDA / N. Y. (PSS 581)

Pl. 16876



BANGOR / MAINE (PSS 729)

Pl. 16940



KANSAS CITY / MO. (PSS 209)

Pl. 16841



FREMONT /NEBR (PSS 204)

Pl. 16941



TOPEKA / KANSAS (PSS L-5 TS)

Pl. 16861



CEDAR RAPIDS / IOWA (PSS 207)

平面印刷シート切手目打１１（リーフ２～６）
・シェードについては幅があるので、特徴的なものを収集することが望まれる。印刷時期や版番号との直接的な相関関係は見出せていない。
・版番号の字体に変化があるので、収集上、留意したい。
・使用例としては発行目的の第三種郵便や外信印刷物は押さえたい。また、短期間で複数のメインナンバーが流通したため、目打違いなどの同一図案異種混貼の使用例（非郵種家便）も狙いたい。

3


1.5c Warren G. Harding
U.S. 4th Bureau Issue
Flat Plate Printing
Sheet Stamp (#553)
Perf. 11
Pl. 16829
Pl. 16830
Pl. 16837
Pl. 16838
Pl. 16839
Pl. 16841
Pl. 16862
Pl. 16865
Pl. 16870
Pl. 16871
Pl. 16874
Pl. 16878
Pl. 16880
Pl. 16913
Pl. 16914
Pl. 16917
Pl. 16933
Pl. 16936
Pl. 16938
Pl. 16939
Pl. 16940
Pl. 16941
Pl. 16972
Pl. 16973
Pl. 16974
4

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

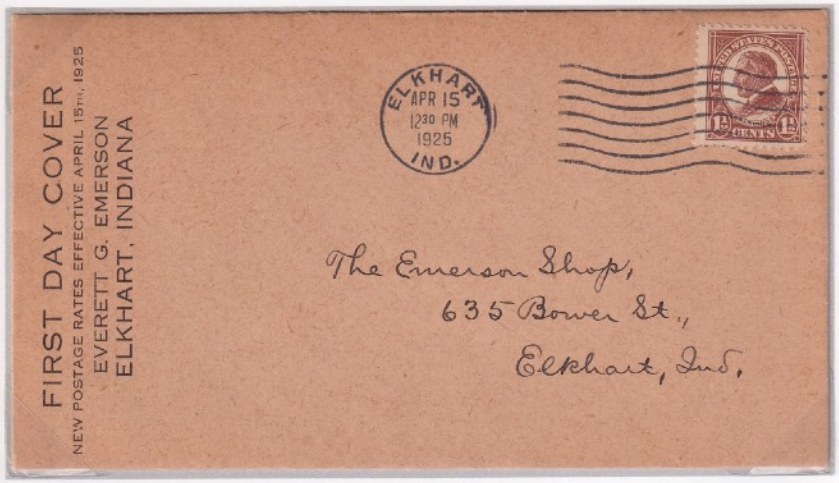
Flat Plate Printing — Sheet Stamp (#553) — Perf. 11

First Day Cover with Perf. 10 Sheet Stamp (#582) and Sidewise Coil (#598),
All Issued on the Same Day (March 19, 1925)



WASHINGTON, D.C. / MAR 19, 1925

Domestic 3rd Class Mail Posted on the First Day of the 1.5c Rate
<Domestic 3rd Class Mail, up to 2oz : 1.5c (Effective on Apr 15, 1925)>



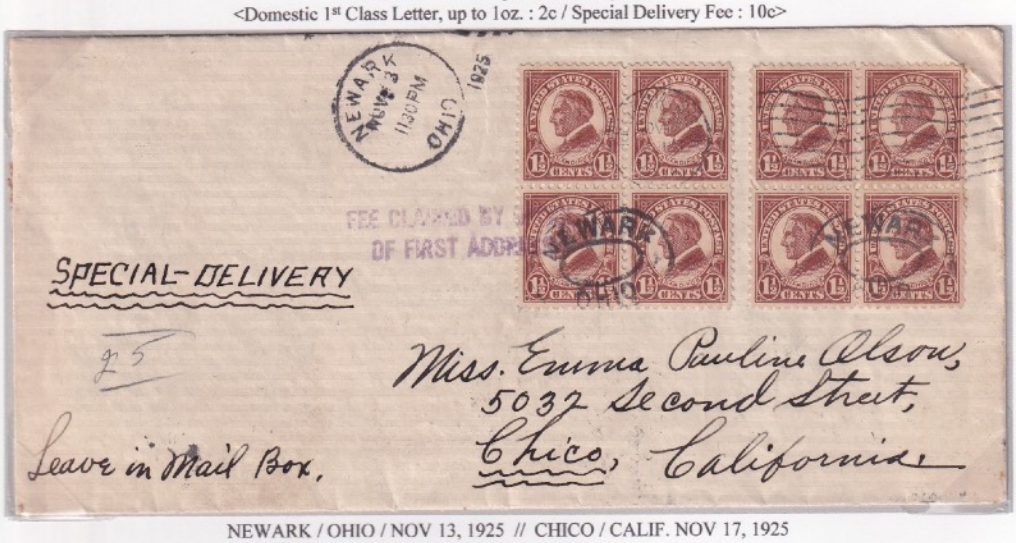
ELKHART / IND. / APR 15, 1925

5

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

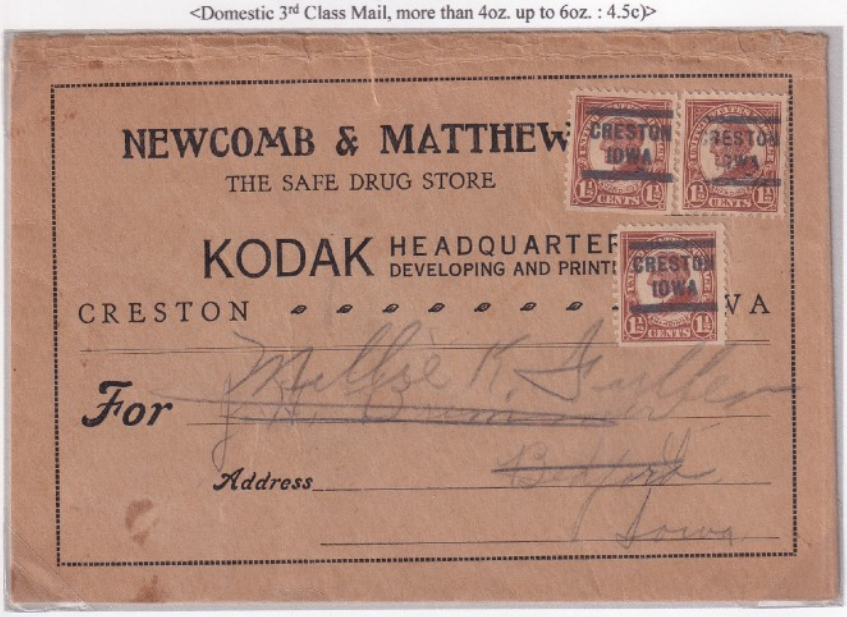
Flat Plate Printing — Sheet Stamp (#553) — Perf. 11

Domestic 1st Class Special Delivery Letter
<Domestic 1st Class Letter, up to 1oz. : 2c / Special Delivery Fee : 10c>



NEWARK / OHIO / NOV 13, 1925 // CHICO / CALIF. NOV 17, 1925

Domestic Triple Weight 3rd Class Mail
<Domestic 3rd Class Mail, more than 4oz. up to 6oz. : 4.5c)>



6 Precanceled "CRESTON / IOWA" (PSS #563)


1.5c Warren G. Harding
U.S. 4th Bureau Issue
Flat Plate Printing
Sheet Stamp (#576)
Imperf.
Pl. 16831 TL / brown
16831
Pl. 16845 TL / brown
16845
Pl. 16862 TL / yellow brown
16862
Pl. 16870 TR / yellow brown
16870
Pl. 16839 TL / brown
16939
Pl. 16971 TR / brown
16971
7

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Flat Plate Printing — Sheet Stamp (#576) — Imperf.

Pl. 16831 TL / brown



Precanceled

Pl. 16847 / brown



Pl. 16940 / dark brown



Pl. 16839



Pl. 16841



Pl. 16843



Pl. 16872



Pl. 16917



8

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Flat Plate Printing — Sheet Stamp (#576) — Imperf.

Center Line Blocks

Yellow brown



brown



With Plate Finishers' Initials

J.P.L. & F.B.B.



E.L.S. & R.F.W.



With Siderographer's Initial

H.L.C.



With Affixing Machine Perf. "Schermack III"



9

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Flat Plate Printing — Sheet Stamp (#576) — Imperf.

Complete Set of Used Arrow Blocks

Top



DENVER / COLO.

Bottom



INDIANAPOLIS / IND. / AUG 12, 1925

Left



CHICAGO / ILL.

Right



PORTLAND / IND. / NOV 9, 1925

Center Line Block, Precanceled



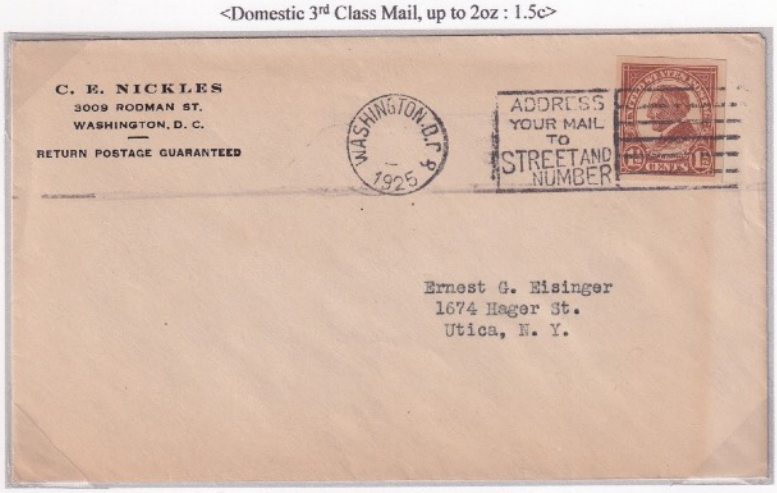
CHICAGO / ILLINOIS (PSS 225)

10

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

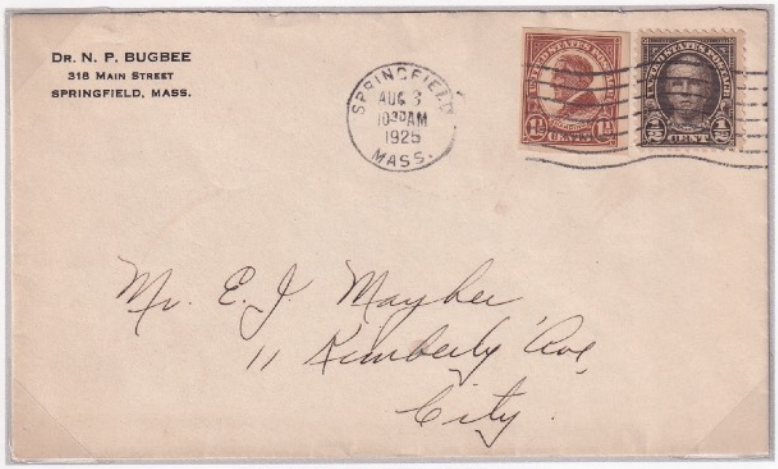
Sheet Stamp (#576) — Imperf.

Domestic 3rd Class Mail
<Domestic 3rd Class Mail, up to 2oz : 1.5c>



WASHINGTON, D.C. 8 / 1925

Domestic 1st Class Letter
<Domestic 1st Class Letter, up to 1oz. : 2c >



SPRINGFIELD / MASS. / AUG 3, 1925

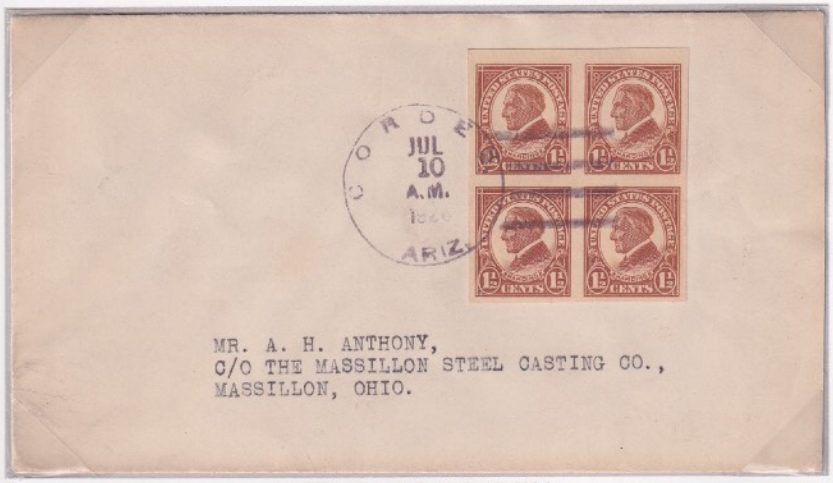
平面印刷シート切手無目打（＃５７６）＜リーフ７～１２＞
・自動切手貼付機に使用することを目的として、Schermack III型目打を施すために業者の要請により発行された。
・400面シートで発行され、ガイドラインを含むものが存在するので、入手したい。
・目打１１同様に幅広いシェード変化がある。

11

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

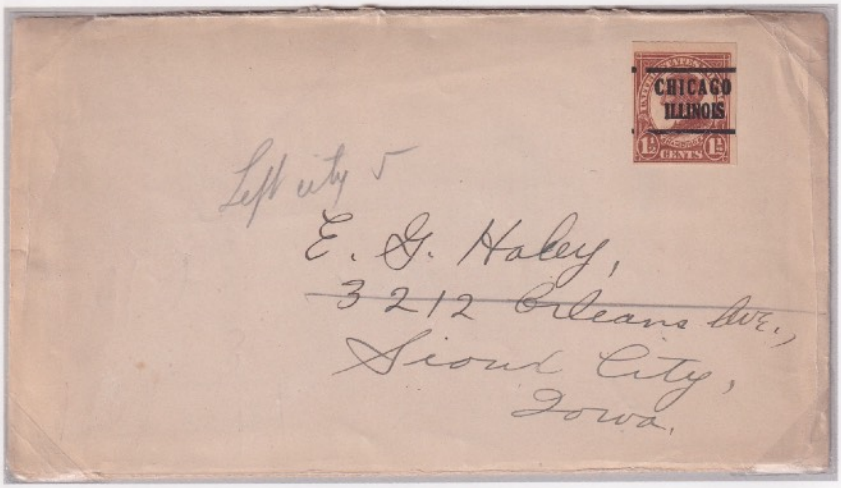
Sheet Stamp (#576) — Imperf.

Domestic 1st Class Triple Weight Letter
<Domestic 3rd Class Mail, over 2oz., up to 3oz : 6c>



CORDES / ARIZ. / JUL 10, 1926

Domestic 3rd Class Mail, Franked with "Schermack III" Perf.
<Domestic 3rd Class Mail, up to 2oz. : 1.5c >



Precanceled "CHICAGO / ILLINOIS
(PSS 225)

12

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Rotary Press Printing — Sheet Stamp (#582) — Perf. 10

Pl. 16825 UR



Pl. 16826 LR



Pl. 16852 UL



Pl. 18589 UR



Pl. 18702 UR



Precanceled by Bureau

Pl. 16888 UL



BOSTON / MASS. (PSS 42)

Pl. 17008 LL



BROOKLYN / N.Y. (PSS 43)

Pl. 17008 UR



PORTLAND / OREG. (PSS 43)

13

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Rotary Press Printing — Sheet Stamp (#582) — Perf. 10

Precanceled Locally

Pl. 16826 LL



NEW BRITAIN / CONN (PSS 205)

Pl. 16849 LL



PAONIA / COLO. (PSS 547)

Pl. 16886 UL



FRESNO / CALIF. (PSS 531)

Pl. 16887 LR



HAMILTON / OHIO (PSS 204)

Pl. 16905 UL



DALTON / MASS. (PSS 225)

Pl. 18357 UL



YORK / PA. (PSS 224)

Pl. 18359 UR



MONTEBELLO / CALIF.
(PSS 471)

Pl. 18360 UL



BEAVER DAM / WIS.
(PSS 219)

Pl. 18413 UL



BEAVER DAM / WIS.
(PSS 219)

輪転印刷シート切手目打１０（＃５８２）＜リーフ１３～１６＞
・このシリーズのほかの額面と異なり、平面印刷目打１１と同時に発行された。
・シェード変化はあるが、平面印刷に比べ、濃色が多いイメージがある。

14

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Rotary Press Printing — Sheet Stamp (#582) — Perf. 10

Pl. 18235 UL



DALLAS, TEX. / YOUNG ST. STA. /
JUL 2, 1927

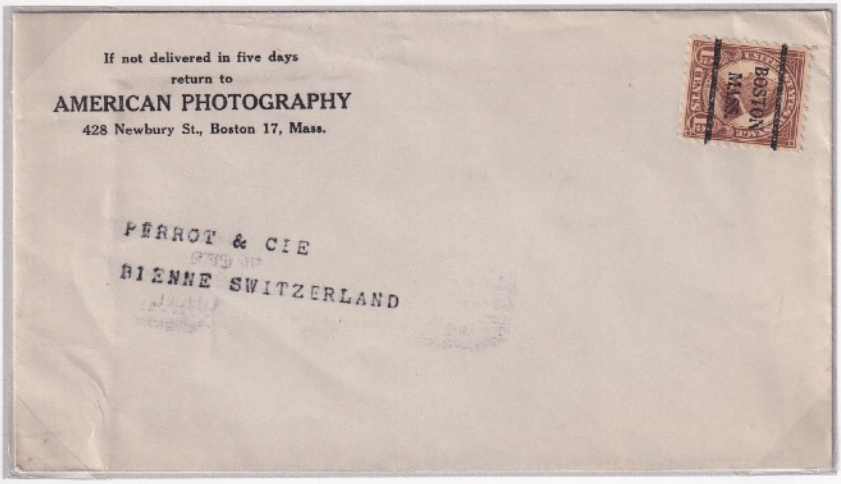
"Double Paper"



Pair with Full Vertical Gutter between



International Printed Matter to Switzerland
<International Printed Matter, up to 2oz. : 1.5c >



15

Precanceled "BOSTON / MASS." (PSS 42)

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

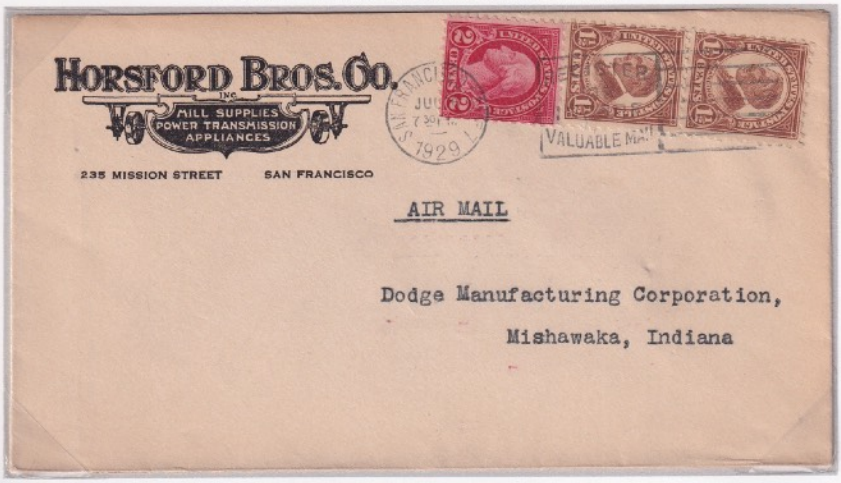
Rotary Press Printing — Sheet Stamp (#582) — Perf. 10

Domestic 3rd Class Mail, without Addressee's Name
<Domestic 3rd Class Mail, up to 2oz. : 1.5c >



CERES / CALIF.

Domestic 1st Class Letter via Airmail
<Domestic 1st Class Letter via Airmail, up to 1oz. : 5c >



SAN FRANCISCO, CALIF. 7 / JUL 26, 1929

16

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Rotary Press Printing — Coil Stamp (#598) — Perf. 10 Vert.

with "Leader Paper" for 500 Stamp Roll



with "Trailor Paper"



Joint Line Strip of 8





ALBANY / N.Y. / NOV 24,1933

17

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Rotary Press Printing — Coil Stamp (#598) — Perf. 10 Vert.

with "Leader Paper" for 500 Precanceled Stamp Roll



CHESTER / PA. (PSS 42)

Bureau Precancels



MUNCIE / IND. (PSS 42)



NEW YORK / N.Y. . (PSS 63)

Local Precancels



KANSAS CITY / MO. (PSS 163)



CINCINNATI / OHIO (PSS 164)

輪転印刷　横コイル切手目打１０（＃５９８）＜リーフ１７～２０＞
・実用版を半円等形にし、２面を接続した円筒形の実用版で印刷された。版の継目にインクが残り、Joint Lineと呼ばれる線が切手間に見えるものは、収集対象となる。
・切手製造時に同時に加刷された局型プリキャンセルと、発売後に各地でか殺された地方型プリキャンセルがある。前者は製造面のバラエティでもある。

18

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

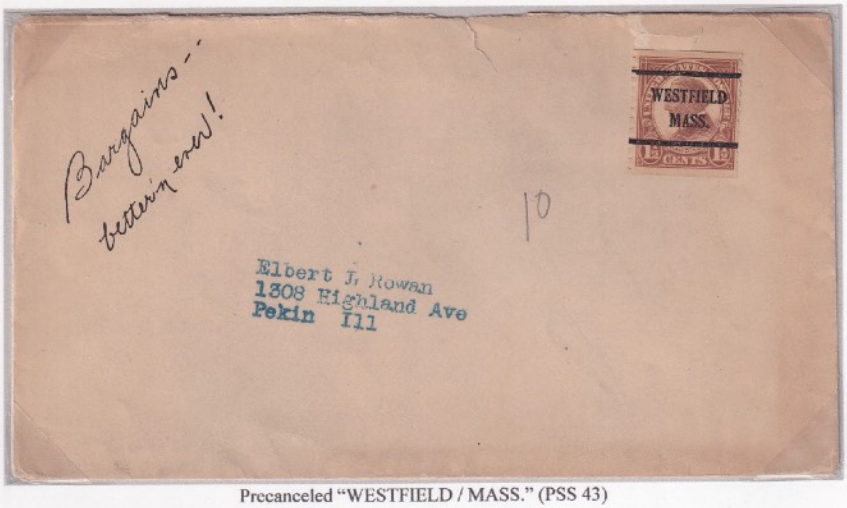
Rotary Press Printing — Coil Stamp (#598) — Perf. 10 Vert.

Domestic 3rd Class Mail
<Domestic 3rd Class Mail, up to 2oz. : 1.5c >



WELLS / MAINE / AUG 2, 1927

Domestic 3rd Class Mail
<Domestic 3rd Class Mail, up to 2oz. : 1.5c >



Precanceled "WESTFIELD / MASS." (PSS 43)

19

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Rotary Press Printing — Coil Stamp (#598) — Perf. 10 Vert.

Domestic 1st Class Special Delivery Letter, 1c Overpaid
<Domestic 1st Class Letter, up to 1oz. : 2c / Special Delivery Fee : 10c >



NEW YORK,N.Y. / STA. J / AUG 8, 1931

Domestic 1st Class Letter via Airmail
<Domestic 1st Class Letter via Airmail, up to 1oz. : 5c >



KENOSHA, WIS. / JAN 8, 1931

20

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Rotary Press Printing — Coil Stamp (#605) — Perf. 10 Horiz.

Joint Line Pairs



with "Leader Paper" for 500 Stamp Roll



Local Precancels



WHITETAIL / MONT. (PSS 713)



KANSAS CITY / MO. (PSS 163)



PHILADELPHIA / PA. (PSS 163)



ANAHEIM / CALIF. (PSS 703)

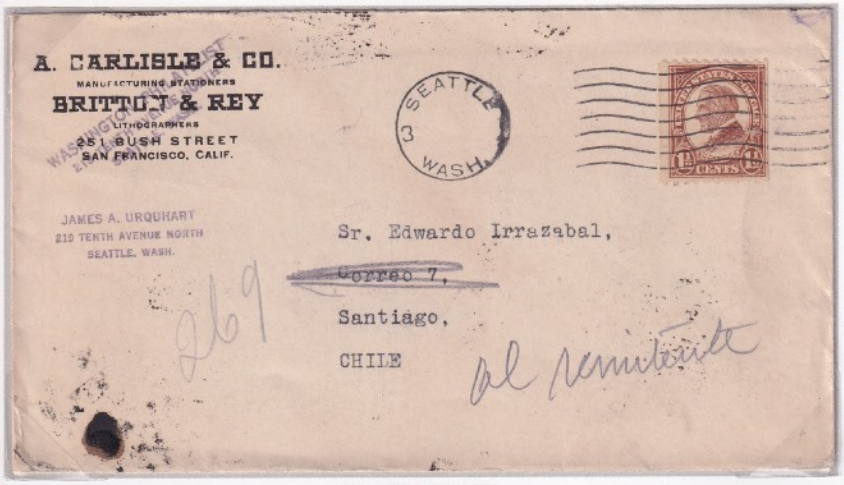
輪転印刷　縦コイル切手目打１０（＃６０５）＜リーフ２１～２２＞
・横コイル切手動揺に製造されたため、Joint Lineと呼ばれる線が切手間に見えるものが存在する。横コイルのほうが使用量が多く、製造量・使用ともに少ない。
・局型プリキャンセルは製造されず、プリキャンセルはすべて地方型である。

21

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Rotary Press Printing — Coil Stamp (#605) — Perf. 10 Horiz.

International Printed Matter to Chile
<International Printed Matter, up to 2oz. : 1.5c >



SEATTLE / WASH.

Domestic 1st Class Letter
<Domestic 1st Class Letter , up to 1oz. : 3c >



CITY HALL ANNEX, NY. 1 / APR 21, 1936

22

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Rotary Press Printing — Sheet Stamp (#631) — Imperf.

With Horizontal "Gum Breaker" Ridges (4 Ridges per Stamp)

Pl. 18360 LR



Pl. 18413 UR



Center Block with Crossed Gutters and Dashes



Used Block with Dash at Top and Vertical Gutter Between



CANTON / OHIO

23

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Rotary Press Printing — Sheet Stamp (#631) — Imperf.

With Horizontal "Gum Breaker" Ridges (4 Ridges per Stamp)

Complete Set of Dashes and Gutters



24

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Rotary Press Printing — Sheet Stamp (#631) — Imperf.

With Horizontal "Gum Breaker" Ridges (4 Ridges per Stamp)

Used Block with Horizontal Gutter / Target Cancel



Used Block with Dash and Vertical Gutter





PONCA CITY / OKLA.
(PSS 513)

輪転印刷　シート切手無目打（＃６３１）＜リーフ２３～２８＞
・当初、誤って少数がガムブレーカーなしで製造され、その後ガムブレーカー付きで製造販売された。ガムブレーカーなしは希少。（版番号ブロック評価３７５ドル）
・他の切手にはないガッター入りのブロックはコレクションに加えたい。

25

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Rotary Press Printing — Sheet Stamp (#631) — Imperf.

With Horizontal "Gum Breaker" Ridges (4 Ridges per Stamp)



NEW YORK, N.Y. / FEB 7, 1929



ALBANY / N.Y. / NOV 3, 1933



CHICAGO / ILL. / NOV 22, 1926

Modern Fancy Cancels





Without "Gum Breaker" Ridge

Pl. 18413 LR



With Dash and Vertical Gutter Between



26

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Rotary Press Printing — Sheet Stamp (#631) — Imperf.

With Horizontal "Gum Breaker" Ridges (4 Ridges per Stamp)

Domestic Double Weight 3rd Class Mail
<Domestic 3rd Class Mail, more than 2oz, up to 4oz. : 3c >



CORNING, N.Y. / DEC 2, 1929

Domestic 1st Class Letter
<Domestic 1st Class Letter , up to 1oz. : 3c >



LA JOLLA, CALIF / JUL 23, 1936

27

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Rotary Press Printing — Sheet Stamp (#631) — Imperf.

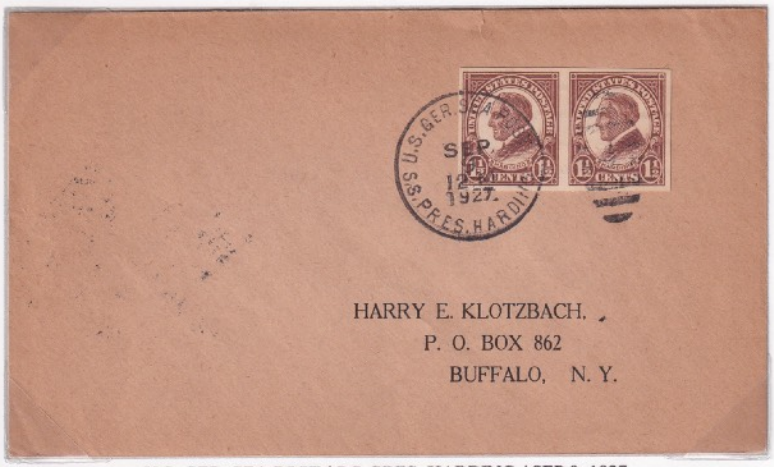
With Horizontal "Gum Breaker" Ridges (4 Ridges per Stamp)

First Day Cover



WASHINGTON / D.C. / AUG 27, 1926

Overpaid Domestic 1st Class Letter, Posted on the Ship
<Domestic 1st Class Letter , up to 1oz. : 2c / 1c Overpaid>



U.S. GER. SEA POST / S.S. PRES. HARDING / SEP 9, 1927

28

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Rotary Press Printing — Sheet Stamp (#633) — Perf. 11x10.5

With Horizontal "Gum Breaker" Ridges (4 Ridges per Stamp)

Pl. 18722 UL



Pl. 18723 UL



With Horizontal "Gum Breaker" Ridge (1 Ridge per Stamp)

Pl. 19057 UR



Pl. 19072 UR



Pl. 19125 UR



Pl. 19181 LL



Pl. 19192 UR



Pl. 19290 LL



輪転印刷　シート切手目打11 x 10.5（＃６３３）＜リーフ２９～３２＞
・ガムブレーカーが２種類存在する。版番号との組み合わせを追及すると、隠れた珍品が出てくるかもしれない。
・途中で図案改正があり、他額面比カタログ評価が高く、数を集めるのに苦労する。

29

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Rotary Press Printing — Sheet Stamp (#633) — Perf. 11x10.5

Bureau Precancels ("Large Letters")

Pl. 18358 UR



Oklahoma City / Okla. (PSS 45)

Pl. 18412 UL



GIRARD / KANS. (PSS 42)

Pl. 18694 LR



Minneapolis / Minn. (PSS 44)

Pl. 18703 UR



BROOKLYN / N.Y. (PSS 43)

Pl. 18722 UL



BROOKLYN / N.Y. (PSS 43)

Pl. 18723 UL



BROOKLYN / N.Y. (PSS 43)

Pl. 18728 UL



SIOUX CITY / IOWA. (PSS 43)

Pl. 18737 LL



DENVER / COLO (PSS 42)

Pl. 19181 LR



Grand Rapids / Mich. (PSS 42)

30

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Rotary Press Printing — Sheet Stamp (#633) — Perf. 11x10.5

Bureau Precancels ("Small Letters")

Pl. 18738 UR



SAN / FRANCISCO / CALIF. (PSS 63)

Pl. 9125 LL



HARTFORD / CONN. (PSS 61)

Pl. 19181 LL



BATAVIA / ILL. (PSS 61)

Pl. 19191 UR



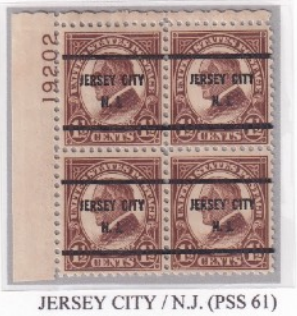
MINNEAPOLIS / MINN.. (PSS 61)

Pl. 19201 UL



SIOUX CITY / IOWA (PSS 61)

Pl. 19202 UL



JERSEY CITY / N.J. (PSS 61)

Pl. 19213 LR



BUFFALO / N.Y. (PSS 61)

Pl. 19214 UR



KALAMAZOO / MICH. (PSS 61)

Pl. 19293 UR



ROCHESTER / N.Y. (PSS 61)

31

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Rotary Press Printing — Sheet Stamp (#633) — Perf. 11x10.5

Bureau Precancels ("Small Letters")

Misspelled "MIKWAUKEE" instead of MILWAUKEE / ERROR



Normal	Error	Normal

Local Precancels

Pl. 18704 LL



Alhambra, / Calif. (PSS L-3 TS)

Pl. 18722 UR



FORT WAYNE / IND. (PSS 225)

Pl. 18825 LL



VALLEY CITY / N.DAK.
(PSS 237)

Pl. 19125 UR



BEAUMONT / TEXAS (PSS 243)

Pl. 19191 LL



SANTA / ANA / CALIF. (PSS 246)

Pl. 19214 LR



LONG ISLAND /CITY / N.Y.
(PSS 236.5)

32

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Rotary Press Printing — Sheet Stamp / Overprinted "KANS." (#659) — Perf. 11x10.5

Pl. 19181 UL



Pl. 19191 UR



Pl. 19191 LL



Pl. 19191 UR (Used)



Local Precancels



SALINA / KANS.
(PSS 701)



HUGOTON / KANS. (PSS 492)



FREDONIA / KANS
(PSS 255)

Misplaced Overprint



33

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Rotary Press Printing — Sheet Stamp / Overprinted "Kans." (#659) — Perf. 11x10.5

Domestic 1st Class Letter
<Domestic 1st Class Letter, up to 1oz. : 3c>



IOLA / KANS. / DEC 19, 1932

Complete Used Pane of 100, Overprinted "Kans."

輪転印刷　"Kans."加刷シート切手目打11 x 10.5（＃６５９）＜リーフ３３～３５＞
・頻発した郵便局強盗・窃盗を抑止する施策として、盗まれた切手類の処分を難しくするため、各州名加刷を行うことが考えられ、キャンザス・ネブラスカの両州で１０ｃ以下の額面を対象に試行されたが、結果として採用されなかった。
・使用済の多くはフィラテリックなものであり、発売州での使用は少ない。使用済・使用例ともに、発売州での使用と判るものはコレクションに加える価値がある。
・切手の印刷は輪転式の凹版であるが、同時に凸版の加刷ユニットを使用して州名が加刷された。切手の実用版と凸版の加刷版のシンクロに問題が生じた場合（"Nebr." 加刷のページに示したような)Wide Spacingを含め、加刷バラエティーが生じた。前頁の加刷ズレも同様の原因によるものである。

34

U.S. 4th Bureau Issue <1.5c Warren G. Harding>



1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Rotary Press Printing — Sheet Stamp / Overprinted "Nebr." (#670) — Perf. 11x10.5

Pl. 19182 UR



Pl. 19192 UR



Local Precancels

Pl. 19182 UL



CRETE / NEBR. (PSS 701)

Pl. 19182 UR



CLAY / CENTER / NEBR. (PSS 235)

Pl. 19192 UL



CLAY / CENTER / NEBR. (PSS 713)



BUREWLL / NEBR. (PSS 703)



Newman Grove / Nebraska
(PSS 540)



NORTH PLATTE / NEBR.
(PSS 238)

36

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Rotary Press Printing — Sheet Stamp / Overprinted "Nebr." (#670) — Perf. 11x10.5

"Wide Spacing" Variety

The wide-spaced overprint error occurred due to a mechanical misregistration during the overprinting process. The words "Kans." and "Nebr." were applied using rotary plates intended to skip an inter-pane gutter. If the plate misaligned, the gap between overprints intended for the gutter fell directly across a row of stamps, creating an abnormally wide vertical distance (often elongated or skipping entirely) compared to the standard 22 mm spacing.



Wide Spacing



Complete Used Pane of 100, Overprinted "Nebr."

輪転印刷　"Nebr."加刷シート切手目打11 x 10.5（＃６７０）＜リーフ３６～４０＞
・キャンザス加刷と同様の目的で発行され、特徴や収集のポイントも同様である。
・"Wide Spacing"は高価ではあるが、製造の特徴を示すものでもあり、入手したい。

37

U.S. 4th Bureau Issue <1.5c Warren G. Harding>



1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Rotary Press Printing — Sheet Stamp / Overprinted "Nebr." (#670) — Perf. 11x10.5

First Day Cover



BEATRICE / NEBR. / MAY 1, 1929

Domestic 3rd Class Mail
<Domestic 3rd Class Mail, up to 2oz. : 1.5c>



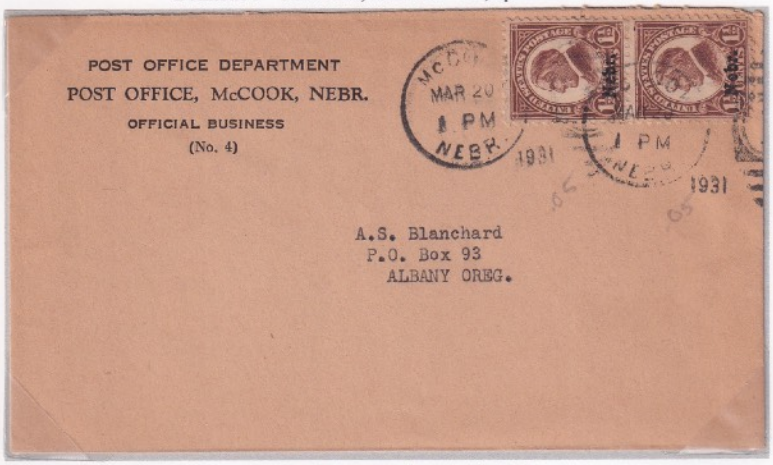
39

OMAHA, NEBR / BURLINGTON STA. / DEC 22, 1933

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Rotary Press Printing — Sheet Stamp / Overprinted "Nebr." (#670) — Perf. 11x10.5

Domestic Double Weight 3rd Class Mail
<Domestic 3rd Class Mail, more than 2oz., up to 4oz. : 3c>



McCOOK / NEBR. / MAR 20, 1931

Domestic 1st Class Letter
<Domestic 1st Class Letter, up to 1oz. : 3c>



OMAHA, NEBR / BURLINGTON STA. / DEC 16, 1932

40

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Rotary Press Printing — New Design ("Full Face") / Sheet Stamp (#684) — Perf. 11x10.5

Width between Stamp Design and Pl. No. : 1/16 inch

Pl. 20260 UR



Pl. 20265 LL



Pl. 20413 LL



Pl. 21081 UR



Pl. 21571 LR



Bureau & Local Precancels

Pl 20413 UR



LITTLE ROCK / ARK. (PSS 61)

Pl. 21080 LL



SAINT LOUIS / MO. (PSS 61)

Pl. 21083 LR



LITTLE ROCK / ARK (PSS 204)

41

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Rotary Press Printing — New Design ("Full Face") / Sheet Stamp (#684) — Perf. 11x10.5

Width between Stamp Design and Pl. No. : 1/8 inch

Pl. 21586 LL



Pl. 21759 LL



Pl. 21745 LR



NEW / YORK / N.Y. (PSS 63)

Constant Plate Variety

Top Outer Frame Thin and Inner Frame Line Absent above "T" of STATES (Pos. 54 UR / Pl. 20384)





CLEVELAND / TENN. (PSS 704)

Plate Variety



Normal

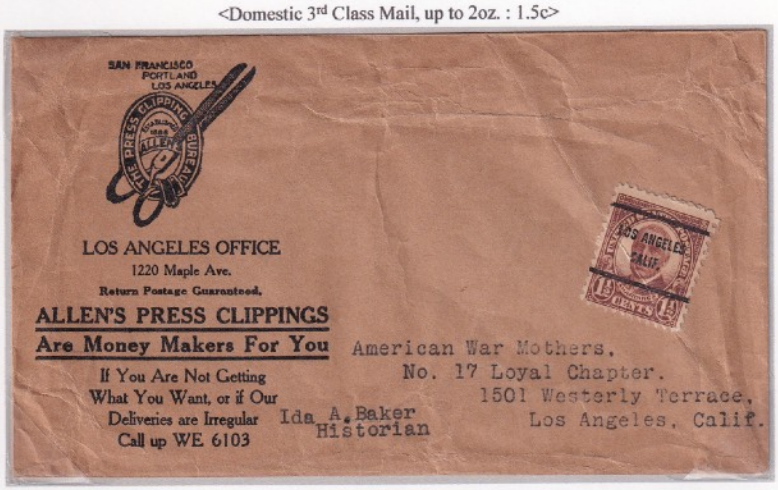


42

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

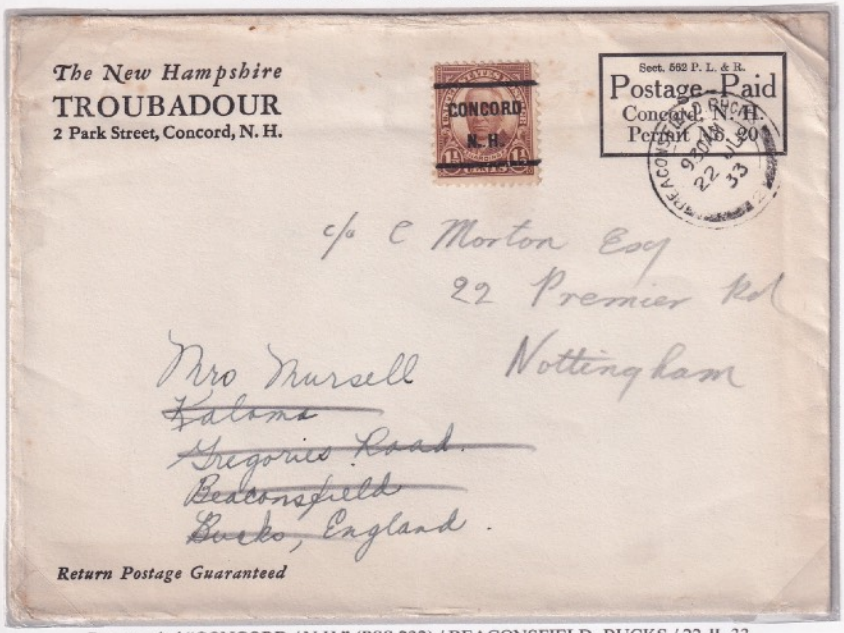
Rotary Press Printing — New Design ("Full Face") / Sheet Stamp (#684) — Perf. 11x10.5

Domestic 3rd Class Mail
<Domestic 3rd Class Mail, up to 2oz. : 1.5c>



Precanceled "LOS ANGELES / CALIF. (PSS 61)

International Printed Matter to U.K.
<International Printed Matter, up to 2oz. : 1.5c>



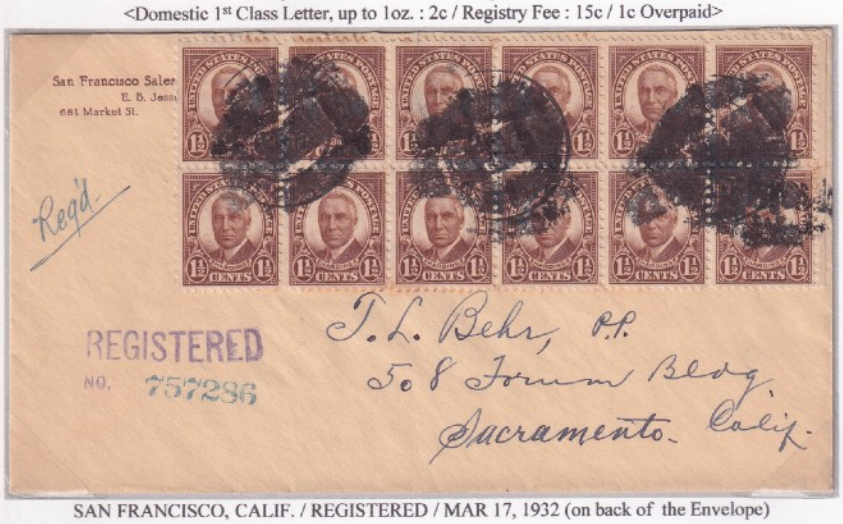
43

Precanceled "CONCORD / N.H." (PSS 232) / BEACONSFIELD, BUCKS / 22 JL 33

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Rotary Press Printing — New Design ("Full Face") / Sheet Stamp (#684) — Perf. 11x10.5

Overpaid Domestic 1st Class Registered Letter
<Domestic 1st Class Letter, up to 1oz. : 2c / Registry Fee : 15c / 1c Overpaid>



SAN FRANCISCO, CALIF. / REGISTERED / MAR 17, 1932 (on back of the Envelope)

Domestic 3rd Class Insured Mail
<Domestic 3rd Class Mail, up to 2oz. : 1.5c / Insurance Fee (minimum) : 5c>



Precanceled "SAINT LOUIS / MO." (PSS 61)
SAINT LOUIS (Gravels Sta.) MO / PARCEL POST / NOV 9, 1937

44

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Rotary Press Printing　New Design ("Full Face") / Coil Stamp (#686)　Perf. 10 Vert.

with "Leader Paper" for 500 Stamp Roll



brown



dark brown



with Partial Pl. No.



Local Precancels







OKLAHOMA CITY / OKLA. /
DEC 19, 1934

輪転印刷　新図案シート切手（＃６８４）＜リーフ４１～４４＞
同コイル切手（＃６８６）＜リーフ４５～４８）
・旧図案と比較すると未使用は安価。特に版番号ブロックにおいて顕著である。
・シート切手には、切手と版番号の間隔に変化があり、後期の広幅のほうが少ない。
・旧図案との混貼によって生じた同額面異種貼のカバーを見かけることがある。コレクションに変化をつけるのに好適であろう。

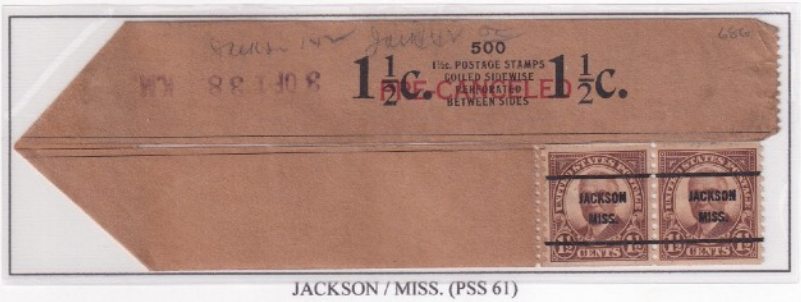
45

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Rotary Press Printing — New Design ("Full Face") / Coil Stamp (#686) — Perf. 10 Vert.

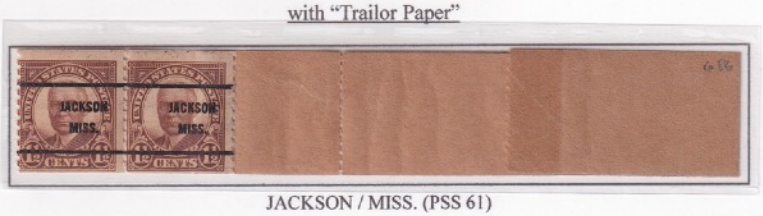
Precanceled by Bureau

with "Leader Paper" for 500 Precanceled Stamp Roll



JACKSON / MISS. (PSS 61)

with "Trailor Paper"



JACKSON / MISS. (PSS 61)

Joint Line Strip of 6



SACRAMENTO / CALIF. (PSS 61)



NEW / YORK / N.Y. (PSS 63)



AUSTIN / TEX. (PSS 61)



LINCOLN / NEBR. (PSS 61)

46

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Rotary Press Printing — New Design ("Full Face") / Coil Stamp (#686) — Perf. 10 Vert.

Domestic 1st Class Special Delivery Letter
<Domestic 1st Class Letter, up to 1oz. : 2c /
Special Delivery Fee : 10c>



BETHLEHEM, PA. /
MONROVIAN STA. / JUN 6, 1931

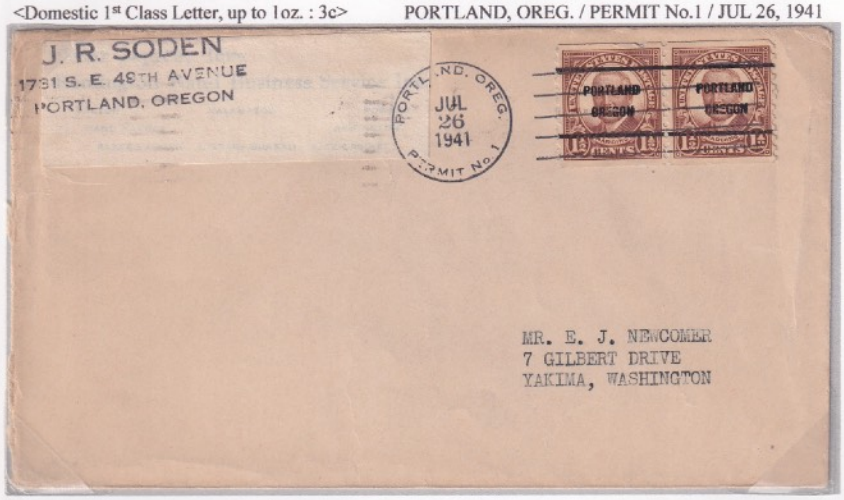
47

1.5c Warren G. Harding — U.S. 4th Bureau Issue

Rotary Press Printing — New Design ("Full Face") / Coil Stamp (#686) — Perf. 10 Vert.

Domestic 1st Class Letter <Domestic 1st Class Letter, up to 1oz. : 3c>

Precanceled "PORTLAND / OREGON. (PSS 61) PORTLAND, OREG. / PERMIT No.1 / JUL 26, 1941



Domestic 4th Class Mail <Library Rate, up to 1lb. : 3c>

Precanceled "WEST / SALEM / WIS" (PSS61)



48

スウェーデン・グスタフVI世シリーズ
～使用済で楽しむ外国切手～

水村　伸行

1．私のグスタフⅥ世切手の収集

1979年の『郵趣』に、観光切手「イェータ運河」がカラーで掲載されました。これが、私とスウェーデン切手の最初の出会いになります。

それまで主に集めていた、グラビア多色刷り切手に食傷気味になっていた自分にとって、凹版単色刷りの観光切手は、風格と気品を備えた芸術作品に見えたもの。

ところが、当時のスウェーデン切手の販売価格は高く、切手帳一冊が800～900円もしていました。

このため、まだ中学生だった自分にスウェーデン切手は高嶺の花であり、遠い存在であったことは確かです。

私が購入した最初のスウェーデン切手は、紙付きのキロウェアで、高校3年の時だったと記憶しています。

キロウェアと言えば、安価というイメージでしたが、当時、熱心（？）に集めていたイギリスのワイルディングやマーチンのキロウェアと比べると、とても高く200グラムで3000円程だったと思います。（キロウェアの総本山であった大沢スタンプから購入）

この頃のキロウェアには、本作品の切手であるグスタフⅥ世シリーズがたくさん入っており、繰返し購入した結果、連刷のペアなども揃える事ができ、それらは今回の出品作品にも含まれています。

時は流れ、就職後にクレジットカードを持つようになると、世界各国のキロウェアを専門に扱っていたイギリスの業者から購入するようになりました。この業者は1ポンド単位での販売（いわゆる量り売り）をしており、5ポンド程度のまとまった量で繰返し購入。同社のキロウェアは内容が良好で、コイル切手のストリップや切手帳のブロックなども、この時に多く入手しています。

キロウェアを主な入手先としていたのは1990年代後半までででしたが、この間に入手したグスタフⅥ世の使用済切手は、ボストークアルバム3～4冊にビッシリと埋まるほどになっていました。

最初は知識としてわからなかった、例えば鉄郵印やパクボー印、初期印刷と再刻印刷など、新しい知識を吸収するたびに、その仮貼アルバムから何枚も見つけ出す事ができましたし、使用済切手を物量で整理したことにより、実際の入手難易度が体験的に得られたことなど、カタログには書かれていない基本を知ることができました。

一見したところ時間と手間の無駄に見える紙付き切手の整理ですが、専門収集という視点に立つならば、全く無駄どころか、シリーズ全体を知るには、大いにプラスになったと思います。

私がeBayを使いはじめたのは1998年前後からだったと記憶しています。このeBayの出現は、外国切手の収集家にとって、まさに黒船のようなものでした。

グスタフⅥ世のように、安価なマテリアルが多くを占めるばあい、収集がある程度進むと国内の切手商の在庫ではもの足らず、かといって海外のオークション（その頃は紙媒体のカタログを見て、ビッドシートを郵便で送っていた）で扱われる性質のものではないため（安価すぎて）、入手に手こずる状況でした。

そうした悩みを一挙に解決したのがeBayで、日本円で100円～1000円程度までのマテリアルが、それこそ選り取り見取りで選ぶことが可能になり、しかも

画像付きなので特定のシリンダー番号や切手帳の印刷機別（計数番号の書体で分類できる）の入手が、24時間ボタン一つクリックするだけで入手可能になりました。

また、カバーの入手でも全く同じことが言え、様々な使われ方をした使用例を安価に、しかも容易に入手できる環境になったのも、eBayのおかげと言えます。

今回の作品は、外国切手収集入門的な普及作品なので使用していませんが、筆者が2025年の北欧切手研究会で展示した「グスタフⅥ世通常切手シリーズ1951-1972」で使用した多くの未使用切手のマテリアルは、こうして入手したものが主体となっています。

2．作品解説

1リーフ

非競争展なので、テキストは一般的に推奨されている内容ではありません。普及が目的なので「安価に楽しめるコレクション」を強調しています。

本シリーズの基本は、印面の相違によりタイプⅠ～Ⅲに分けることが基本中の基本なのでそれを示し、下の表では主要な郵便料金を示しながら、各タイプの対応時期を紹介してあります。

なお、2リーフ目以降のリーフでは、リーフ右上にタイプ違いを示してあります。

2リーフ

10 öreは、本シリーズ最初の切手として1951年6月6日の発行。リーフでは下段に初日カバーを貼ってありますが、これが使えるのも非競争展ならではでしょう。

ですが、無意味に初日カバーを貼ったわけではありません。この切手の最初の印刷では原版彫刻が浅かったため、印影が薄く（特に頭部）ボヤッとしたものでした。そこで、急遽原版の再刻を行い、濃い印刷として仕上げたものが再刻印刷と呼ばれるものになります。リーフでは左列が初期印刷で、右列が再刻印刷です。

初日カバーには初期印刷しか存在しないため、初日カバーの貼付切手が初期印刷のメルクマークとなります。

3リーフ

15、20 öreともにコイルのみで切手帳はありません。

15 öre左は鉄道郵便印。

カバーは書留の代金引換郵便で、オレンジ色の三角ラベルが代金引換郵便を示しています。

4リーフ

25 öreは、スカンジナビア諸国宛書状料金として発行されました。このため、コイル切手と切手帳の両方が発行されています。

切手帳の左端は、鉄郵印使用例。

下のカバーは、25 öreの適正使用に、書留料金として40 öre（20 öreが2枚）貼られています。

5リーフ

上段の青色30 öre切手は、スカンジナビア諸国以外の外国宛書状料金でしたが、1952年6月1日の郵便料金改正により、その料金が40 öreに値上げされました。これに伴い発行されたのが3段目の青色40 öre切手で、そのため青色の30 öre切手は、2段目の茶色へと刷色変更されました。

6リーフ

1952年6月1日の郵便料金改正に伴い、赤色（3リーフ）から灰色へ改色され、新たに切手帳も発売されています。

発行目的はスカンジナビア諸国宛（国内含む）の葉書料金です。

この時の改正では、スカンジナビア諸国宛（国内含む）料金は据え置かれましたが、外国宛が25 öreへ値上げされたので、そちらの刷色が赤色に変更されたための改色でした。

7リーフ

1952年6月1日の郵便料金改正で、それまで20 öreだったスカンジナビア諸国以外宛の葉書料金が25 öreとなったため、それまでの灰色から赤色へと改色されました。

2段目左のコイル切手は鉄郵印。カバーは前国王グスタフV世の15 öreとグスタフVI世25 öreを貼った40 öre料金でインド宛の航空便です。

8リーフ

この25 öre切手帳から、左右のみストレートエッジのB／Bタイプのペアに加え、上辺または下辺もストレートエッジになったC／Cタイプのペアが出現します。このC／Cタイプは使用済の中でも高く評価され、特にペアは少なく貴重ですが、筆者は2種とも紙付き切手から入手しました。

リーフ左は伝統的な窓口切手帳で、右が新たに出現した自動販売機用切手帳です。リーフに示したようにC／Cタイプのペアであれば位置が確定できるので（単片でも可）、大切にしたいものです。

9リーフ

上の葉書は、スカンジナビア諸国以外宛料金のインド宛。下のカバーは国内宛書状基本料金です。2通は同時期の使用例ですが、使われ方が異なる例になります。

また、下のカバーは1957年5月13日のPXP 139 の鉄道郵便で、Nässjö-Malmö 間であることを現しています。

10リーフ

リーフ数調整のため、コイル切手のみ発行のものを3額面入れてしまうという荒技のリーフ。

カバーは、南アフリカのダーバン宛が珍しい宛地。料金40 öreは、1952年6月1日の料金改正で、スカンジナビア諸国以外宛に定められたもの。

11リーフ

2リーフ目の緑色10 öre切手を茶色に改色したもの。

この改色切手にも、緑色切手に見られた印面が薄い初期印刷と、濃い色の再刻印刷に対応する切手があります。ただし前者を "Shallow impression" 後者を "Deeper impression" と呼んでいるので、改色前の切手に見られた初期印刷と再刻印刷の関係とは意味が違うようです。

切手帳の右端の消印は、グスタフVI世の時代には、ほとんど見られなくなった古いタイプの消印で希少なもの。新宿にあった旧郵趣会館地下の切手センター街で、100円でお釣りが来ました。切手商が持たない知識を持つことが重要です。

12リーフ

本リーフからタイプⅡになります。本タイプは1957年6月1日の郵便料金改正に伴い発行されたグループです。

この切手帳から、連刷切手帳の発行が始まり、連刷切手のポジション別を揃える楽しみと苦労が増します。

15 öreは印刷物用料金なのですが、連刷の組合せ使用で葉書料金として使え、その使用例を示しました。

13リーフ

30 öreは、スカンジナビア諸国宛書状料金です。カバーの両脇がガランと空いてしまい、みっともないリーフになってしまいました。使用したのは二つ折りカードをテープで綴じたため封書扱いとなったもので、形と図柄をお見せしたくて、収まりの悪いリーフを承知で作成したリーフ。

14リーフ

この連刷切手帳はなかなか難しく、スウェーデン切手専門収集家の友人が、その揃い方にビックリしたリーフです。

下段の使用例は、郵便局の窓口で20通差出された郵便が全て料金不足だったことから、まとめて不足料分を払ったもの。このマテリアルは、30年程前に渋谷のマンションの一室で営業していた切手商での入手品。同じマンション内には、ヤクザさんの組事務所も入っていて、狭いエレベータでその筋の方とご一緒するのも珍しくはなく、ある意味で貴重な体験でした。

15リーフ

スカンジナビア諸国宛葉書料金用が発行目的。

下段はその使用例ですが、宛名記載欄にまで文面を書いてしまったため、料金無効扱いとなり、20 öreを徴収されたもの。

緑色のラベルが不足料金ラベルでその金額20 öreを示しています。スウェーデンではラベルのみではなく、実際に切手も貼るため、20 öre切手も貼られ消印で抹消されています。

16リーフ

25 öreは発行当初は補助額面でしたが、40 öreはスカンジナビア諸国以外宛書状料金に対応していました。

カバーは、1958年5月10日の使用例で、この時期は国内宛書状料金が30 öre、書留料金が50 öreだったので、40 öre切手を2枚貼るとちょうどの料金になりました。

17リーフ

本リーフからタイプⅢになります。

印刷物用料金です。カバーは消印が不鮮明のためあまり好ましくはありませんが、発行翌月使用のため使用したしだいです。発行月の使用例（10日のみ）は、見たことがありません。

18リーフ

同じ15 öreですが、こちらは連刷切手帳。ペーンで、位置違いを2種揃えました。

カバーはスペイン宛なので、スカンジナビア諸国以外宛料金の40 öre。連刷2セットで同料金になる、面白い使用例として示してあります。

19リーフ

一見して、郵便料金には合致しない切手が貼られたフィラテリックカバーであることがわかります。

通常は表紙と糊付けされた耳紙部分で切り離されるため使用済ではいシリンダー番号を得ることは出来ませんが、フィラテリックカバーであるからこそ、本カバーでは見ることができます。上が

シリンダー番号１で、下が２。非競争展ならではの使い方です。

20リーフ

発行当初はスカンジナビア諸国宛葉書料金用でしたが、1962年７月１日の料金改正で印刷物料金用になりました。

切手帳左端のペアは、旧型の二重丸印で本シリーズでは少ないもの。

カバーは、料金改正後の使用例でクリスマスカードを送ったものです。切手の隣に貼られている赤いシールは、クリスマスシール。

21リーフ

25 öreのコイル切手。見た目の重量感がある10枚貼りの小包送票があったので、適度にまとまったリーフになりました。貼付金額の250 öreは、３～５キログラムの国内宛小包料金になります。

22リーフ

25 öre切手帳のリーフ。左の窓口販売用の切手帳と中央及び右の自動販売機用の２種があります。

この区別は窓口用なら田型ブロック以上、自動販売機用ならCタイプ（上辺または下辺がストレートエッジ）を含んでいれば見分けがつきます。リーフでは、それを示してあります。

カバーは、特に説明を要しませんが一昨年の即売会で10円で入手したもの。中央に中折れのスジが残っていますが、究極の安価で入手したものなので、本作品に最も相応しいカバーだと思います。

23リーフ

25 öreの連刷切手帳で、４種全てのパターンが揃っています。

切手帳の綴じの部分が上に来るものを正マウント（リーフの左２枚）と呼び、綴が下に来るものを逆マウント（リーフの右２枚）と呼んでいます。実用版の構成上、逆マウントの方が少なく、評価も正マウントの３倍ほどになります。正・逆マウントともに連刷の位置違いがあるため、合計で４種になります。

以前は、こうした使用済ペーンの入手には苦労しましたが、eBayの出現によって、手軽に、しかも安価に入手できるようになりました。

24リーフ

23リーフの切手帳を使用済のペアや単片を使って、気軽に遊べることを示したリーフです。

25リーフ

同じく25 öreの連刷切手帳です。カバーは国内書状料金40 öreに速達料金100 öreの合計140 öreです。この内の速達料金を連刷切手帳で払っています。

26リーフ

国内書状基本料金（20グラムまで）、スカンジナビア諸国宛葉書料金用の切手です。

窓口販売用切手帳の左端のペアは、鉄道郵便印（PXP 383）で、この番号はStrömstad - Göteborg間を示しています。

スウェーデンの鉄道郵便印は日本のそれとは大きく異なり、鉄道郵便区間を示す路線番号が目まぐるしく変わるため、年月日が読めないと区間の特定はできません。

27リーフ

使用済ペーンは４種が揃いました。今ではネットにより、海外から４種セットが格安に入手できる世の中。「30年ほど

前の苦労は、一体なんだったのか？」と、思うことがあります。
カバーは、切手帳ペーンを貼った、イスラエル宛の航空書留便。

28リーフ
1962年７月１日の料金改正により、スカンジナビア諸国以外宛の葉書料金用として改正翌日に発行されました。
コイル切手は、適正使用例よりも他の用途で使用された方が多く、切手帳は活躍の場がほとんど無く、使用済であっても高く評価されています。
コイル切手が多用された一例として、小包送票を示しました。

29・30リーフ
30 öreの連刷切手帳は額面の合計金額100 öreと200 öreののニ種が有り、ペーンを構成する切手の種類も異なっています。
この30 öre切手は、ペアはおろか単片でもどちらの切手帳に由来するものか分類が可能であり、30リーフの下でそれを示しました。

31リーフ
発行当初は対応する料金は無かったが、1962年７月１日の料金改正で、国内およびスカンジナビア諸国宛書状料金になった。
カバーは、その９日目の国内便使用例。

32リーフ
1964年７月１日の料金改正を見込んで、６月25日にスカンジナビア諸国以外宛葉書料金用として発行されました。
リーフ下の使用例は、その後1967年１月１日の料金改正によりスカンジナビア諸国宛葉書料金が35 öreになった際の適応使用例です。
切手を抹消した "Makulera" 印は、スウェーデン語で「破棄」を意味する消印漏れ消印です。

33リーフ
35 öre切手は、1962年７月１日の料金改正に合せて翌日に発行された、国内およびスカンジナビア諸国宛書状料金です。
窓口販売用切手帳の左端の消印は、タイプ51型と呼ばれる古いタイプの消印です。

34リーフ
35 öre連刷切手帳のタブが白紙の初期タイプです。綴が下に来る逆マウント（右２枚）の方が少なく、正マウントの５倍ほどの評価になります。
カバーは発行初日の書留便で、もちろんフィラテリックカバーですが、それだからこそシリンダー番号「１」が残されています。

35リーフ
白紙タブの切手帳に続いて発行された「１通の手紙は、とても大切な意味を持つ」を、タブに入れた切手帳です。
カバーはスカンジナビア諸国以外宛料金50 öreに速達料金70 öreを加えた120 öre料金で、ペーンの完貼り100 öreと20 öre切手を貼付したもの。

36リーフ
この切手は、コイル切手のみの発行なので変化がない。
ペルー宛のカバーは、スカンジナビア諸国以外宛の葉書料金で出してしまったため、ペルーで不足料金48 cを徴収されている。本来の料金は70 öreであった。

37リーフ

1964年7月1日の料金改正に合せて発行された、国内およびスカンジナビア諸国宛書状基本料金用です。

窓口販売用切手帳の左端は鉄郵印。

カバーは、国内宛基本料金を40 öre切手で、書留料金100 öreを50 öre切手2枚で払っています。

38リーフ

連刷切手帳ですが、キロウェアから出てきたペアでの遊び場です。評価が高い逆マウントのC／Cペアが出てくるところが、キロウェアを漁る楽しみでもありました。

カバーは、中東派遣国連大隊の野戦局の実逓便（1978年5月23日）ですが、もちろんフィラテリックカバーです。

39リーフ

発行当時は、45 öreの単独使用はありませんでしたが、1967年1月1日の料金改正で国内宛書状の基本料金となりました。カバーはその使用例ですが、タイプ51という古い時代の消印で抹消されているのがポイントです。

40リーフ

前リーフで紹介したように、本額面は発行当初は補助額面だったのでコイル切手のみでしたが、1967年1月1日の料金改正により国内宛書状料金となったため、同年1月12日に切手帳が追加で発行されました。左端は鉄郵印使用例です。

41リーフ

先に紹介した45 öreの改色と同時に用紙が蛍光紙に変更され、以後に新発行になったグスタフVI世切手も全て蛍光紙となりました。

この切手には、明瞭に異なる2種の色調が存在し、リーフでもそれを示してあります。

42リーフ

発行当初は単独で使われることはありませんでしたが、1971年10月1日の料金改正で、国内およびスカンジナビア諸国宛印刷物の優先度Aに1枚貼りで適応することになりました。

カバーはその使用例で、左上の"Trycksaker" が印刷物を現し、その上に優先度を示す手書き "A" が書かれています。

43リーフ

1969年3月1日の料金改正により国内宛書状基本料金およびスカンジナビア諸国宛書状料金が55 öreになったことに伴い発行されました。

44リーフ

1971年9月28日発行。本シリーズでは最後の発行になった切手です。

発行目的は、10月1日の料金改正により国内書状およびスカンジナビア諸国宛書状料金が65 öreとなったことによります。

カバーは、その料金改正22日目の使用例ですが、切手商の100円均一の箱の中から出てきたもの。

3段目は裏面になっていますが、コイル切手の50枚目ごとに入る管理番号付きで、本例では「50」と読めます。この管理番号は糊の上に印刷されることから、水剥しの段階で消失することが多く、使用済で読めるマテリアルは貴重です。

45リーフ

なんとも情けないリーフです。特に60 öreは、1964年7月1日の料金改正

でスカンジナビア諸国以外宛の書状料金として基本額面となっているのに、発行枚数は1022万４千枚と他の額面と比べると極端に少ない。貼込帳を見れば少数の単片ばかりで１ページにも満たないのは、これまで意識して集めて来なかったツケでしょう。

46リーフ

85 öreは、国内印刷物優先度Ａ料金の１枚貼りですが、図体ばかりが大きく封筒ばかりが目立ってしまい、見た目が美しくないのが難点ですが、切手イベントの即売で50円で入手したものなので、贅沢は言えません。

47リーフ

構成上、コイル切手は44・45リーフで紹介したので、47リーフは切手帳のみです。

65・85 öreともに切手帳の使用済が極めて少なく入手に苦労します。

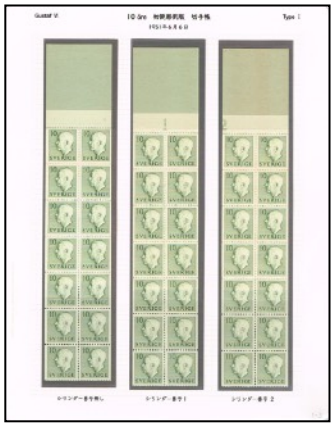
あまりに少ないので、今回、コイル切手と切手帳の発行枚数についてグラフ化してみました。それがリーフ下部のものです。緑色がコイル切手で青色が切手帳ですが、グラフでは両額面ともに、切手帳が表現出来ないほどの少なさになっているのが読み取れると思います。

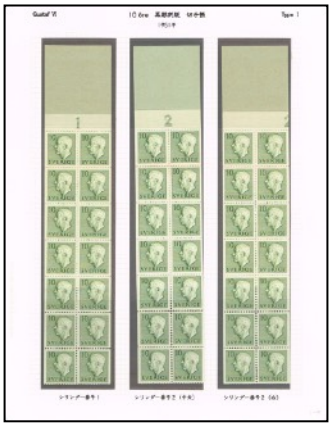
48リーフ

最終リーフなので、意識して賑やかなリーフにしました。

発行当初はスカンジナビア諸国以外宛の書状料金でしたが、1972年７月１日の料金改正によりスカンジナビア諸国以外宛の葉書料金になりました。一番下の葉書はその料金のものです。消印はスウェーデン・アメリカ・ラインの客船 "Kungsholm" 号の船内印です。







〈参考リーフ〉

タイプ１、10 öre 未使用のリーフ。初期印刷と再刻印刷を、それぞれ未使用で揃えています。コイル切手は、スウェーデン切手では集め難いリード紙付き。切手帳はシリンダー番号の有無と数字、そして位置のバラエティを収集。

製造面を未使用で、使用面をカバーで揃えた80リーフ作品からの一部で、筆者の基本的な収集方針を示しています。

スウェーデン・グスタフVI世シリーズ

～使用済で楽しむ外国切手～

【作品の趣旨】

本展示では、誰もが少ない予算で切手展出品を楽しめる具体例として、使用済切手とカバーのみで構成しました。このため、展示したマテリアルについては、作品の趣旨に沿うように高額なマテリアルは意識的に使用せず、誰もが気軽に、しかも安価に入手できるマテリアルのみで構成してあります。

【グスタフVI世シリーズ】

スウェーデン国王であったグスタフVI世を描いた通常切手シリーズは、1951年から20年以上にわたり発行され、メインナンバーだけでも39種を数えるロングシリーズです。

また、この間に基本料金だけに限っても、郵便料金が9回も改正されています。

切手の分類は、その特徴から下記に示すタイプⅠ～Ⅲの基本グループに分類され、これは発行時期ごとのグループとしてまとまっています。

発行形態は、スウェーデン切手の大きな特色であるコイル切手と切手帳のみで、シート切手は存在しません。切手帳には窓口販売用と機械販売用の２種がありますが、特に機械販売用切手帳には連刷切手の様々な組合せがあり、それが本シリーズに大きな厚みを付けており、本作品でも一部でそれを示してあります。

印面タイプ分類

タイプⅠ（1951年）	タイプⅡ（1957年）	タイプⅢ（1961年）
		
文　字：色付き 背　景：横　線 インプリント：無　し	文　字：色　付　き 背　景：縦線と斜線 インプリント：有　り	文　字：白　抜　き 背　景：縦線と斜線 インプリント：有　り



インプリント

グスタフVI世時代の郵便基本料金と印面タイプ表

改正日		1951年6月1日	1952年6月1日	1957年6月1日	1962年7月1日	1964年7月1日	1967年1月1日	1969年3月1日	1971年7月1日	1971年10月1日
国内宛	葉書	20			25	30	35	45		55
	書状	25		30	35	40	45	55		65
スカンジナビア宛	葉書	20			25	30	35	45		55
	書状	25		30	35	40	45	55		55
海外宛	葉書	20	25		30	35	40	45	55	
	書状	30	40		50	60	70		85	
印面タイプ	Ⅰ									
	Ⅱ									
	Ⅲ									

（料金単位：öre）

Gustav VI

10 öre
1951年６月６日発行

Type I

初期印刷

再刻印刷

コイル切手





窓口販売用切手帳







初日カバー：1951年６月６日

最初の原版は、彫刻が浅かったため印影が薄かった。このため原版を再彫刻したのが再刻印刷である。
従って、初日カバーには初期印刷しか存在しないため、分類の基準として重要である。

Gustav VI　　Type I

15 öre

1951年６月６日発行



鉄道郵便印

PKP56＝Stockholm-Laxå間

20 öre

1951年６月６日発行





Stockholm 1954年４月８日

料金：国内宛書状料金25öre＋書留料金40öre＋代金引換料金10öre＝75öre

Gustav VI　　25 öre　　Type I

コイル切手　1951年６月６日発行



窓口販売用切手帳　1951年６月６日発行



鉄道郵便印
PKP153＝Göteborg-Halmstad間



Kjula 1952年９月５日 → Aalborg ９月８日（デンマーク）宛所不明返送
→ Copenhagen ９月９・16日
料金：書状・スカンジナビア宛25öre＋書留料金40öre＝65öre

Gustav VI

30 öre

Type I

コイル切手　1951年６月６日発行



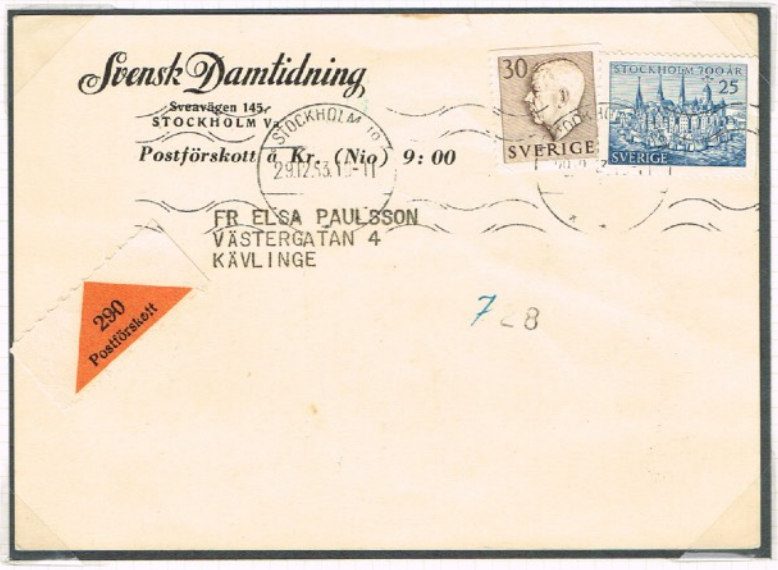
コイル切手　1952年７月１日発行



40 öre

コイル切手　1952年７月１日発行





Stockholm 10 1953年12月29日

料金：印刷物・国内宛料金10öre＋代金引換料金45öre＝55öre

Gustav VI　　20 öre　　Type I

コイル切手　1952年７月25日発行





窓口販売用切手帳　1953年２月９日発行





Linköping 1954年４月５日 → ドイツ（ドイツ国内で転送扱い）
料金：書状・スカンジナビア以外40öre

Gustav VI　　25 öre　　Type I

コイル切手　1952年７月25日発行





鉄道郵便印
PKP253＝Söderhamn-Stockholm間

窓口販売用切手帳　1952年９月12日発行





Stockholm BAN 1953年２月９日 → インド・ニューデリー２月14日（裏面到着印）
料金：書状・スカンジナビア以外40öre

Gustav VI　　25 öre　　Type I

コイル切手　1954年２月４日発行





窓口販売用切手帳　1954年３月15日発行　　自動販売機用切手帳　1954年４月12日発行



目打タイプ：B／B

Stockholm　1954年３月15日



目打タイプ：B／B

目打タイプ：C／C

目打タイプ：C／C

目打タイプ：B／B

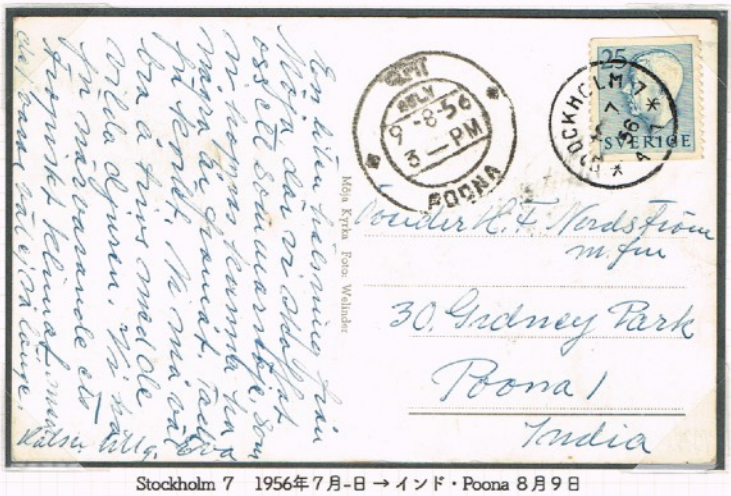
B／Bタイプの目打は、自動販売機用切手帳発行以降は、窓口販売用と自動販売機用の区別は出来ない。

Gustav VI

25 öre

Type I

コイル切手



Stockholm 7　1956年7月-日 → インド・Poona 8月9日

料金：葉書・スカンジナビア以外宛 25öre

切手帳



鉄道郵便　PKP 139（Nässjö - Malmö 間）1957年5月13日

料金：書状・国内宛基本料金（20グラムまで）25öre

Gustav VI

40 öre

Type I

コイル切手　1954年１月20日発行



30 öre

コイル切手　1954年３月15日発行



25 öre

コイル切手　1957年６月１日発行





Malmö 10 1957年２月23日 → Cape Town ２月29日 → Durban

料金：書状・スカンジナビア以外宛 40öre

Gustav VI

10 öre
1954年４月12日発行

Type I

コイル切手

Shallow impression



Deeper impression



窓口販売用切手帳





Stockholm Ban 1954年12月21日 → ドイツ
料金：書状・スカンジナビア以外40öre

Gustav VI　　15 öre　　Type II

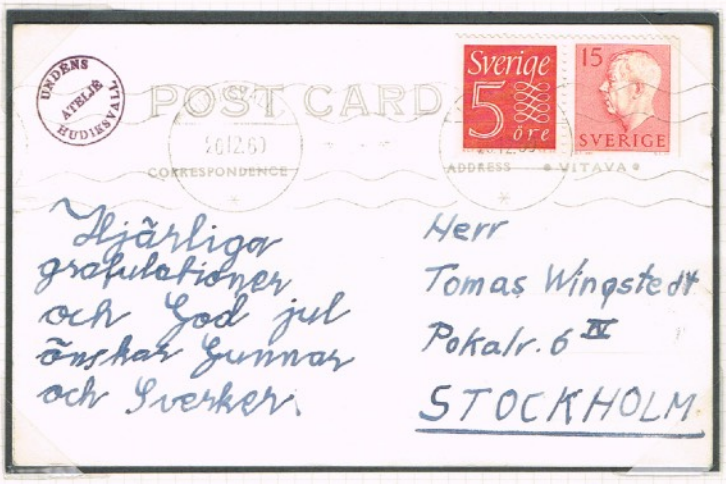
1957年６月１日発行

コイル切手



窓口販売用切手帳　　自動販売機用切手帳





Hudiksvall 1　1960年12月20日

料金：国内宛葉書料金20öre

Gustav VI　　30 öre　　Type II

1957年６月１日発行

コイル切手







Handöl　1958年２月19日

料金：国内宛封書料金30öre

Gustav VI　　30 öre　　Type II

1957年６月１日発行

窓口販売用切手帳　　自動販売機用切手帳







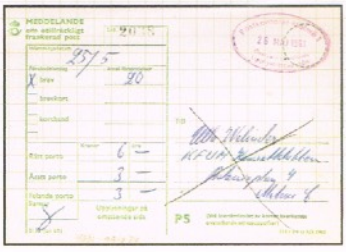
目打タイプ：C／C（上）
目打タイプ：B／B（下）

目打タイプ：B／B（上）
目打タイプ：C／C（下）



Malmö　1961年５月26日

20通差出された郵便物が、全て不足料扱いだったため、差立局でまとめて不足料手続きを行った台紙である。



（裏面）

Gustav VI

20 öre

1957年10月15日発行

Type II

コイル切手

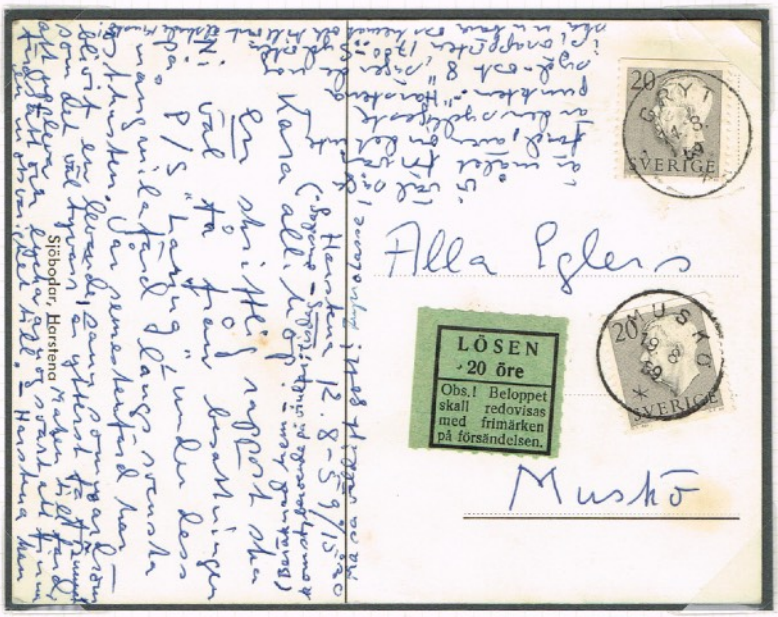




窓口販売用切手帳







Gryt　1959年８月14日

料金：国内宛業書料金20öre

宛名部分に通信文を書いたため未納扱いとなり、Muskö 局で不足料ラベルと20öre切手（消印：８月19日）を貼付している。

Gustav VI　　25 öre　　Type II

コイル切手　1957年10月15日発行



金属印　　ゴム印

40 öre

コイル切手　1957年10月15日発行





Höganäs　1958年５月10日

料金：国内宛書状料金30öre＋書留料金50öre＝80öre

16

Gustav VI　　15 öre　　Type III

1961年３月20日発行

コイル切手



窓口販売用切手帳





1961年４月-日（発行翌月使用）

料金：国内宛印刷物料金15öre

Gustav VI　　15 öre　　Type III

連刷切手帳　1961年５月８日発行





Stockholm Ban 1962年３月29日 → スペイン

料金：スカンジナビア諸国以外宛書状料金40öre

Gustav VI　　15 öre　　Type III

シリンダー番号



実用版に付けられたシリンダー番号は、表紙に糊付けされる耳紙に印刷されるため、使用済切手では通常は得ることができない。
本カバーは、表紙から丁寧に耳紙を剥したため、シリンダー番号が残されたものである。

Gustav VI　　20 öre　　Type III

1961年３月20日発行

コイル切手



窓口販売用切手帳



旧型二重丸形印
（通常は使用されない）







Söderhamn 1963年12月16日
料金：国内宛印刷物料金20öre

Gustav VI　　25 öre　　Type III

1961年10月23日発行

コイル切手







Hammarstrand　1965年1月27日

↓

Ulricehama 1月27日

料金：国内宛小包料金3kg～5kgまで250 öre

Gustav VI　　25 öre　　Type III

窓口販売用切手帳　1962年７月２日発行





２×20枚構成
左右のみがストレートエッジ。
田型以上のブロックであれば、自動販売機用と区別可能。

自動販売機用切手帳　1962年９月３日発行







２×２枚構成
左右と下ストレートエッジ。







２×２枚構成
左右と上ストレートエッジ。



Norrköping 1　1964年４月15日 → ドイツ
料金：スカンジナビア諸国以外宛書状料金50öre

Gustav VI　　25 öre　　Type III

連刷切手帳　1964年６月25日発行





正マウント（綴が上、下辺ストレートエッジ）





逆マウント（綴が下、上辺ストレートエッジ）



Vorås 1　1965年１月27日

料金：国内宛書状基本料金 40 öre

Gustav VI　　25 öre　　Type III

連刷切手帳　1964年６月25日発行



正マウント（綴が上、下辺ストレートエッジ）



逆マウント（綴が下、上辺ストレートエッジ）

Gustav VI　　25 öre　　Type III

連刷切手帳　1965年５月26日発行



正マウント
（綴が上、下辺ストレートエッジ）



逆マウント
（綴が下、上辺ストレートエッジ）



Sundbyberg　1965年11月12日 → Uppsala

料金：国内宛書状基本料金 40 öre ＋ 速達料金100öre＝140öre

Gustav VI　　30 öre　　Type III

1961年３月20日発行

コイル切手

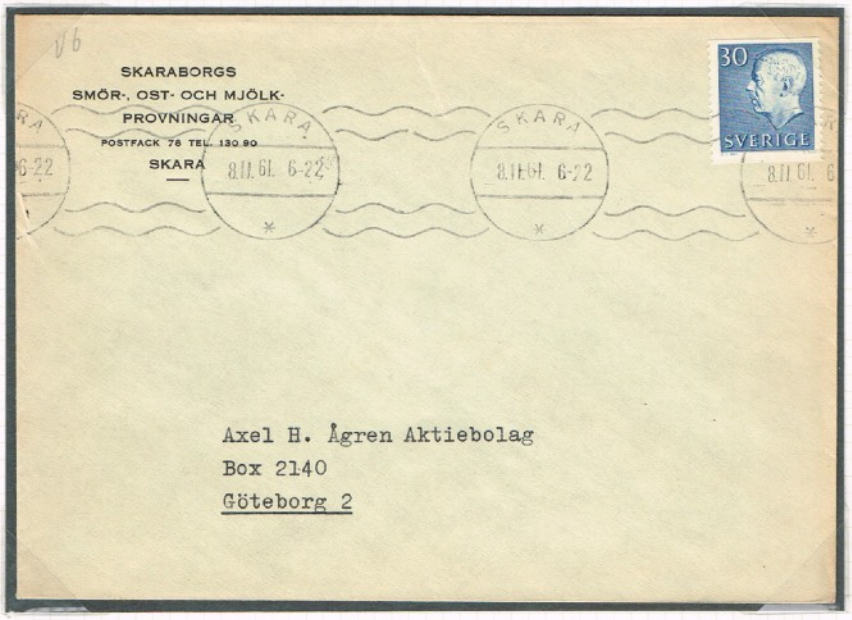


窓口販売用切手帳



鉄道郵便印

PKP 383＝Strömstad - Göteborg 間



Skara　1961年11月８日

料金：国内宛書状基本料金30 öre

Gustav VI　　30 öre　　Type III

連刷切手帳　1961年５月８日発行



正マウント
（綴が上、下辺ストレートエッジ）



逆マウント
（綴が下、上辺ストレートエッジ）



Solberga 1961年11月15日 → Tel Aviv（イスラエル） 11月17日 → Holon 11月19日

料金：スカンジナビア以外宛書状２倍料金80 öre＋書留料金50 öre＝130 öre

Gustav VI　　30 öre　　Type III

コイル切手　1962年７月２日発行



窓口販売用切手帳　1964年10月12日発行





Bredaryd 1965年５月18日 → Linköping ５月19日

料金：国内宛小包１kg以上、３kg未満料金250 öre

Gustav VI　　30 öre　　Type III

1966年４月18日発行

連刷切手帳（合計額面100öre）



正マウント
（綴が上、下辺ストレートエッジ）



逆マウント
（綴が下、上辺ストレートエッジ）



Fagersta 1　1968年２月17日 → ドイツ・ハンブルグ

料金：スカンジナビア以外宛書状料金70 öre（30 öre過納）

Gustav VI

30 öre

Type III

1966年４月18日発行

連刷切手帳（合計額面200öre）





正マウント
（綴が上、下辺ストレートエッジ）

逆マウント
（綴が下、上辺ストレートエッジ）

100öre 連刷切手帳（前リーフ）と200öre 連刷切手帳の分類

100 öre



200 öre



２種の連刷切手帳は、単片であっても区別ができる。

Gustav VI　　35 öre　　Type III

コイル切手　1961年10月23日発行





鉄道郵便印
PKP422＝Kamlar - Alvesta 間



Stockholm Ban　1962年７月９日
料金：国内宛書状料金35öre（適応使用９日目）

Gustav VI　　35 öre　　Type III

コイル切手　1964年６月25日発行







"Makulera" 印は、スウェーデン語で「破棄する」を意味する消印漏れ消印

料金：貼付された 35öre は、1967年１月１日～1969年２月28日迄の国内宛葉書料金

Gustav VI　　35 öre　　Type III

コイル切手　1962年７月２日発行



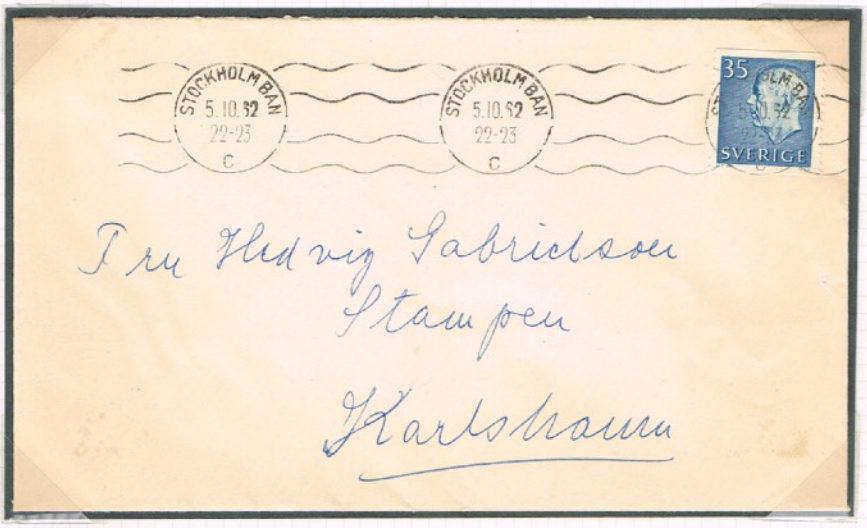
窓口販売用切手帳　1962年７月２日発行



タイプ51型日付印
（本シリーズでは少ない）







Stockholm Ban 1962年10月５日
料金：国内宛書状基本料金35 öre

Gustav VI　　35 öre　　Type III

連刷切手帳　1962年９月３日発行



正マウント
（綴が上、下辺ストレートエッジ）





逆マウント
（綴が下、上辺ストレートエッジ）



本切手帳にはタブのタイプが２種存在するが、本品は「Empty space」と呼ばれる白耳である。



Stockholm 5 1962年９月３日　発行初日書留便

シリンダーナンバー「1」

Gustav VI　　35 öre　　Type III

連刷切手帳（タブ標語入り）　1962年12月８日発行



正マウント
（綴が上、下辺ストレートエッジ）

逆マウント
（綴が下、上辺ストレートエッジ）



Lidingö 1964年１月７日 → Hamburg Flughafen １月７日 →
Hannover １月８日 → Langenhagen １月８日（ドイツ宛）
スカンジナビア諸国以外宛書状料金50 öre＋速達料金70 öre＝120 öre

Gustav VI　　40 öre　　Type III

コイル切手　1961年10月23日発行







Lidingö 1967年12月28日 → Lima（ペルー）1968年1月3日

料金：スカンジナビア諸国以外書状料金70 öre

差出人は外国宛葉書料金（40 öre）で差出しており、ペルーで不足料金48セント（円形紫印）が徴収されている。

Gustav VI　　40 öre　　Type III

コイル切手　1964年６月25日発行



鉄道郵便印
PKP 34 B = Stockholm - Mjölby 間

窓口販売用切手帳　1964年６月25日発行



鉄道郵便印
PKP 31 = Helsingborg - Hässleholm 間



Stockholm 1 1966年12月28日 → Ulricehamn
料金：国内宛書状基本料金40 öre + 書留料金100 öre = 140 öre

37

Gustav VI　　40 öre　　Type III

自動販売機用切手帳　1964年６月25日発行



目打タイプ：B/B（上）
目打タイプ：C/C（下）



目打タイプ：C/C（上）
目打タイプ：B/B（下）



スウェーデン中東派遣国連大隊使用例

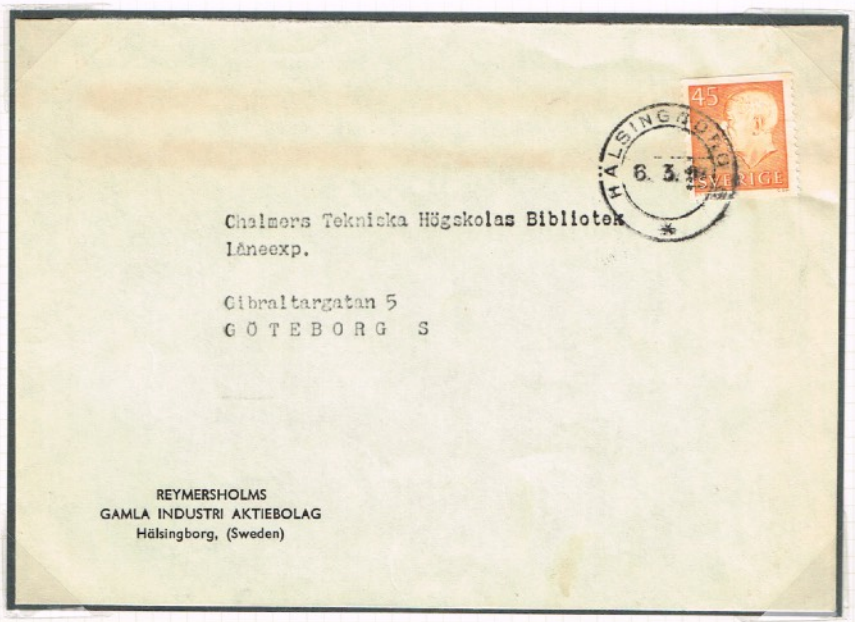
Svenska FN-Bataljonen Mellersta Östern 1978年５月23日 → 日本

Gustav VI　　45 öre　　Type III

コイル切手　1964年10月12日発行







Hälsingborg 6 1967年3月6日

料金：国内宛書状基本料金45 öre

タイプ51型日付印は、使用のピークを過ぎたタイプであり、本シリーズでは少ない使用例である。

Gustav VI　　45 öre　　Type III

窓口販売用切手帳　1967年１月12日発行



鉄道郵便印

PKP 383 E = Strömstad - Göteborg 間







Stockholm 1967年１月12日 → スコットランド

３つの王冠シリーズも含めた、初日外国宛実逓便

Gustav VI　　45 öre　　Type III

コイル切手　1967年6月16日発行

Deep Violet-Blue



Deep Ultramarine



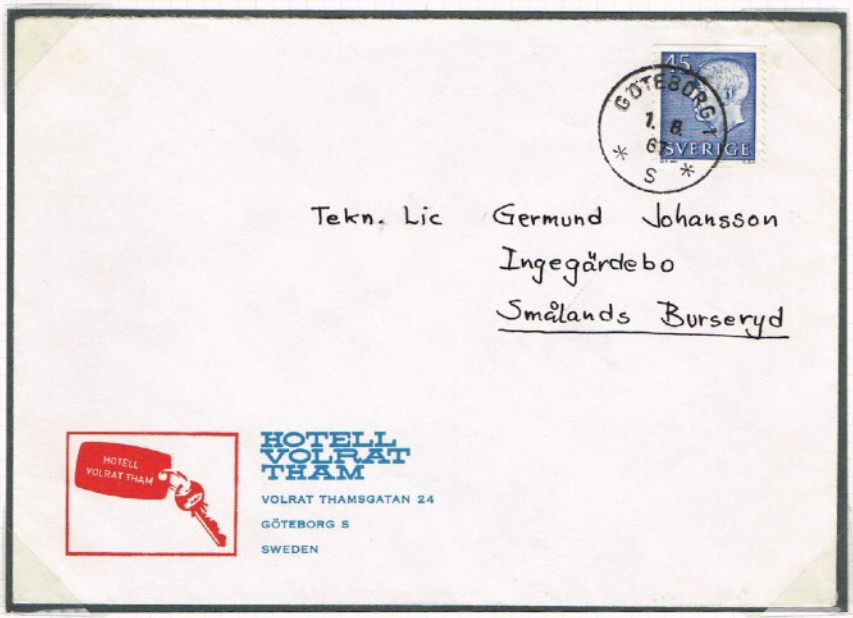
窓口販売用切手帳　1967年6月16日発行

Deep Violet-Blue



Deep Ultramarine





Göteborg 1　1967年8月1日

料金：国内宛書状基本料金45 öre

Gustav VI　　50 öre　　Type III

コイル切手　1968年２月21日発行



窓口販売用切手帳　1969年１月20日発行





Stockholm Ban　1972年２月24日
料金：印刷物優先度Ａ料金50 öre

42

Gustav VI　　55 öre　　Type III

1969年２月28日発行

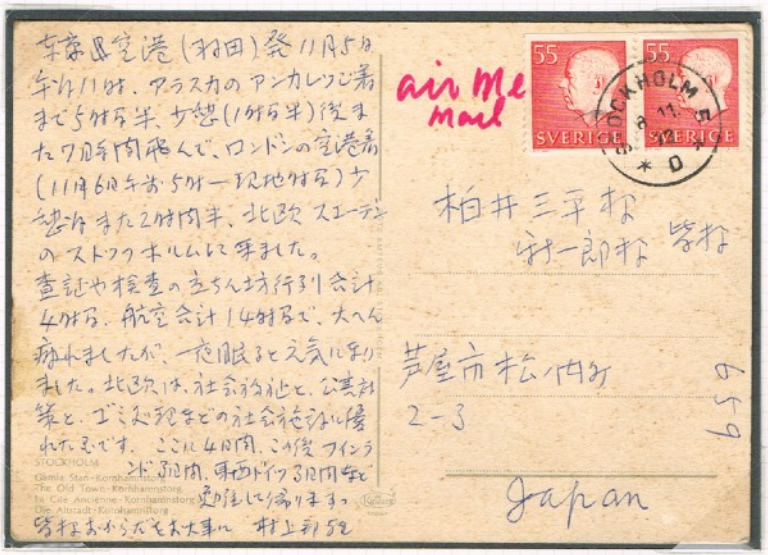
コイル切手





窓口販売用切手帳





Stockholm 5　1973年11月８日

料金：外国宛葉書料金70 öre（40öre過納）

Gustav VI

65 öre

Type III

コイル切手　1971年９月28日発行







管理番号"50"
水剥がしで消えてしまう
ため、使用済では少ない



Stockholm 1　1971年10月19日（発行22日目使用例）

料金：国内宛封書基本料金65 öre

44

Gustav VI　　Type III

50 öre
コイル切手　1962年７月２日発行

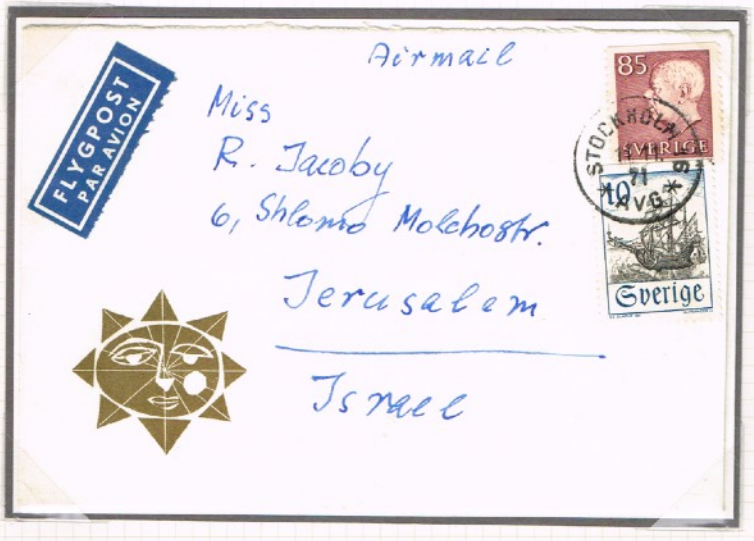


60 öre
コイル切手　1964年６月25日発行



85 öre
コイル切手　1971年６月４日発行





Stockholm 16　1971年11月11日 → イスラエル
料金：外国宛封書料金85 öre＋航空料金10öre

Gustav VI

85 öre

Type III

コイル切手　1971年6月4日発行



Stockholm Ban　1977年2月21日

料金：国内宛印刷物優先度A基本料金85 öre

印刷物は、処理が速い「優先度A」と、遅い「優先度B」料金に分かれていた

Gustav VI

65 öre

コイル切手 1971年９月28日発行



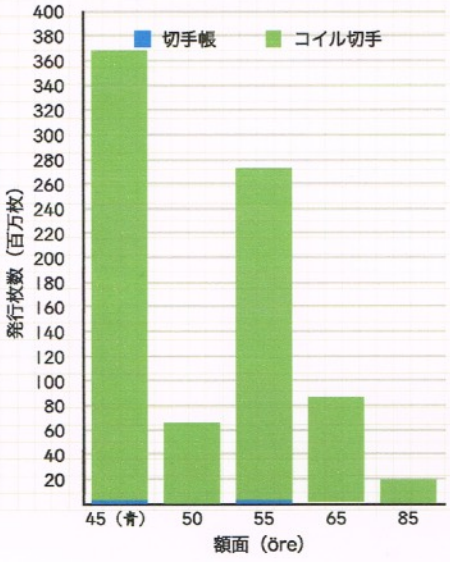
85 öre

コイル切手 1971年６月４日発行



Type III

コイル切手・切手帳発行枚数（蛍光紙以後）



コイル切手に対して、切手帳の発行枚数（特に50・65・85öre）が、極めて少ないことがわかる。

Gustav VI　　70 öre　　Type III

コイル切手　1967年６月16日発行

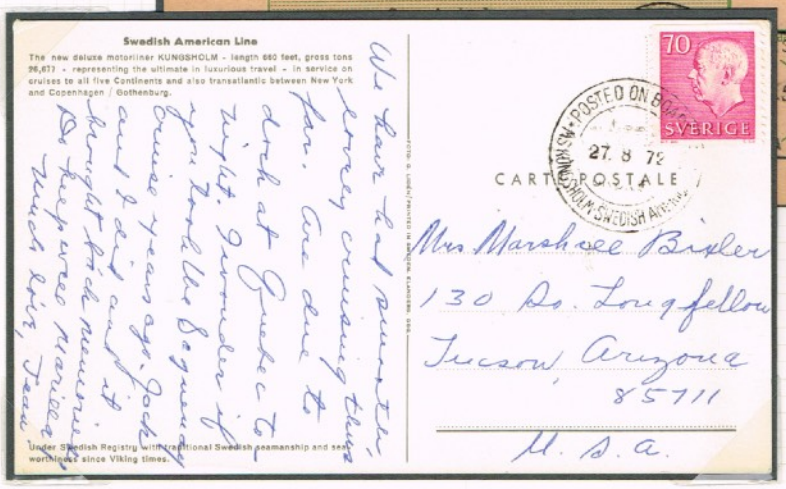




Malmö
1969年５月９日
↓
Agnesberg
５月12日

料金：
1kgまでの小包
料金350 öre





Kungsholm／Swedish American Line 1972年８月27日（船内印）→アメリカ

料金：外国宛葉書料金70 öre

ルーマニア・麦の耳通常切手シリーズ
～使用済切手で楽しむ外国切手～

寺本　尚史

1893年から1908年にかけてルーマニアで発行された通常切手を、使用済とカバーでまとめました。製造面で目打が4種あり、用紙は5種類の透しと透しなしの6種、そして透しの向きを合わせると、マテリアルの数は無限に広がります。

今回展示するマテリアルのほとんどは、安価なロットや1枚買いからのものです。お金をかけずに、展覧会に出せるマテリアルが、外国切手にはたくさんあります。その一端をご覧いただけましたら幸いです。

タイトルリーフは、使用済でまとめたコレクションの楽しみを伝えようと文章を考えたのですが、うまくいったのかな？

【注目していただきたいマテリアル】は安価に購入して、今回のリーフづくりの際にこんなのがあったんだ、と発見したマテリアルを中心に載せています。14リーフの5Bani5枚貼カバーはもちろんプレミアムを払って購入したものではありません。$9.99じゃなかったかな。

22リーフのペアはたぶん数ドルの使用済ロットの中にあったものでしょう。今回のリーフづくりの際、ストックリーフからピックアップした中であれ、色が違うと見つけたもの。

31リーフの15Bani紫 Peper Maker's Wartermark は、麦の耳のスタートに1000枚$49.99（当時5000円くらいでした）で購入したロット、1枚1枚透しを見て、目打を見て分類していた時に偶然見つけた思い出の品。

同じく目打13.5×11.5田型は、こちらもいつ購入したのかわからない。使用済田型の含まれた数ドルのロットは良く購入していたのでその中からでしょう。目打13.5×11.5はCMPR1974版で普通の目打の20倍の評価。手元にないものと思って2024年の国際展の時には、気付かず展示できませんでした。こちらも今回、リーフの構成をしているときに見つけたもの。

46リーフの2Lei 1893年使用はE-bayで$0.99で購入。写真があったので$20.00で入札し、最低値で落札。麦の耳シリーズが発行される前のシリーズCIFRAにない額面であることから為替使用か何かで早く使われたものだと推測。ほかに1Leuでも1893年使用例をみつけましたが、1893年発行とされるほかの額面ではまだ見つけることができていません。

2リーフから4リーフは1 “Bani” 茶色です。ルーマニアの通貨単位は Ban が単数形、Bani が複数形です。麦の耳シリーズ発行、当初印刷物料金は1.5Baniでしたがすぐに1Baniに改正。苦肉の策としてすでに発行されていた1.5Baniの版の「.5」を削り茶色の刷色で発行されたのがこの切手です。「.5」を削ったため「1」の位置が左に寄っています。

2リーフ、3リーフはPR透しの4種類と透しなし用紙の一部に紙メーカーの名前等が入った Peper Maker's Wartermark と透しなし。目打と透しの向きで2つのポジションを入れています。4リーフは使用例。上段の帯封は1.5Baniの帯封を1Banに訂正したものと1Bani切手の貼合わせ。なかなか興味深い使用例。

5～6リーフは、1 “Ban”茶色です。1900年になりようやく版を改め、1 Banとなりました。こちらは印面の差異でType I と II に分けられ、なおかつType I には印面の長辺の長さの違いによりaとbに分けられます。

7～8リーフは黒の1 “Ban”です。1903年に印刷物用として刷色が変更となっています。ルーマニアという国ののんびりした性格が表れています。

タイプ別の目打違いとPeper Maker's Wartermark で製造面、1枚貼雑誌の国内使用です。

9〜10リーフは黒の1 1/2Bani です。比較的塊が残っているのでレイアウトが楽しい。印刷物単貼の期間が短かったので使用例のほとんどは混貼です。

11〜12リーフは茶の3Bani。バラエティは多く、製造面は2リーフ使いたいところですが、構成上、2リーフにまとめました。製造時期により刷色がかなり違うことが製造面のリーフでご覧いただけます。使用面は多彩な使用例がありますが、5枚貼国内書状と1枚貼国内印刷物を展示しています。

13〜16リーフは青の5Baniです。麦の耳シリーズで使用量が多く、バラエティが豊富のため4リーフを展示しています。印面の差異でType I と II に分けられます。シート内でタイプ違いが存在することから、製造面ではタイプ違いブロックを中心にリーフづくりをしています。

17〜18リーフは緑の5Baniです。明るい緑と黄緑に刷色は分けられます。こちらも透し違いと目打違いを軸にリーフを組立てています。使用例は普段、日の目を見ることのない帯封への加貼と封滅はがきへの加貼を選びました。

19〜20リーフは緑の10Baniです。フレーム上段を緑でまとめました。10Bani緑は印面サイズの違いで二つのタイプに分かれます。

21〜24リーフは赤の10Baniです。こちらの切手も印面サイズの違いで三つに分けられます。タイプ違いのブロックや印面変種、再掲となりますが22リーフのOrange Rose 横ペアはたまたま見つけたもの。また、ガッター幅の違いとタイプ違いのブロックはいくつもある中からピックアップしました。

25〜26リーフは赤の15Bani。国内書状料金として発行された最初の1枚。この後、刷色を変えて4種類が発行されています。赤は印面サイズで2種に分類されます。印面サイズと透し、目打が混じり合い25ページを形作っています。使用面では数ある使用例から多数貼のカバーを選びました。

27〜28リーフは黒の15Bani。この切手はType II のみです。ドナウ川の船舶便用消印をいれてみました。短期間の発行にかかわらず、目打と透しのバラエティがあります。

29〜30リーフは灰の15Bani。印面タイプは2つありますが紙質は透しなしとPeper Maker's Wartermark 。短期発行期間にかかわらず色の違いが目立ちます。

31〜32リーフは紫の15Bani。タイトルリーフのところでも書きましたが、麦の耳シリーズを集め始めて最初に記憶に残った切手です。紙質は透しなしと Peper Maker's Wartermark 。郵趣誌上に麦の耳の記事が掲載されたのは約20年前。

地方にいるとそうなのね、で止まってしまったのが25年前。そのころちょうどインターネットオークションが手軽に利用できるようになりE-bayで落札した1000枚のロットから見つけ出した1枚のPeper Maker's Wartermark 。

そして目打13.5×11.5田型はこれまで探しても見つけられなかったもの。なんで

こんな見つけやすい形でストックリーフに入っていたのか。

使用例の単貼国内書状はドナウ川の船舶便用消。購入のタイミングが良かった例です。多分、$10台だったと思います。さすがに今はその値段では買えません。

33〜34リーフは25Bani紫。薄い刷色のため消印が映えます。タイプ違い、目打違い、ガッター幅の違いと盛りだくさん。中央の縦無目打を含め高額切手の使用済無目打ペアは、競争相手もいなくてオークションでも最低値で落ちてきました。それも$10程度とかなりお買い得なお値段。ほかのブロックが多くのロットから入手したものですのでなかなか楽しめます。

34リーフ目のカバーはこのシリーズの収集を始めて間もないころ、プラハ城収集の大家からのいただき物。思い出の品です。

35〜36リーフは25Bani青。こちらも縦無目打ペアを$10程度で購入できました。不思議です。ルーマニア現地の人も使用済には興味がないのでしょうか。これまでの経験でいうと、未使用縦（Or）横無目打ちペアは$100程度。なぜか使用済は$10くらい。25Baniや50Baniの縦無目打ペアはこれ以外に見たことがないのです。

37〜38リーフは40Bani青緑。透しと目打違いでまとめました。国内書留書状が主な用途のためおそらく使用量も少なかったのでしょう。刷色と目打の違いと版欠点以外、今のところ見つかっていません。

39〜40リーフは50Bani橙。こちらの縦無目打ペアが含まれたロット、50Baniの目打違いやカバーと一緒に$25くらいで出ていたもの。高額の使用済縦無目打ペア、おそらく三桁の金額を入れたものの、最低値で落札。リーフ作りにとても役立つアイテムです。

41〜43リーフは1 Leuの灰と紅。41リーフのWmk.IIの初期使用例、これも$1也。中段の8枚ブロックは、46リーフの2Lei　10枚ブロック他と合わせて少し値が張りました。でもそれ以外はネットオークションで数ドル。

42リーフは25枚にわたる透しで、そのリコンストラクション。なぜこれを取り上げたかというと、セット売りではいま$400くらいの値をつけていますこの切手。しかしながらWmk.VI主体の使用済100枚ロット$100でした。ダメもとで購入し透かしとにらめっこしたところ、25枚の透しが再現できました。

43リーフのカバーも競争相手がいなくて最低値かしら。

44〜45リーフは1 Leuの緑と黒。44リーフ上段の二重目打ち、これも最低値。ほかのブロックもほぼ最低値、45リーフの1枚張外国書状もフロントカバーのため無競争。こちらも$9.99也。

46〜47リーフは最高額面2Leiオレンジ。上段に初期と後期の消印が押されたアイテムを展示。消印がしっかり見えます。93年消は初期データ更新を楽しみにしています。

橙2Leui　の使用例は、47リーフの国際為替。今のところ2Lei橙は、使用例をほとんど見たことがありません。

最後のページ、48リーフはカバーを除き様々なアイテムを$1以下で購入することができました。このリーフを4リーフに展開をするのは、ハードルが高いです。

ルーマニア・麦の耳通常切手シリーズ
～使用済切手で楽しむ外国切手～

今はインターネットの普及もあり、世界中どこにいても、切手収集のハンディを感じることはありません。しかし、20年前までは地方に住む者にとって、雑誌から見え隠れする中央の話題は、高根の花でした。ネット技術の普及は地方に住む人間にとって歓迎するものでした。

切手収集にはいろいろな集め方があり、貼込み帳から1枚1枚選んで購入する方、たくさんの束物を買って研究する方など様々です。私も束物を買って一枚一枚、目打や透しを調べることが何よりの楽しみです。日本切手でも、もちろん楽しむ術はたくさんありますが、外国に目を向けると、世界中には、バラエティが豊富にあり、しかも安価に楽しめるシリーズがたくさんあります。そんな感じで今から20年ほど前に集め始めたのが、今回お示しするルーマニア切手です。

ルーマニア国王カール1世の横顔と耳の横に麦がデザインされた「麦の耳」シリーズは1893年から１５年にわたり発行されました。わずかな費用で国際展に出品することができたコレクションの一端をお示しします。

【製造面】

目打は、11.5と13.5、11.5×13.5、13.5×11.5の4種類が基本的に施されました。また、用紙には、基本的に5種類の透しと透しなしの用紙が用いられており、それぞれが複雑に絡み合います。額面によっては、タイプ違いもあり、製造期間が長く、刷色の変化も多々見られます。

【使用面】

郵便料金の変化があまりないため、基本的な使用例のほか、封緘葉書への加貼や帯封への加貼など手に入れやすいマテリアルを示しています。

【作品の展開】

使用済切手とカバーでシリーズ全体を示し、低額面より額面順に展開しています。額面ごと、製造面では、用紙と透しの分類を軸に目打を絡み合わせており、ブロックを中心にレイアウトに工夫して展開しています。使用例では、手に入れやすい使用例を中心に展示しています。

※第1フレーム
タイトルリーフ
１Bnaiから５Bani青まで

※第2フレーム
５Bani青緑から15Bani紫まで

※第3フレーム
２５Bani紫から2Leiまで

【注目していただきたいマテリアル】

＊ 第1フレーム　5Banタイプ混在5枚貼カバー …… １４ページ
＊ 第２フレーム．１０Bani　Orangeペア …… ２２ページ
＊ 第２フレーム　１５Bani　Peper Maker's Wartemark …… ３１ページ
＊ 第２フレーム　１５Bani　目打13.5×11.5田型 …… ３１ページ
＊ 第3フレーム　2Lei　1893年使用例 …… 46ページ

【参考文献】

CATALOGUL MARCILOR POSTALE ROMANESTI (1974)

Romania

麦の耳　シリーズ

1"Bani"　Light Brown

1893

Wmk.II



Wmk.II



Perf.13.5×11.5
Wmk. Pos. 1



Perf.11.5×13.5



Wmk.III



Wmk.III



Perf.11.5



Perf.13.5

Wmk.IV



Perf.11.5×13.5



Perf.11.5



Perf.13.5
Wmk. Pos, 2



Vertically Imperf between



Wmk.IV



Perf.13.5×11.5

02

Romania

麦の耳　シリーズ　**1"Bani"　Light Brown**　1893

Wmk.V

Light Brown



Perf.13.5

Brown



Perf.13.5



Wmk. V

No. Wmk.

Papere Maker's Watermark



Perf.11.5





Perf.13.5

No Wmk.



Perf.11.5

03

Romania

麦の耳 シリーズ

1 "Bani" Light Brown

Usage

Inland Printed matter 2 Bani Rate

Perf.13.5



From Bucuresti to Germany Dresden "BUCURESTI------ "

Foreign Postcard 10 Bani Rate

Perf.13.5



From Rosiori to Germania WolfenButiel

"C.F.R.TIGANESTI / 2 II 900" "ROSIORI/2FEB900"

04

Romania

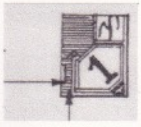
麦の耳 シリーズ

1"Ban" Light Brown

1900

No Wmk.　　Johannot Wmk.

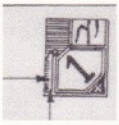
Type Ia



Type I
Full Lines on
Value Panel
Type Ia 18.75×24.50mm
Type Ib 18.75×24.00mm



Perf.11.5



Type II
Short Lines on
Value Panel

Type Ib



Perf.11.5×13.5

Type II



Perf.11.5

Type II



Perf.11.5×13.5

Paper Maker's Watermark

Type Ia



Perf.13.5×11.5

Type II



Perf.13.5

05

Romania

麦の耳 シリーズ　**1"Ban" Light Brown**　1900

Type Ia

Horizontal Double Perf at Lower Side



Horizontal Double Perf at Lower Side
Perf.11.5

Foreign Printed Matter 5 Bani Rate



From Bucuresci to Belgium
"BUCURSCI / 22.DEC. 902"

06

Romania

麦の耳 シリーズ

1 Ban Gray Black

1903

No wmk.

Type I



Perf.11.5



Perf.13.5



Perf.11.5×13.5

Type II



Perf.13.5



Perf.13.5×11.5



Perf.11.5×13.5

Papere Maker's Watermark

Type II



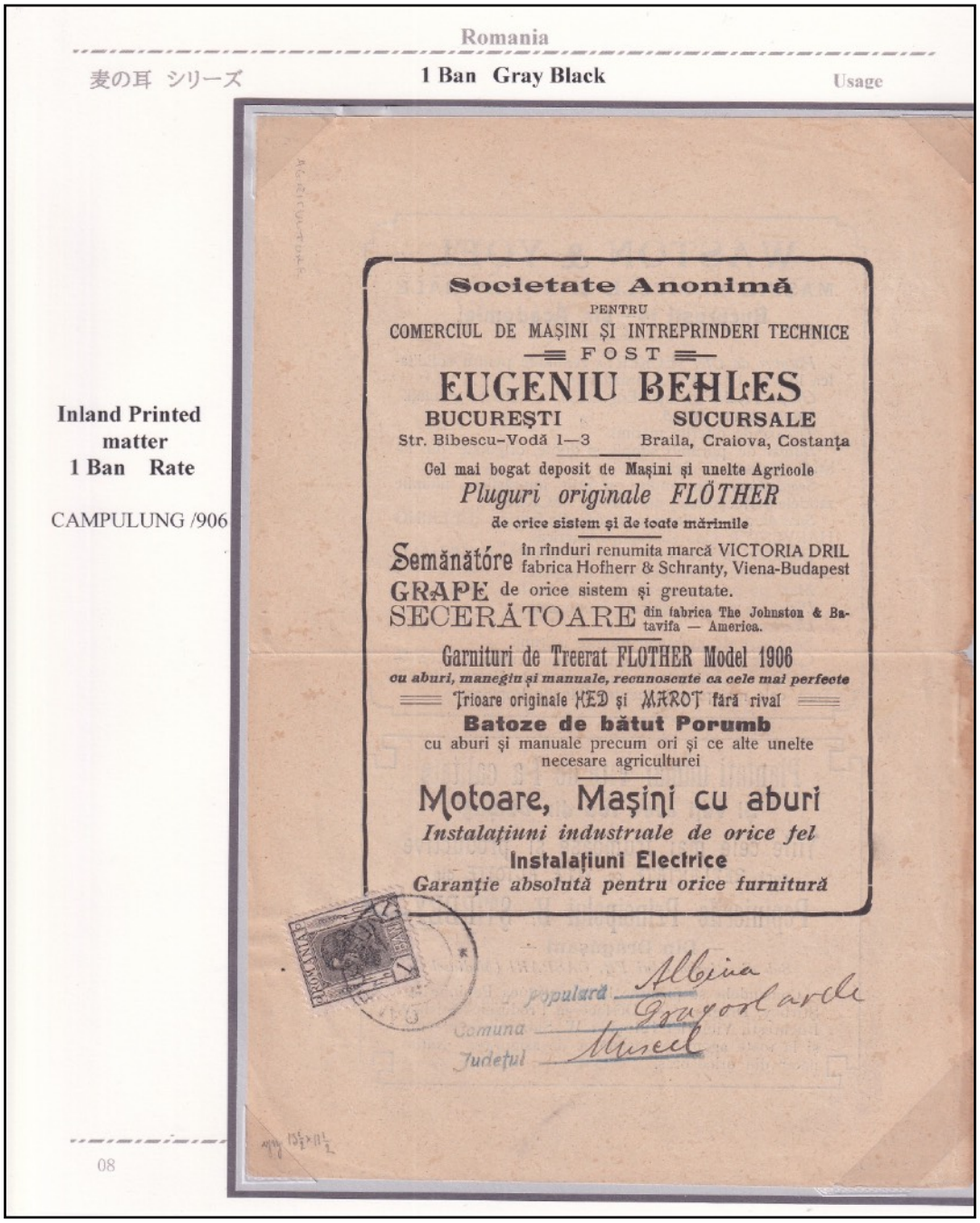
Perf.13.5

Type II



Perf.11.5

07


Romania
麦の耳 シリーズ
1 Ban Gray Black
Usage
Inland Printed matter
1 Ban Rate
CAMPULUNG /906
08
Societate Anonimă
PENTRU
COMERCIUL DE MAŞINI ŞI INTREPRINDERI TECHNICE
FOST
EUGENIU BEHLES
BUCUREŞTI
Str. Bibescu-Vodă 1—3
SUCURSALE
Braila, Craiova, Costanţa
Cel mai bogat deposit de Maşini şi unelte Agricole
Pluguri originale FLŐTHER
de orice sistem şi de toate mărimile
Semănătóre în rînduri renumita marcă VICTORIA DRIL fabrica Hofherr & Schranty, Viena-Budapest
GRAPE de orice sistem şi greutate.
SECERĂTOARE din fabrica The Johnston & Batavifa — America.
Garnituri de Treerat FLOTHER Model 1906
cu aburi, manegiu şi manuale, recunoscute ca cele mai perfecte
Trioare originale HED şi MAROT fără rival
Batoze de bătut Porumb
cu aburi şi manuale precum ori şi ce alte unelte necesare agriculturei
Motoare, Maşini cu aburi
Instalaţiuni industriale de orice fel
Instalaţiuni Electrice
Garanţie absolută pentru orice furnitură
populară Albina Grigorescu
Comuna
Judeţul Muscel

Romania

麦の耳 シリーズ

1 1/2 Bani Black

1893

Wmk.II



Perf.13.5

Wmk.III



Perf.13.5

Wmk.II



Perf.13.5×11.5

Wmk.IV



Perf.13.5



Perf.13.5
Wmk.Pos.2





Perf.13.5
Monten Gara (station)
Blue Cancellation

09

Romania

麦の耳 シリーズ　　**1 1/2 Bani**　　Usage

Foreign Postcard 16 Bani Rate　　Perf.13.5



From Bucuresti to Constantinople
"BUCURESTI SUCURSALA 4 18.APR.895" to Constantinople



Backside Coppy

10

Romania

麦の耳 シリーズ

3 Bani Red-Brown

1893

Wmk.II



Perf.13.5

Wmk.III



Perf.13.5
TravellingPost Office Cancellation

Wmk.IV



Perf.13.5

Wmk.V



Perf.13.5
Travelling Post Office Cancellation

Wmk.V



Perf.13.5
Wmk.Pos.4



Papere Maker's Watermark



Perf.11.5×13.5

No Wmk



Perf.13.5
Very Thick
Paper



Perf.13.5×11.5



Perf.11.5

11

Romania

麦の耳 シリーズ

3 Bani Red-Brown

Usage

Inland Letter 15 Bani Rate



From Pitesti to Bucuresci
"BUCURSCI / 24.JAN.98"

Inland Printed Matter 3 Bani Rate
New Years Name Card



"BUCURSCI / 12.JAN.07"

12

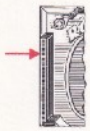
Romania

麦の耳 シリーズ

5 Bani Blue

1893

Wmk.II





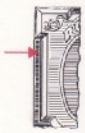
Perf.13.5 Wmk. Pos.2
Type I



Perf.13.5



Perf.13.5
Type II



T II	T II
T I	T I

Wmk.III



Perf.13.5 Wmk. Pos.2
Type II



Perf.11.5×13.5

T I	T II	T II



Perf.13.5×11.5 Wmk. Pos.2
Type II



Perf.11.5 Gutter : 3.0mm

T II	T I	T II	T II
T I	T I	T I	T II

13

Romania

麦の耳 シリーズ

5 Bani Blue

1893

Wmk.IV

Type I+II



T II	T I	T I	T I

Perf.13.5

Foreign Letter 25 Bani Rate



From Bucuresti to Germany Apolda "BUCURESCI 11.JUL.95"

T I	T I	T II	T I	T I

14

Romania

麦の耳 シリーズ

5 Bani Blue

Usage

Foreign Printed Matter 5 Bani Rate



From Bucuresci to Wien,Austria
"BUCURSCI / 30.DEC. 95"

ForeignPostcard 10 Bani Rate with Blue Postmark



From Comarnic to Dresden , Germany
"COMARNIC GARA (Station) / 24.OCT. 896"

15

Romania

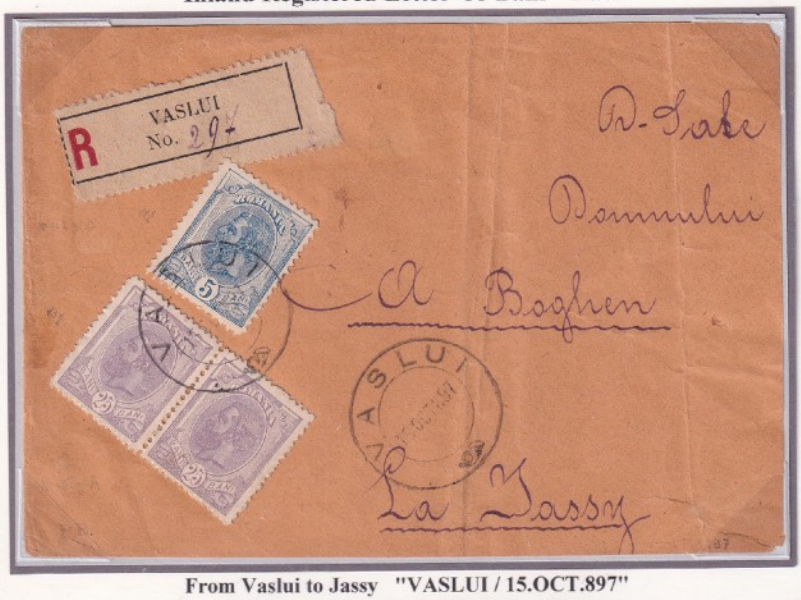
麦の耳 シリーズ

5 Bani Blue

Usage

Inland Registered Letter 55 Bani Rate

Perf.11.5



From Vaslui to Jassy "VASLUI / 15.OCT.897"

Foreign Lettercard 25 Bani Rate

Perf.11.5



From Bucuresti to Germania Harburg "BUCURESTI / 20.MAY.97"

16

Romania

麦の耳 シリーズ

5 Bani Blue Green

1898

Wmk.V



Perf.13.5



Perf.11.5

Danube Ship Mail with

Fancy Cancellation



Perf.11.5×13.5

No Wmk.



Perf.13.5

Yellow Green



Perf.13.5



Perf.11.5×13.5

17

Romania

麦の耳 シリーズ

5 Bani Blue Green

Usage

Foreign Newspaper Wrapper 10 Bani Rate



From Bucuresci to Wiesbaden , Germany

" BUCURESTI / 30. JUN .904 "

Inland Letter card 15 Bani Rate



From Bucuresci to Dragostani

"BUCURSCI / 24th.APR.06"

18

Romania

麦の耳 シリーズ

10 Bani Pale Green

1893

Two Types on 10 Bani stamps can be seen. The defference is according to the size of printing . TypeII is somehow smaller than Type I .

Wmk.II



Perf.11.5×13.5 Type I



Perf.13.5 Type I



Perf.13.5 Type II

Wmk.III



Perf.11.5×13.5 Type I



Perf.13.5 Type I



Perf.11.5 Type II

Wmk.IV



Perf.13.5
Wmk. Pos.7



Perf.13.5

T I | T II



Perf.13.5
Wmk. Pos.2



Perf.13.5
Wmk. Pos.4

19

Romania

麦の耳 シリーズ

10 Bani Pale Green

Usage

Foreign Letter Card 25 Bani Rate



From Bucuresti to Swiss Nollis
"BUCURESCI/6/MAL6"

Foreign Postcard 10 Bani Rate



From AMB Traveling Post Office to Sassuolo, Italy "AMB G NORD / 10.APR.899 "

20

Romania

麦の耳 シリーズ

10 Bani Red

1898

Wmk.IV

Type I : 19.5mm×24.5mm , Type II : 19.25mm×24.25 , Type III : 19.5mm×24.75mm



Perf.13.5 T II T II



Perf.13.5 T II T I T I T I



Perf.13.5 T III T I

Wmk.V



Perf.13.5
Wmk.Pos,3
T I T II





Perf.13.5 T I T II



The both "0" of 10 on lower left corner has the same flaw.



Perf.13.5 T I T II T II T II

Wmk.VI

Papere Maker's Watermark



Perf.11.5
Type I



Perf.11.5
Type III



Perf.11.5

21

Romania

Ear of Wheat Issues

10 Bani Red

1900

No. Wmk.

Orange Rose



Perf.11.5
Type III



Perf.11.5×13.5
Gutter 2.0mm





Perf.11.5
Gutter 3.0mm



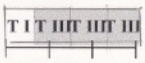


Perf.11.5
Gutter 2.0mm





Perf.11.5



2.5mm 2.0mm 2.00mm

22

Romania

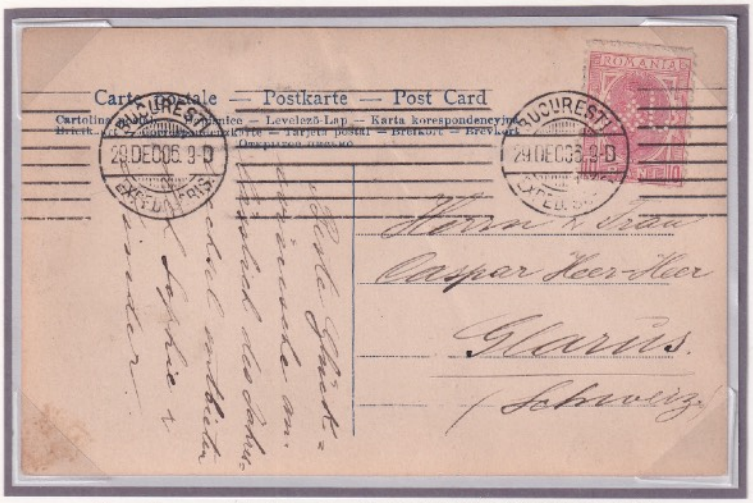
麦の耳 シリーズ

10Bani Red

Usage

Foreign Postcard 10 Bani Rate

Perf.13.5



From Bucuresti to Khsveiz "BUCURESTI / 29.DEC.06.9-D"

Foreign Lettercard 25 Bani Rate

Perf.11.5×13.5



From Jassy to Ludurgshaffen "JASSY / 14.APR.902"

23

Romania

麦の耳 シリーズ　　10Bani Red　　Usage

Foreign Registered Letter 50 Bani Rate



From Ploesti to Wolfenbuttel

"PLOESTI/5.MAI.908"

Franking pays the 25 bani first 20 grams letter rate, and 25 bani registration fee.

24


Romania
麦の耳 シリーズ
15 Bani Rose
1893
Wmk.II
Type I
Top of centre oval 8 lines Bold frame
Type II
Top of centre oval 7 lines Thin frame
Type I Perf.13.5
Double Perf.
Type I Perf.13.5
Type II Perf.13.5
Wmk.III
Type I
Type II
Perf.13.5×11.5
Perf.13.5
Perf.11.5
Perf.11.5×13.5
Wmk.IV
Type II
Perf.11.5×13.5
Wmk. Pos. 1
Position 1
Perf.11.5×13.5
Wmk. Pos. 4
Position 4
Perf.11.5×13.5
Wmk. Pos. 2
Position 2
25

Romania

麦の耳 シリーズ　　15 Bani Rose　　Usage

Inland Registered Letter 70 Bani Rate



From BUCURESCI to MARASESCI

"BUCURESCI / 20.APR.99"

Franking pays the 45 Bani triple weight letter rate, and 25 Bani registration fee.

26

Romania

麦の耳 シリーズ

15 Bani Black

1898

15Bani Black has ONLY Type II = Thin Frame Lines

Danube Ship Mail with Fancy Cancellation



Wmk.V



Perf.11.5×13.5

Wmk.VI



Perf.11.5

Wmk.V



Perf.13.5×11.5



Perf.13.5

No. Wmk.



Perf.11.5



Perf.13.5×11.5

27

Romania

麦の耳 シリーズ　　15 Bani Black　　Usage

Inland Letter 15 Bani Rate　　Perf.13.5



From TREN136 to GRAGASANI "TREN136 / 6.DEC.899 "

Foreign Letter Card 25 Bani Rate　　Perf.13.5



From Bucuresti to Berlin "BUCURESCI / 28.APR.900 "

28

Romania

麦の耳 シリーズ

15 Bani Gray

1901

Type I
Paper Maker's Watermark



Type I
Top of centre
oval 8 lines
Bold frame



Perf.11.5



Type II
Top of centre
oval 7 lines
Thin frame

No. Wmk.



Perf.11.5



Perf.13.5×11.5
Gutter 2.25mm



Perf.11.5
Gutter 3.0mm



Perf.11.5×13.5

Type II
Paper Maker's Watermark

No. Wmk.
Gray



Perf.11.5



Perf.11.5

No. Wmk.
Deep Gray



Perf.11.5

29

Romania

麦の耳 シリーズ　　15 Bani Gray　　Usage

Foreign Lettercard 25 Bani Rate　　Type I Perf.11.5×13.5



From Bucuresti to Hamburg "BUCURESCI / 13.NOV.902"

Inland Registered Letter 40 Bani Rate　　Type II Perf.11.5×13.5



From Turn-Magurele to Bucuresti "TURN-MAGURELE / 24.JUN.902"

30

Romania

麦の耳 シリーズ

15 Banii Dull Violet

1903

No Wmk.



Perf.13.5

Paper Maker's Watermark



Perf.11.5×13.5



Perf.11.5



Perf.13.5×11.5



Perf.11.5×13.5

Bright Violet



Perf.13:5



Perf.11.5



Perf.11.5×13.5

31

Romania

麦の耳 シリーズ　15 Bani　Usage

Danube Ship Mail with Fancy Cancellation

Inland Letter 15 Bani Rate　Perf.11.5



From Tulcea to Braila

"TULCEA-GALATI / 24.JUL.1904"

The route to which the vessel mail of the Danube connects SULINA, TULCEA, GALATI, and CERNAVODA is known.

32

Romania

麦の耳 シリーズ

25 Bani Lilac

1893

Wmk.II



Perf.13.5
3.25mm Gutter

Wmk.III



Perf.11.5

Wmk.III



Perf.13.5×11.5
3.25mm Gutter

Wmk.IV



Perf.11.5
2.75mm Gutter

Vertically Imperf between



Perf.13.5
3.25mm Gutter

Wmk. Pos.4



Perf.11.5
2.75mm Gutter

Wmk. Pos.2



Perf.13.5
3.25mm Gutter



Perf.11.5×13.5
2.75mm Gutter

25Bani Lilac has two gutter saize : 3.25 mm and 2.75 mm.

The 2.75 mm Gutter can be seen only on Wmk.IV, while the Gutter 3.25 mm exists on all Wmk.

Romania

麦の耳 シリーズ　　**25 Bani Lilac**　　Usage

Foreign Registered Letter 75 Bani Rate　　Perf.13.5



From Bucuresti to U.S.A

"BUGURESCI GARA DE NORD -7.FEB- .95 " to Philadelphia

Ex.Takaku

34

Romania

麦の耳 シリーズ

25 Bani Blue

1898

Wmk.V



Perf.11.5

Wmk.V



Perf.13.5×11.5

Wmk.V



Perf.13.5

Wmk.VI



Perf.13.5×11.5

Paper Maker's Watermark



Perf.11.5

No Wmk.

Vertically Imperf between



Perf.11.5



Perf.13.5×11.5



Perf.13.5



Perf.11.5×13.5

35

Romania

麦の耳 シリーズ　　25 Bani Blue　　Usage



Foreign Letter 25 Bani Rate

From Bucuresti to Amsterdam

"BUCURESCI / 1.MAI.04"

25Bani Perf.11.5

Foreign Registered Letter 75 Bani Rate

From Bucuresti to Bayern

"BUCURESCI / 12.FEB.904"

25Bani Perf.11.5



36

Romania

麦の耳 シリーズ　**40 Bani Bulu Green**　1895

Wmk.IV



Perf.13.5

Wmk.V



Perf.13.5

Wmk.V



Perf.13.5
Wmk. Pos.3

Wmk.VI



Perf.11.5

Paper Maker's Watermark



Perf.11.5

No Wmk.



Perf.13.5



Perf.11.5



Perf.11.5×13.5



Perf.13.5×11.5

37

Romania

麦の耳 シリーズ　**40 Bani Bulu Green**　Usage

Foreign Registered Letter 80 Bani Rate　Perf.13.5



From Bucuresci to Budapest
"BUCURESCI GARA DE NORD / 5.NOV.907"
Rate : 55 Bani for Quadral Weight Foreign Letter
25Bani for Registration

PERFIN "Banca Marmorosch,Blank & Co."

38

Romania

麦の耳 シリーズ　**50 Bani Orange**　1893

Wmk.II



Perf.13.5

Vertically Imperf between

Wmk.III



Perf.13.5

Wmk.IV



Perf.11.5

Wmk.V



Perf.11.5

Wmk.VI



Perf.11.5

Wmk.V

Redish-Orange



Perf.13.5×11.5

VERSCI / 20.NOV.903 Blue CDS

Orange



Perf.13.5×11.5

Paper Maker's Watermark



Perf.11.5

39

Romania

麦の耳 シリーズ　**50 Bani Orange**　Usage

Foreign Registered Letter 50Bani Rate to Hangary



Craiova / Jan/8/901

"AR" = Delivery Record Handstamped

Note "Retour Recipis " Written on Lower Left Corner

40

Romania

麦の耳 シリーズ　**1 Leu Gray & Rose**　1893

Wmk.II



Perf.13.5
Very Early
Usage for
this 1Leu



Perf.13.5

Wmk.IV



Perf.13.5

Wmk.III



Perf.13.5

Wmk.V



Perf.13.5 " BUCURESCI / 30.OCT.99 "

Paper
Maker's
Watermark



Perf.11.5

No.Wmk.



Perf.11.5

No.Wmk.



Perf.13.5

41

Romania

麦の耳 シリーズ

1 Leu Gray & Rose

1900

Wmk.VI
Large Watermark of Court of Arms on Block of 25



Perf.11.5

Wmk.VI :
Big Court of Arms
on Block of 5×5



42

Romania

麦の耳 シリーズ　　**1 Leu Gray & Rose**　　Usage

Inland Registered Heavy Weight Letter
1 Lei 45Bani Rate



From Bucuresci to T-Severin
" BUCURESCI / 5. JUN .96 "

Rates : 120 Bani for additional 8th Weight
25 Bani for Registration

Total : 145 Bani

43

Romania

麦の耳 シリーズ　**1 Leu Blue-Green & Black**　1903

No. Wmk.

Paper Fold



Perf.11.5



Perf.13.5



Perf.11.5



Perf.11.5×13.5



Perf.13.5×11.5

Plate Flaws



White Spot
Under "UN"



White Spot On "1"

Break at
Right Frame



White Spot Leftside

44

Romania

麦の耳 シリーズ　　1 Leu Blue-Green & Black　　Usage

Foreign Registered Letter 1 Leu Rate　　Perf.11.5×13.5



From Bucuresti to England

"BUCURESTI -7. --- .906 " to Birmingham

Front Cover

45

Romania

麦の耳 シリーズ

2 Lei Orange & Brown

Usage

Wmk.II



Perf.13.5
(JA)SSY / ( )8.NOV.93
Very Early Usage
for this Wmk.II



Perf.13.5
BURSA BRAILA 25.AUG 900
Very Late Usage for this Wmk.II



Perf.13.5
Deep Orange

The Largest Used Block of 10



Perf.13.5

Wmk.V



Perf.13.5
Orange



Perf.13.5
Deep Orange

No. Wmk.



Perf.11.5

Wmk.VI



Perf.11.5

Paper Maker's Watermark



Perf.11.5

46

Romania

麦の耳 シリーズ　**2 Lei Orange & Brown**　Usage

International Exchange Remmitance Form



From Bals to Paris, France

"BALS / APR. 26. 907 "

3 Lei International Exchange Rate for Sending over 500 Lei

Note that FR 500 are equal to 500 Lei at this time.

47

Romania

麦の耳 シリーズ　**2 Lei Red-Brown & Black**　1903

Perf.11.5

Plate Flaws



No Wmk.



Paper Maker's Watermark



Lower Right Frame Missing



White Spot Lower Leftside

Foreign Registered Heavy Weight Letter 2 Lei Rate



From Bucuresci to Wilmersdorf bei Berlin , Germany

" BUCURESCI / 27. DEC .908 "

Rates : 25 Bani for Foreign Letter to 20 g 25 Bani for Foreign Registration

150 Bani for additional 10th Weight to 200g (15 Bani per 20 g)

Total : 200 Bani = 2Lei

48

外国切手を愉しむための作品集
2026年 9 月15日発行

著　者　奥山昭彦、大越紳一郎、水村伸行、寺本尚史
発行者　亀戸大根の会